

 bitcastleFX

PC版 Meta Trader5 の使い方

Version 1.0

第1章 取引前準備

1. 口座開設	3
2. 入金方法	4
3. MT5ダウンロード・インストール	5
4. ログイン	6

第2章 チャートの基本操作

1. チャート表示方法	7
2. チャート表示内容変更	8~11
3. チャートの複数整列	12
4. チャートのカスタマイズ	13~15
5. チャートのプロファイル保存	16

第3章 取引時の基本操作

1. 新規注文方法	17~20
2. 決済注文方法	21
3. 注文の変更・取り消し	22~24
4. 注文・ポジション・口座情報の確認方法	25~27
5. 口座履歴の確認方法	28~29
6. その他情報の確認方法	30

第4章 応用操作

1. カスタムインディケータのインストール	31
2. Expert Advisorのインストール	32
3. バックテスト機能	33~34
4. 自動売買の実行	35
5. プッシュ通知の設定	36

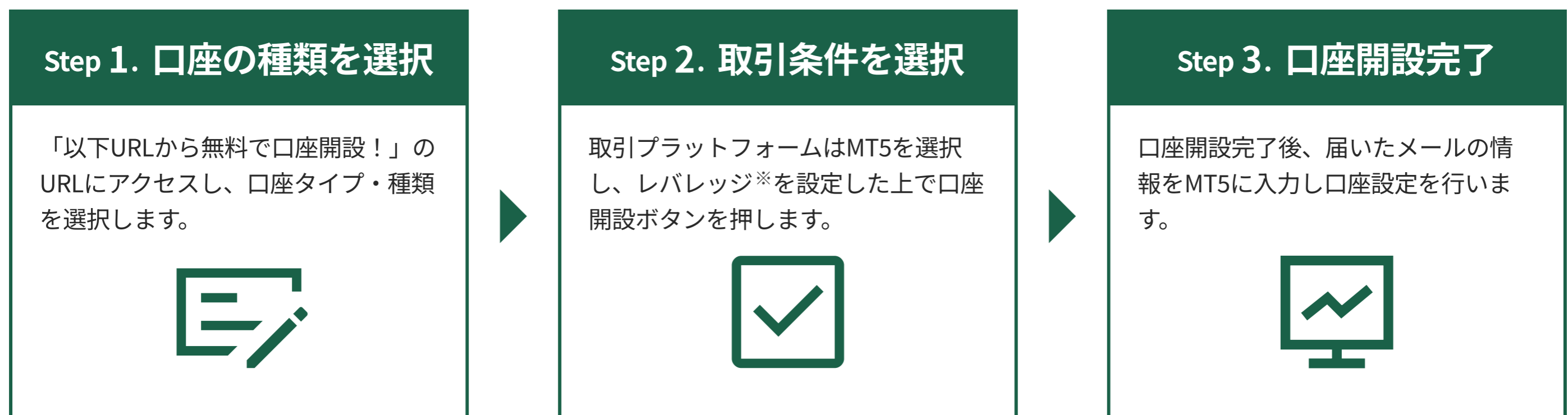
第5章 その他

1. MT5の動作が重くなった際の対処法	37~38
2. MT5の複数インストール（Windows版のみ）	39
3. ショートカットキー一覧	40~41
4. お問い合わせ	42

1. 口座開設

簡単3ステップで口座開設！

MT5を利用して取引を行うには、事前にbitcastleFXの口座開設が必要です。
口座開設がお済みでない方は、以下の「無料で口座開設」から口座開設をお願いします。



※レバレッジとは、少ない資金で大きな取引ができる仕組みです。

— 以下から無料で口座開設！ —



<https://bitcastle.io/ja/fx/sign-up>

入金方法

口座への入金はbitcastleFX公式サイトから行います。bitcastleFXへログイン後、**資金管理 > 入金**から入金申請を行ってください。

1 入金方法を選択する

ご自身にあった入金方法を選択します。



2 入金先のFX口座を選択する

MT5のFX口座を選択します。



3 入金額を入力する

500円～10,000,000円の範囲内で任意の金額を入力し、入金申請ボタンをクリックします。



4 入金額を確認する

入金額、受取額、FX ID (MT5) を確認します。「申請内容を確定」ボタンをクリックし、入金申請は完了です。



⚠ 入金反映について

入金は通常、土日祝日を除く1~2日程度でFX (MT5) ウォレットに反映されますが、入金がすぐに反映されない場合もあります。選択された支払い方法やその他の要因によって影響を受ける可能性があります。

土日祝日を除き、3日経ってもFX (MT5) ウォレットに入金が反映されない場合はお問い合わせボタンより弊社サポートチームまでご連絡ください。

MT5をダウンロード

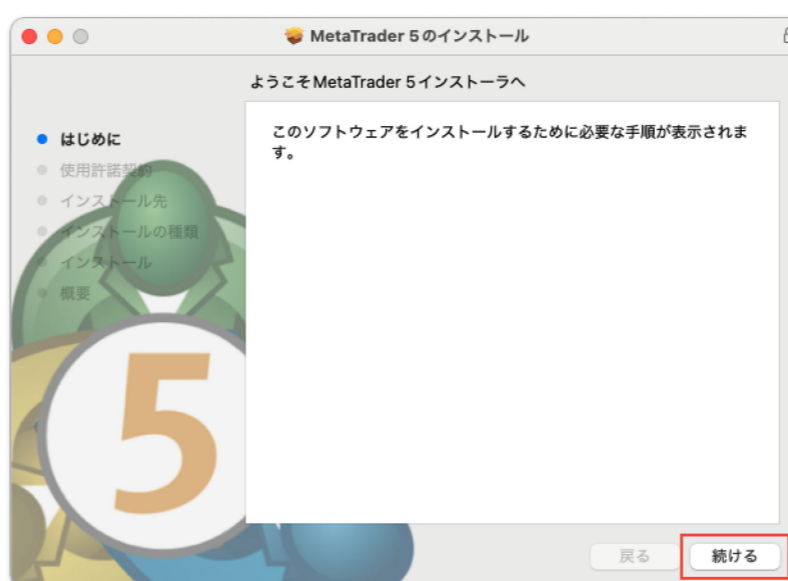
MT5を利用するには、MT5のダウンロードが必要です。
ご自身の環境に合わせて以下からダウンロードをお願いいたします。

<https://bitcastle.io/ja/fx/account/trading-guide>

MT5をインストール

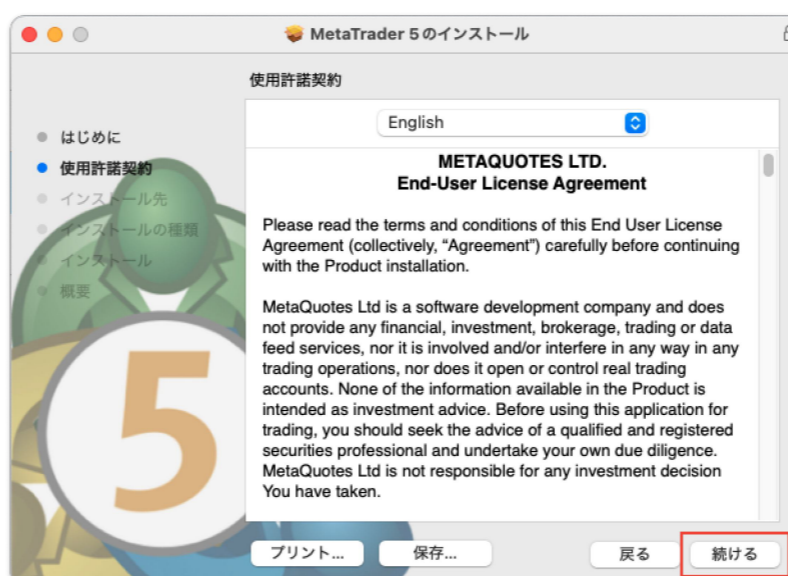
1 ファイルを解凍する

ダウンロードしたファイルを解凍すると以下画面が表示されます。
内容を読んだら、右下の「続ける」ボタンをクリックします。



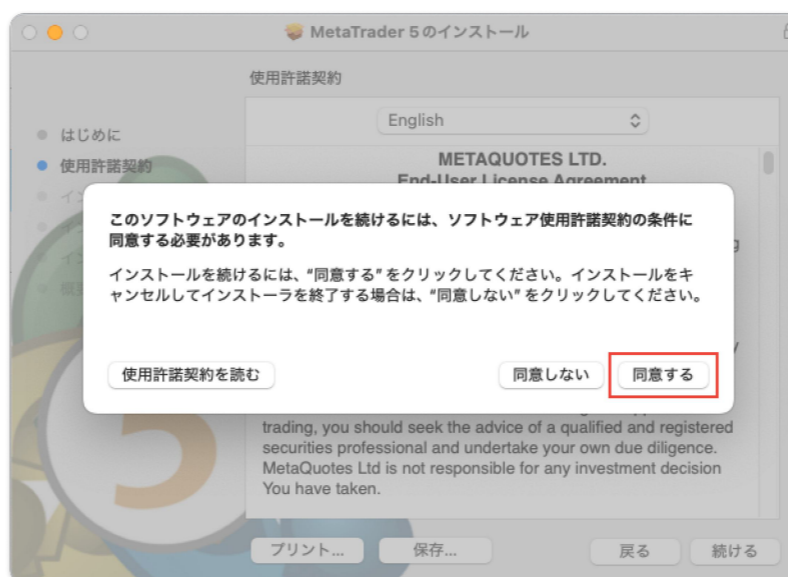
2 使用許諾契約を確認する

使用許諾契約が表示されるので
内容を読んだら、右下の「続ける」ボタンをクリックします。



3 使用許諾契約に同意する

画面右下の「同意する」ボタンをクリックします。



4 インストールする

内容を読んだら、右下の「インストール」ボタンをクリックします。



5 インストール完了

インストールが完了したら、右下の「閉じる」ボタンをクリックします。
以上でMT5のインストールは完了です。



MT5へログイン

MT5を起動すると、以下の「MT5 ログイン」画面が表示されます。

口座開設後に口座詳細が記載されたメールが届きます。

メールに記載された「FX口座番号 (MT5ID)」を「ログイン」に入力します。

「パスワード」には、アカウント登録時に設定したパスワードを入力します。メールにはパスワードは記載されていないのでご注意ください。

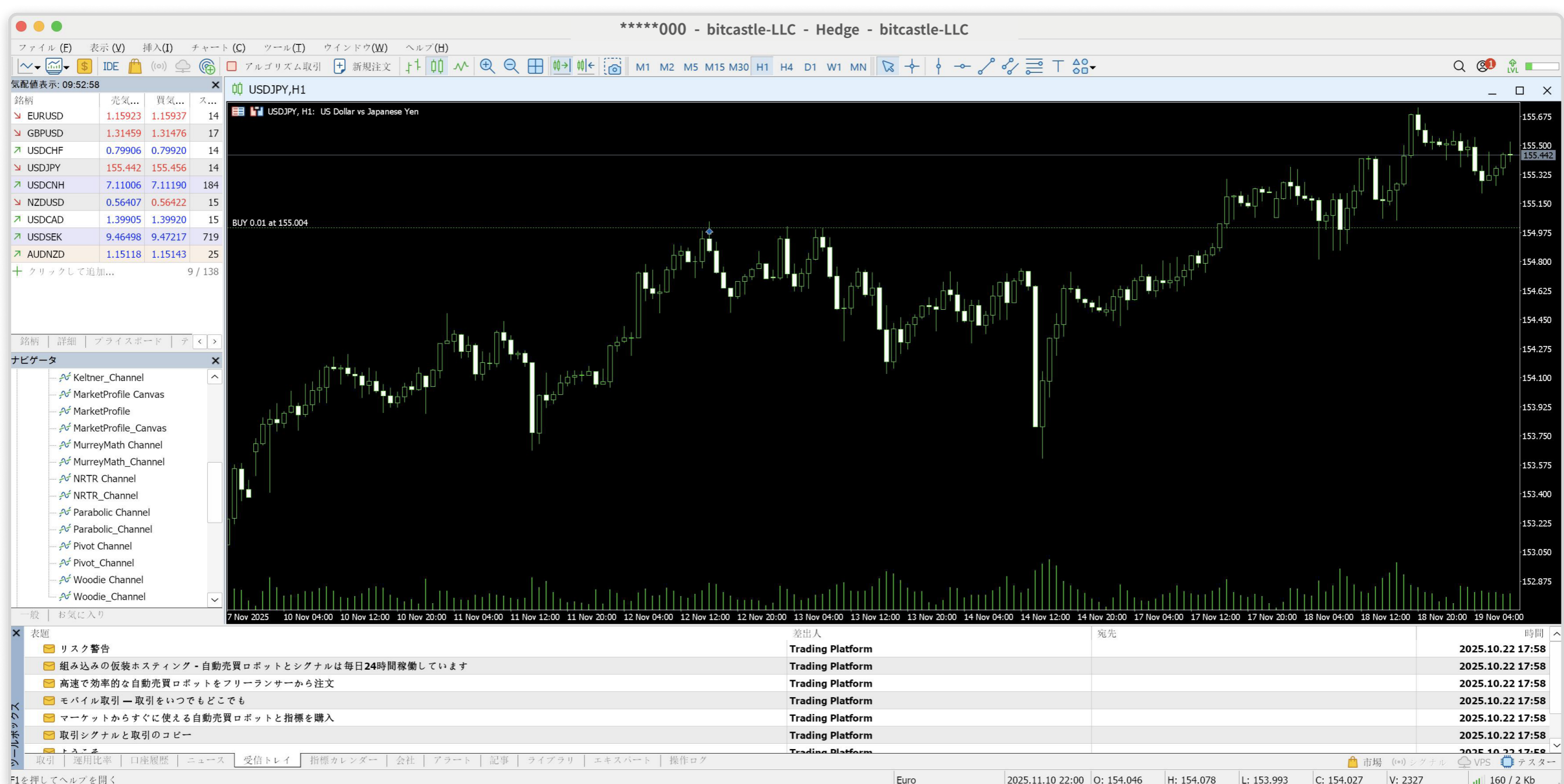
「MT5 ログイン」画面



メールで届いた口座詳細



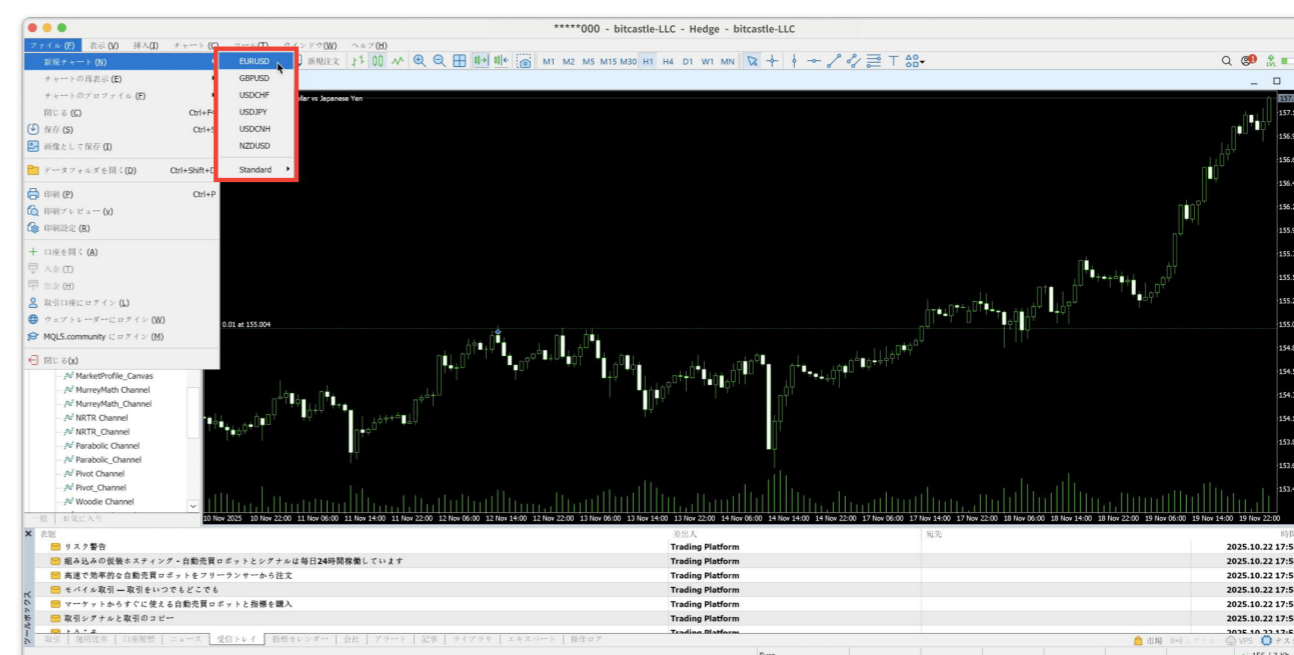
以下の「MT5」画面が表示されれば、MT5を利用したbitcastleFX口座へのログインは完了です。



1. チャート表示方法

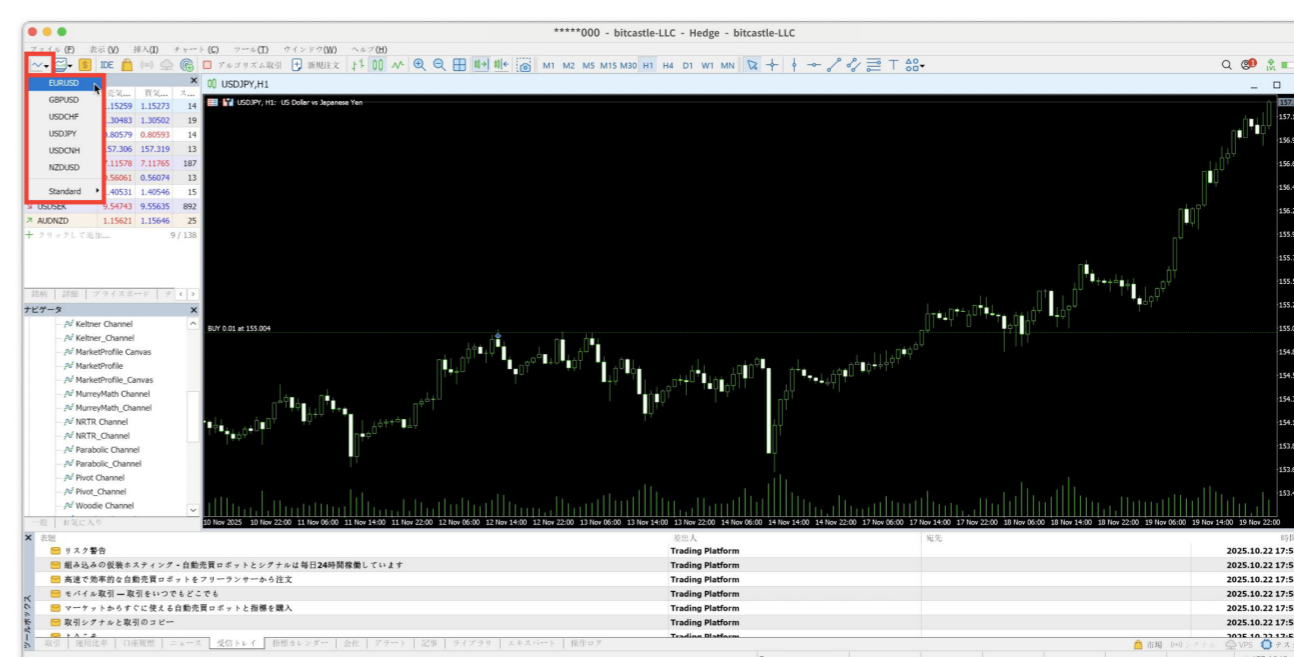
メニューバー

メニューバーのファイル > 新規チャートから表示したい通貨ペアをクリックすることで、チャートが表示されます。



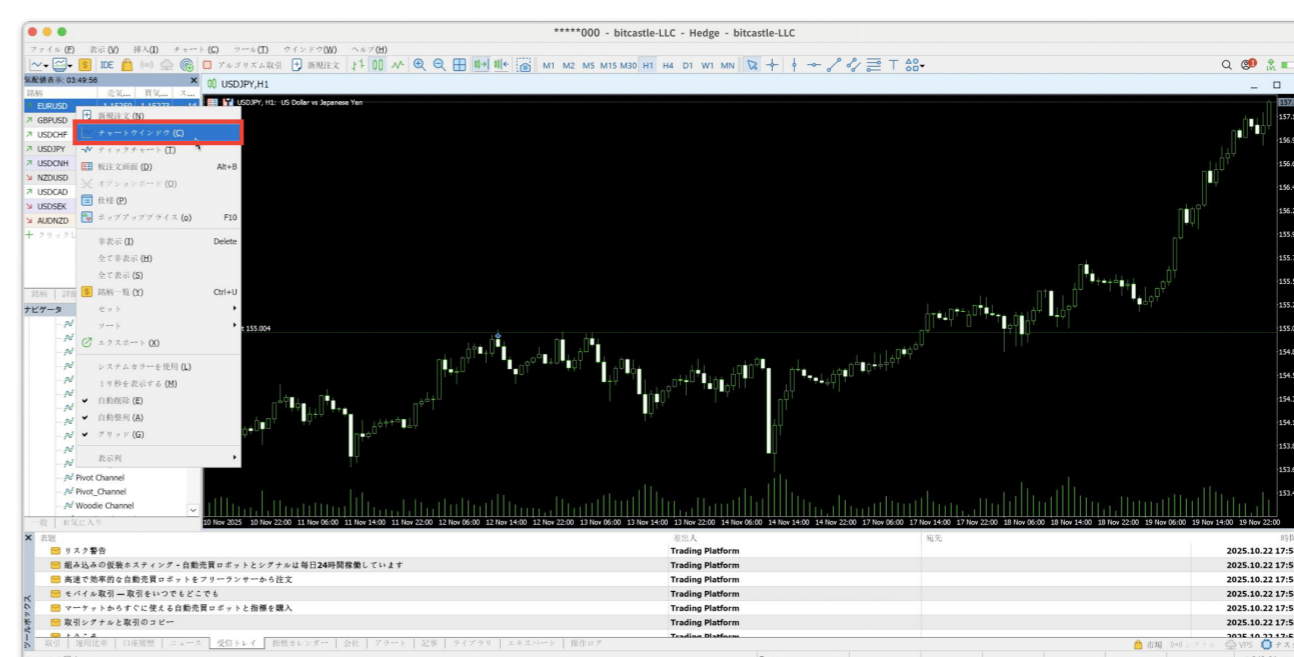
ツールバー

ツールバー > グラフマークの「新規チャートを開く」から表示したい通貨ペアをクリックすることで、チャートが表示されます。

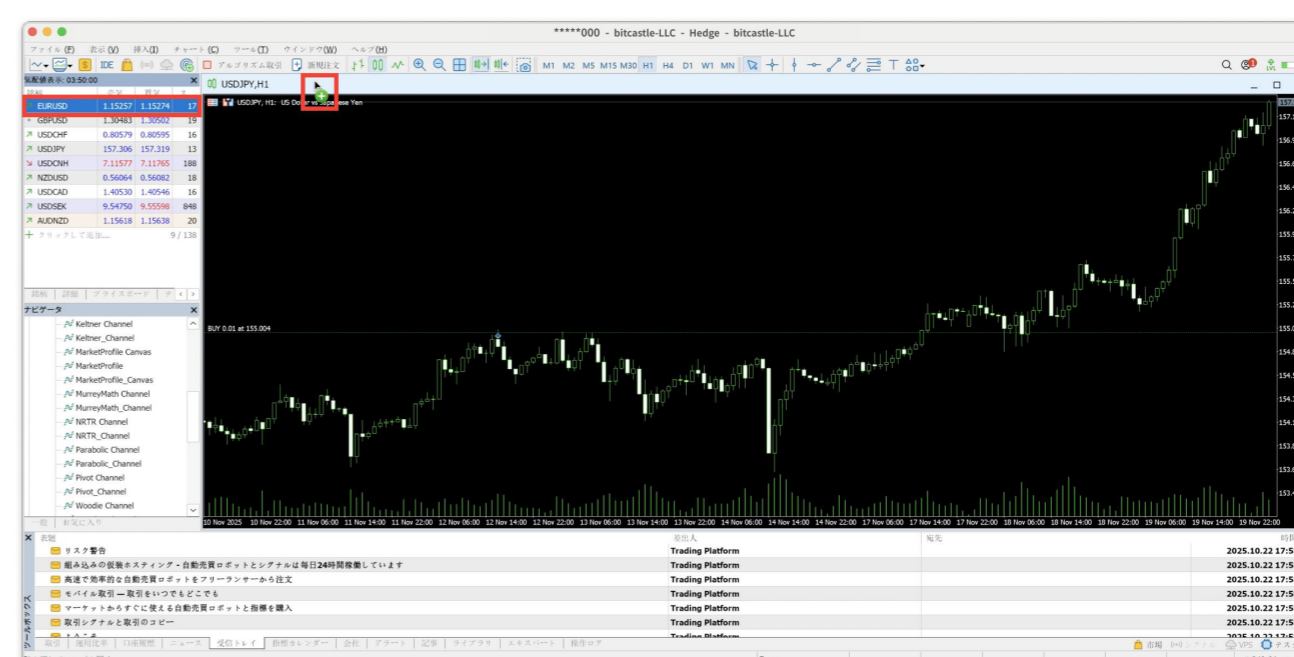


気配値表示

「気配値表示」から表示したい通貨ペアを選択し、右クリック > チャートウィンドウをクリックすることで、チャートが表示されます。



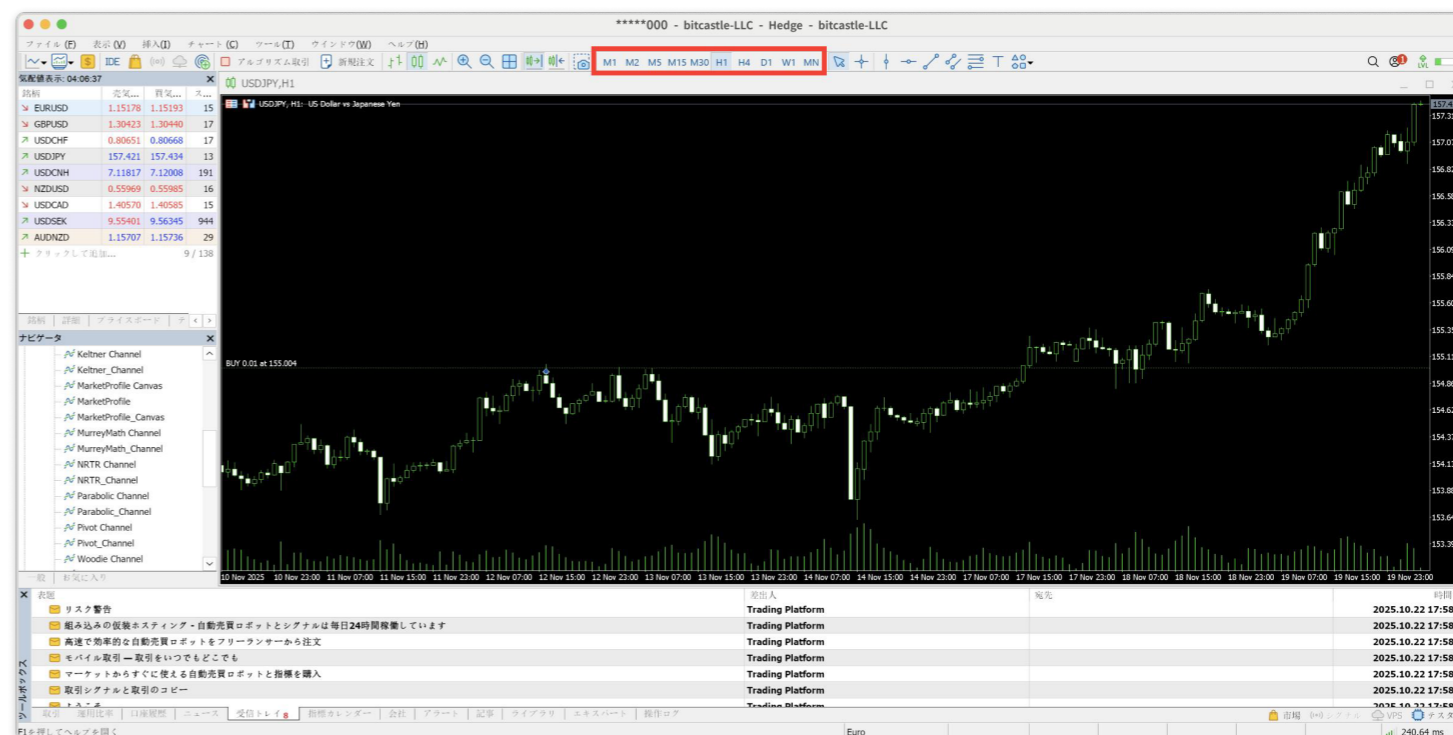
表示したい通貨ペアを選択した状態で、チャートウィンドウにドラッグ&ドロップで表示することもできます。ドラッグ&ドロップで表示する場合は、「+」ボタンが表示されるまでカーソルを移動します。



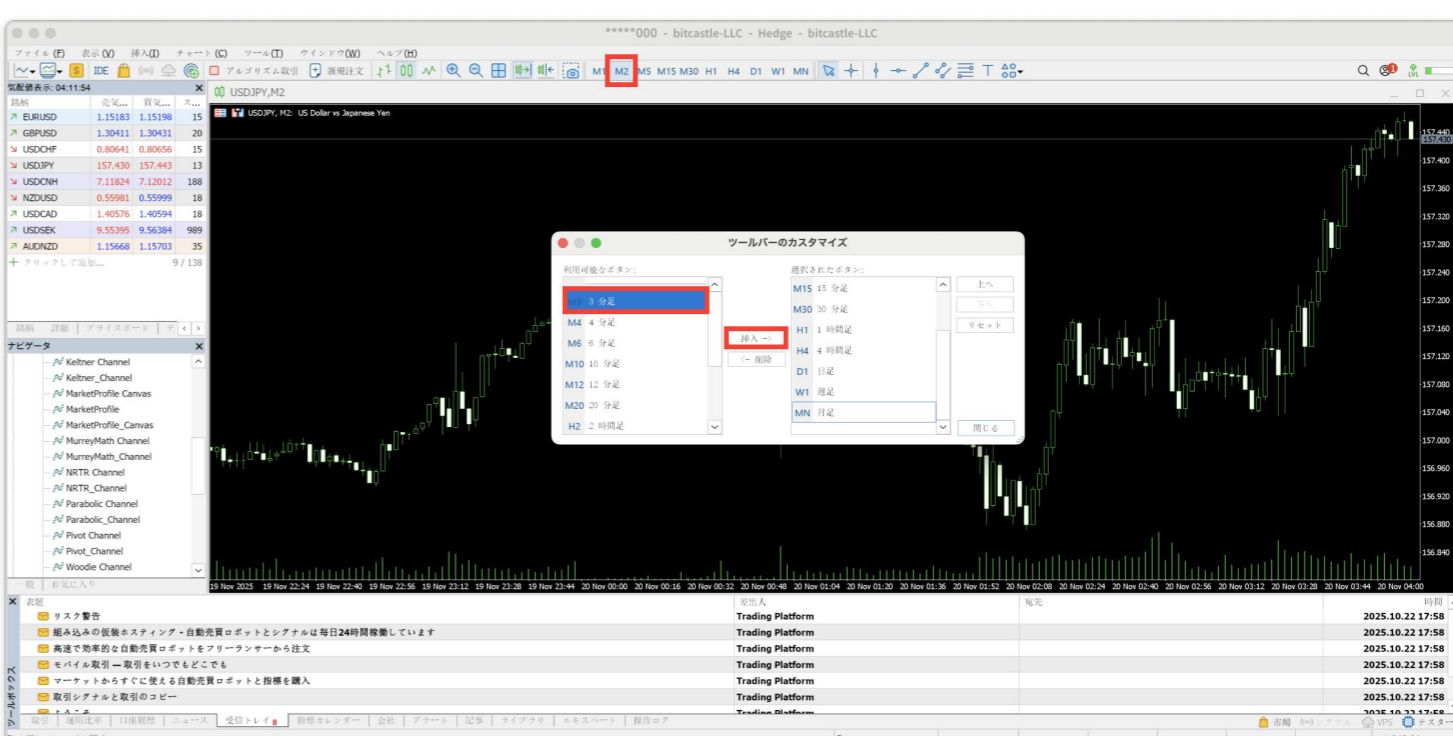
2. チャート表示内容変更

時間軸変更

時間軸は、長い時間足で全体の流れを掴みたいときや、短い時間足で今の勢いを確認したい時など、状況に応じて変更します。ツールバーにある、「M1 (1分足)」「H1 (1時間足)」「D1 (日足)」「W1 (週足)」「MN (月足)」などをクリックすることで、好きな時間軸に変更できます。

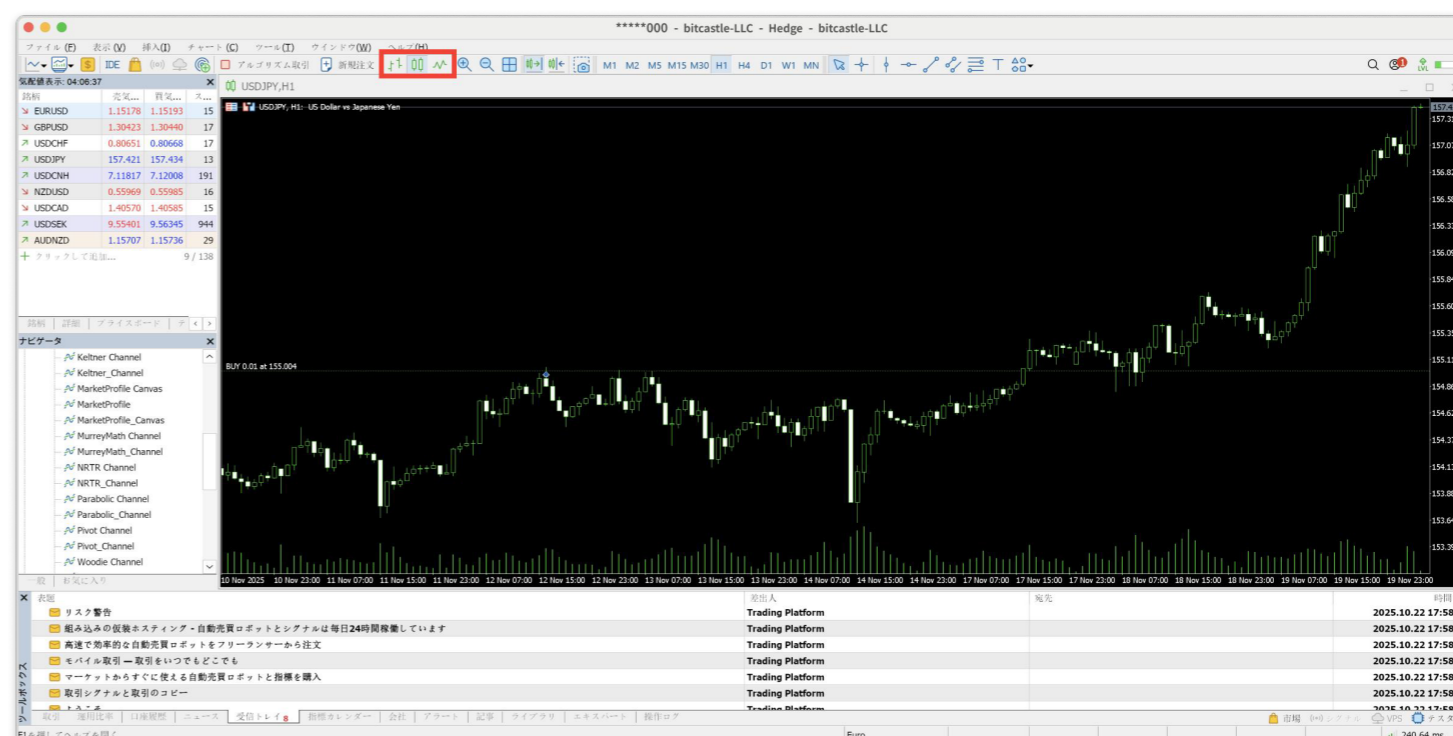


MT5では、時間軸をさらに細かく設定することができます。ツールバー > 時間軸上で右クリック > カスタマイズをクリックすると、「ツールのカスタマイズ」が表示されます。「利用可能なボタン」からお好きな時間足を選択し「挿入」をクリックすると、ツールバーに表示されます。

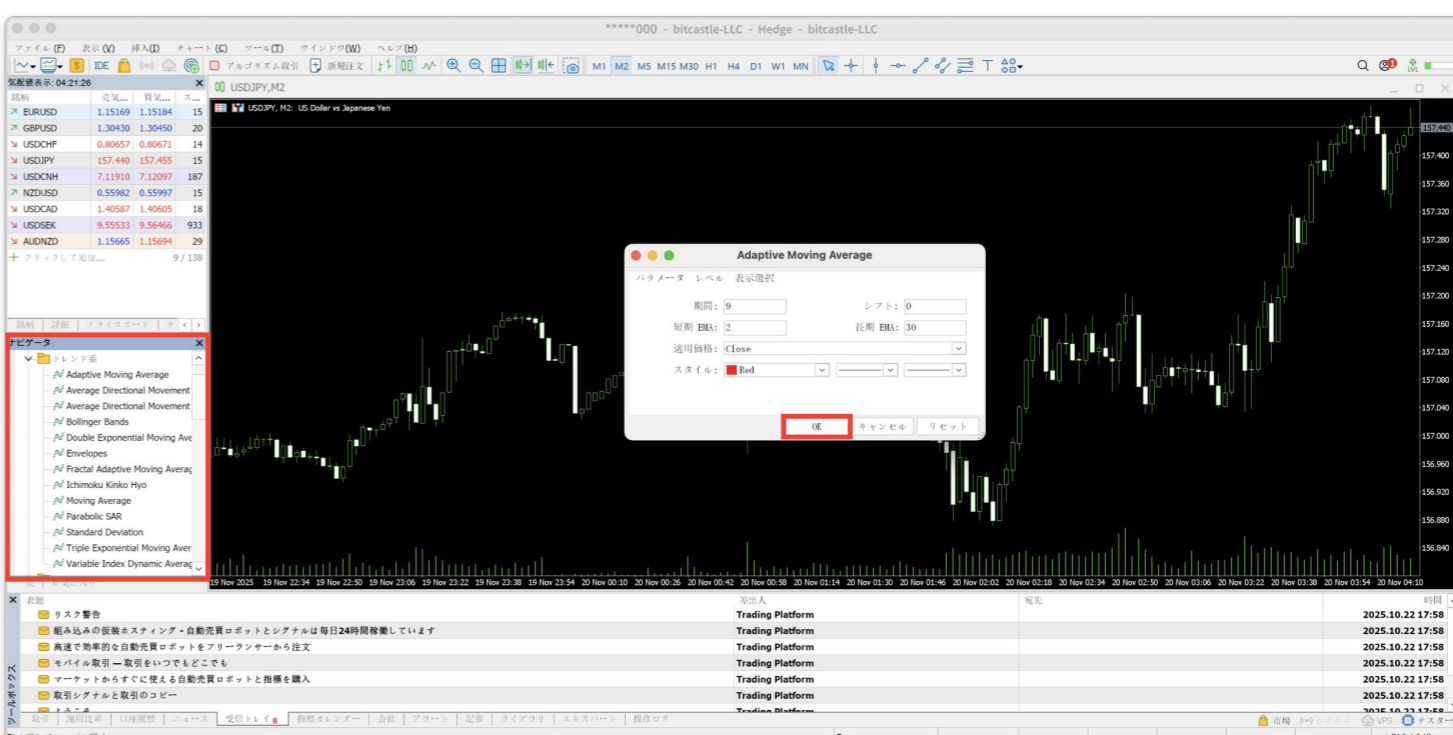


チャート種類変更

ツールバーにある、「バーチャート」「ローソク足」「ラインチャート」をクリックすることで、好きなチャートに変更できます。値動きの大きさを視覚的に判断したいときは「バーチャート」、取引タイミングを見極めたいときは「ローソク足」、相場全体の流れをざっくり見たいときは「ラインチャート」のように、状況に応じてチャートの種類を1クリックで変更することができます。

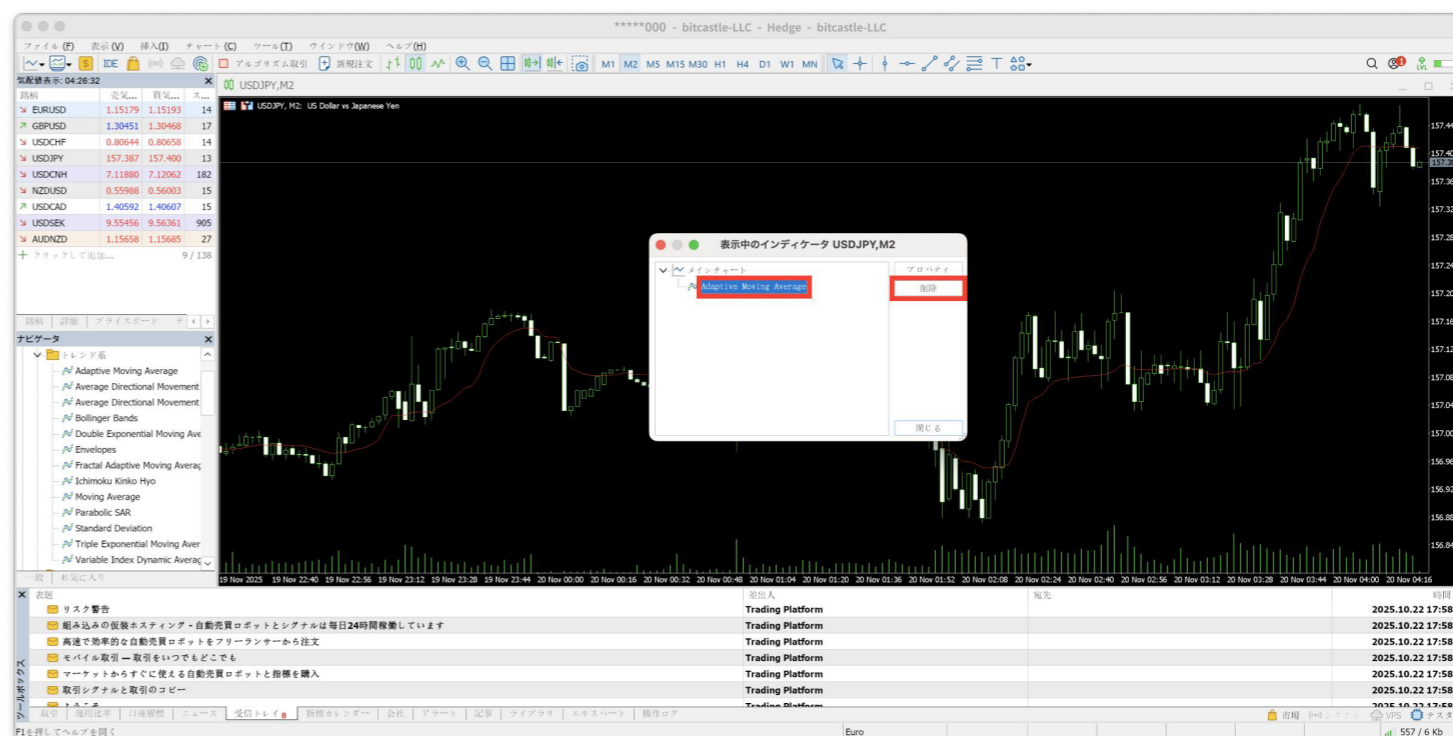


より詳細に相場の動きを分析したいときは、価格データを元にした分析ツール（インディケーター）を使用します。ナビゲータ > 指標からお好きなインディケーターを選択し、チャートウィンドウへドラッグ&ドロップするとポップアップが表示されます。ポップアップからパラメータを設定し、「OK」をクリックするとチャートウィンドウにインディケーターが反映されます。



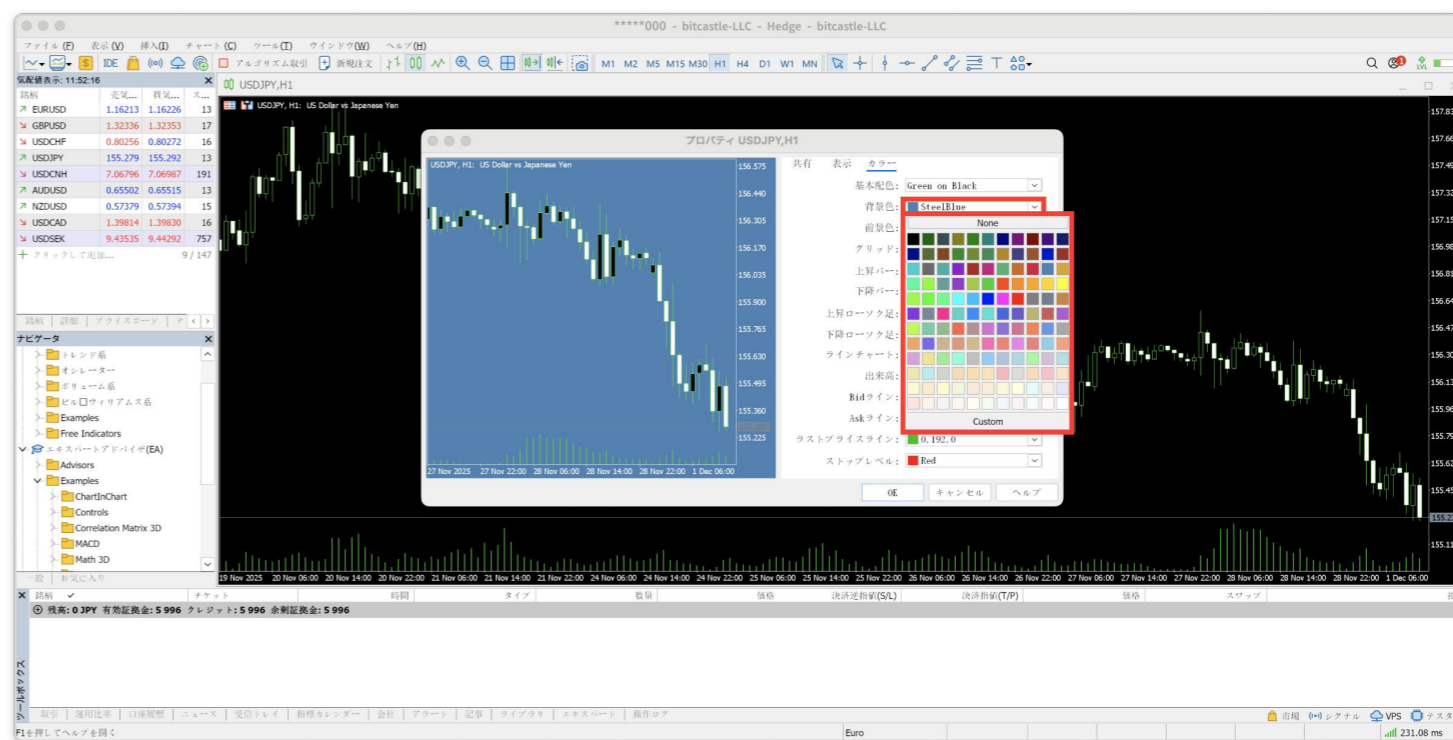
2. チャート表示内容変更

表示中のインディケータを消したいときは、チャートウィンドウ上で右クリック>インディケータリストをクリックし、消したいインディケータを選択した状態で「削除」をクリックすることでチャートウィンドウ上から消すことができます。

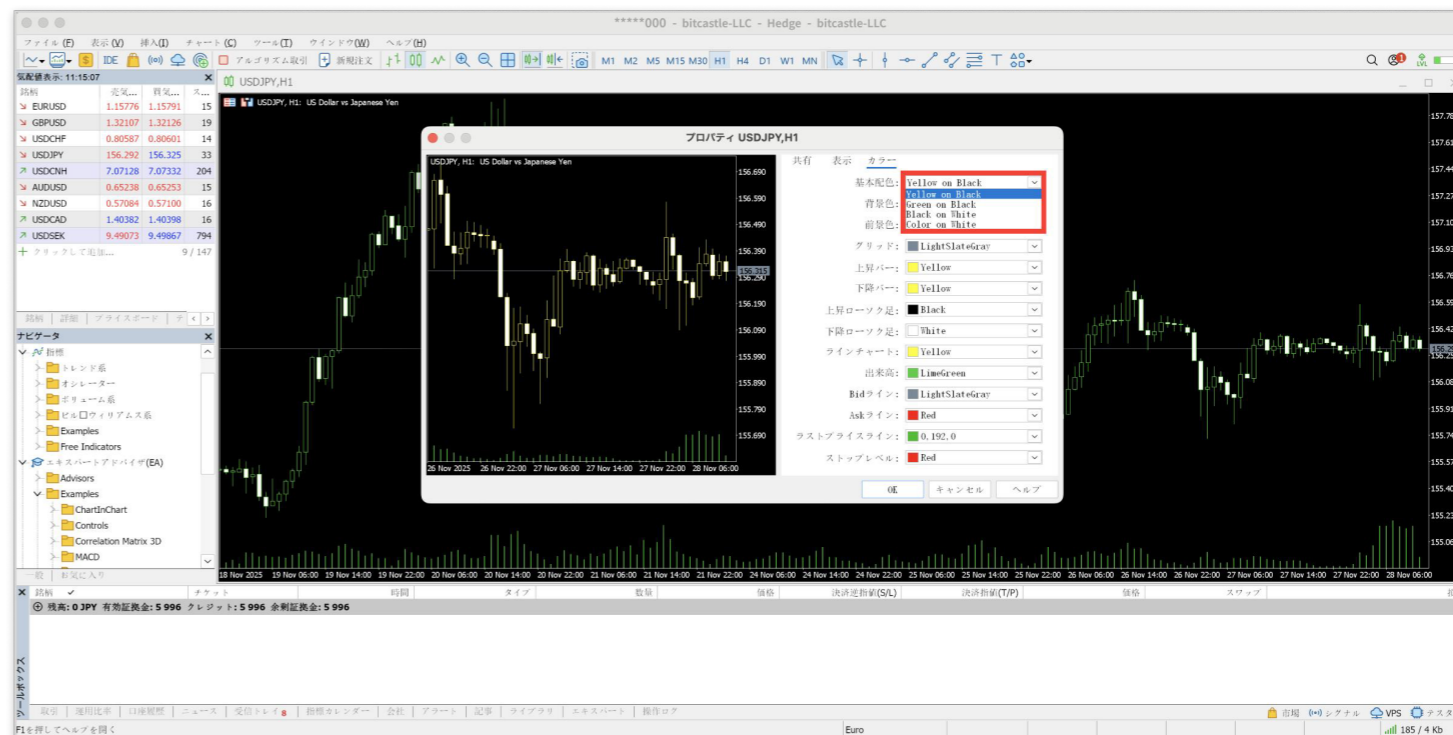


チャート背景・ローソク足の色変更

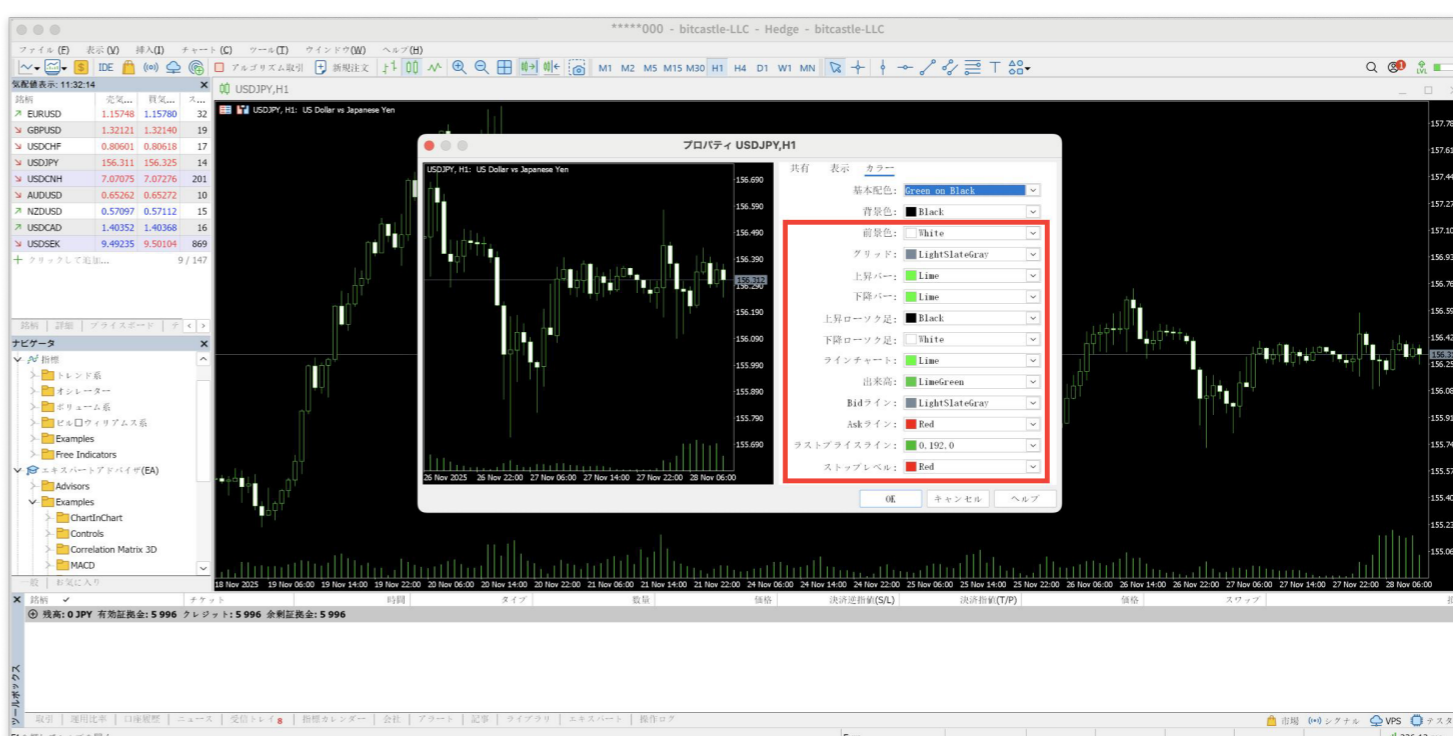
チャートの背景色を変更することができます。各々の分析スタイルに合わせて見やすいチャートが作れます。また、チャートウィンドウごとに背景色を変更できるので、複数の通貨ペアを同時に開くときに「どのチャートがどれか」を一瞬で判別でき、ミス防止にも役立ちます。チャート背景色を変更したい場合は、チャートウィンドウ上で右クリック>プロパティを選択し、「カラー」タブの「背景色」から好きな背景色に変更することができます。



あらかじめ用意された3種類のチャート組み合わせから配色を選択することもできます。チャートウィンドウ上で右クリック>プロパティを選択し、「カラー」タブの「基本配色」から選択できます。

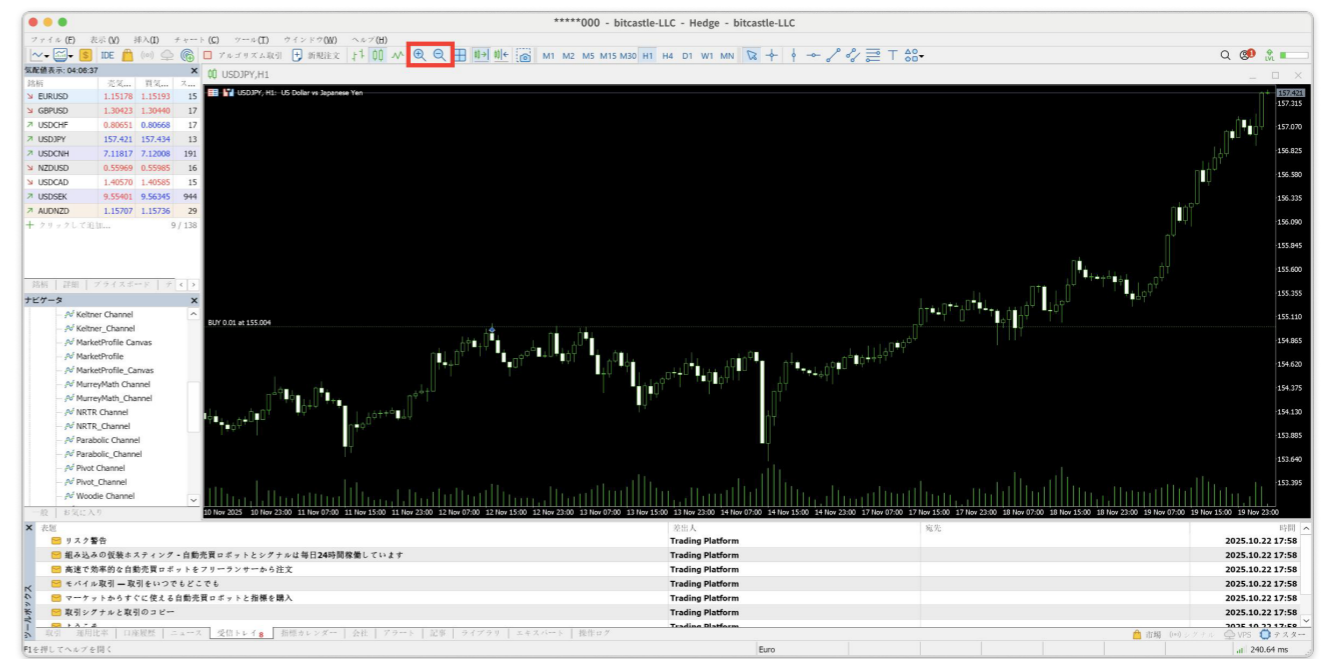


その他にも上昇バー、下降バーなどの色も変更することができます。チャートウィンドウ上で右クリック>プロパティを選択し、「カラー」タブから設定できます。



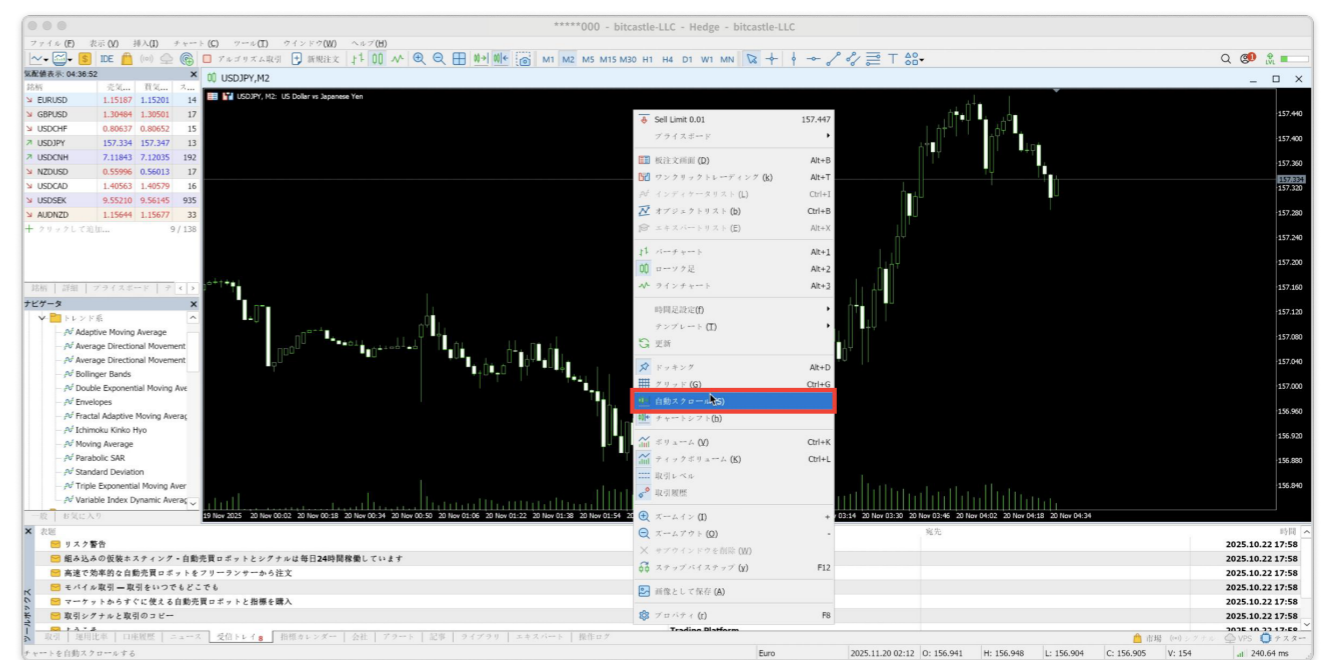
チャート拡大、縮小

ツールバーにある「ズームイン」をクリックすることでチャートを拡大でき、「ズームアウト」をクリックすることでチャートを縮小できます。短い期間を細かく見たいときや、長い期間をまとめて見たいときなど、1クリックでチャートを拡大縮小することができます。



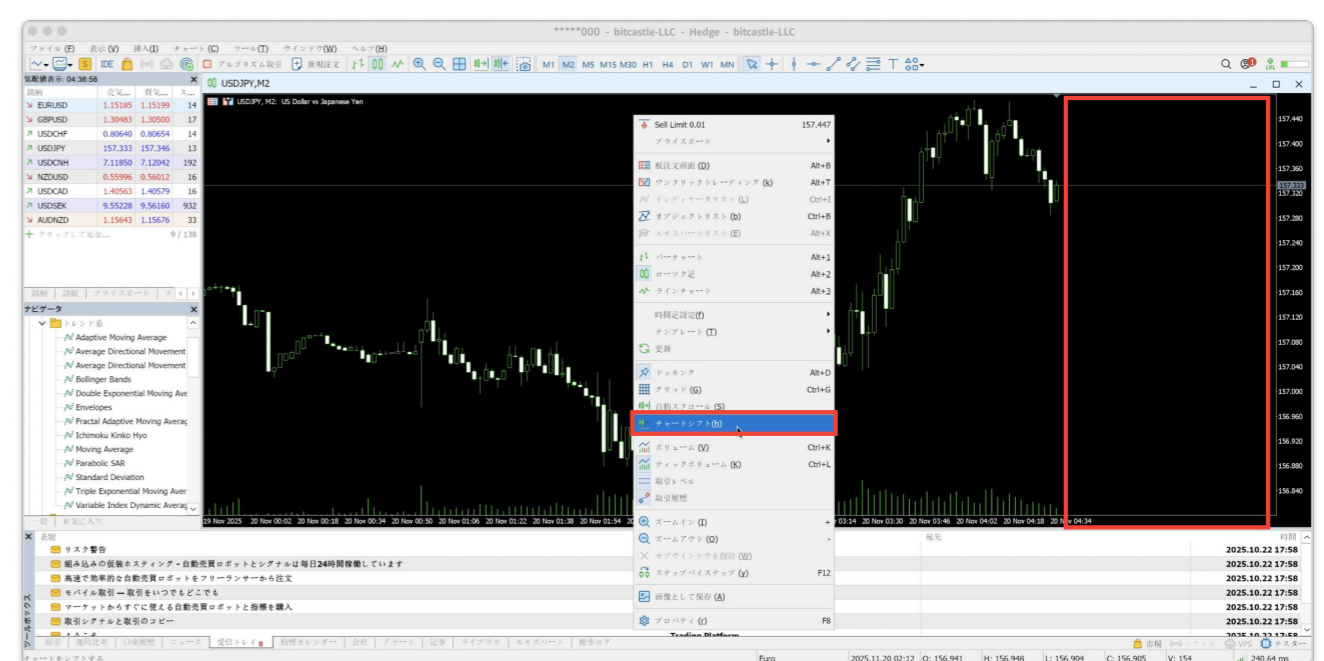
オートスクロール

オートスクロールとは、チャートに最新の物価データ（ローソク足）が表示されるたびに、自動で画面を右端までスクロールさせる機能です。リアルタイムで値動きを確認したい時などに便利です。オートスクロールのON/OFFを切り替えたい場合は、チャートウィンドウ上で右クリック > 自動スクロールをクリックすることでON/OFFが切り替えられます。



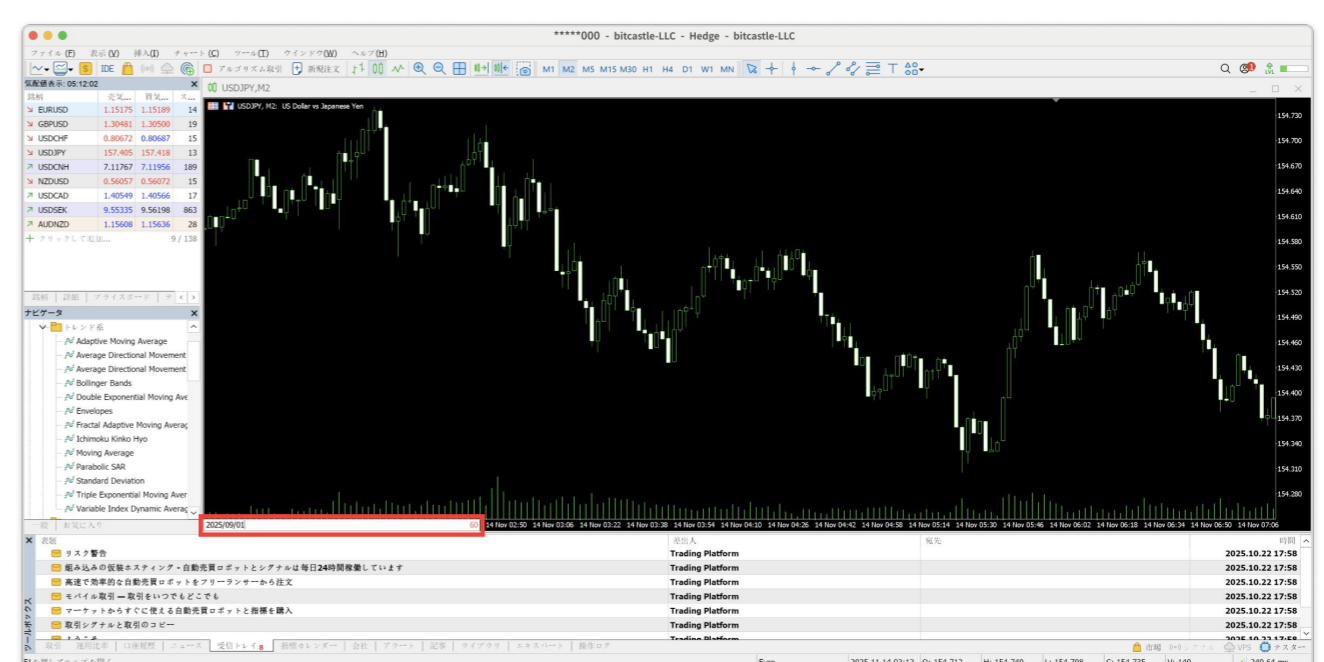
チャートシフト

チャートシフトとは、チャート上の描画位置を右側に空白をあける機能です。トレンドラインや水平線を引くとき、チャート全体の見やすさを向上させたいときなどに使用します。チャートウィンドウ上で右クリック > チャートシフトをクリックすることで表示できます。



高速ナビゲーション

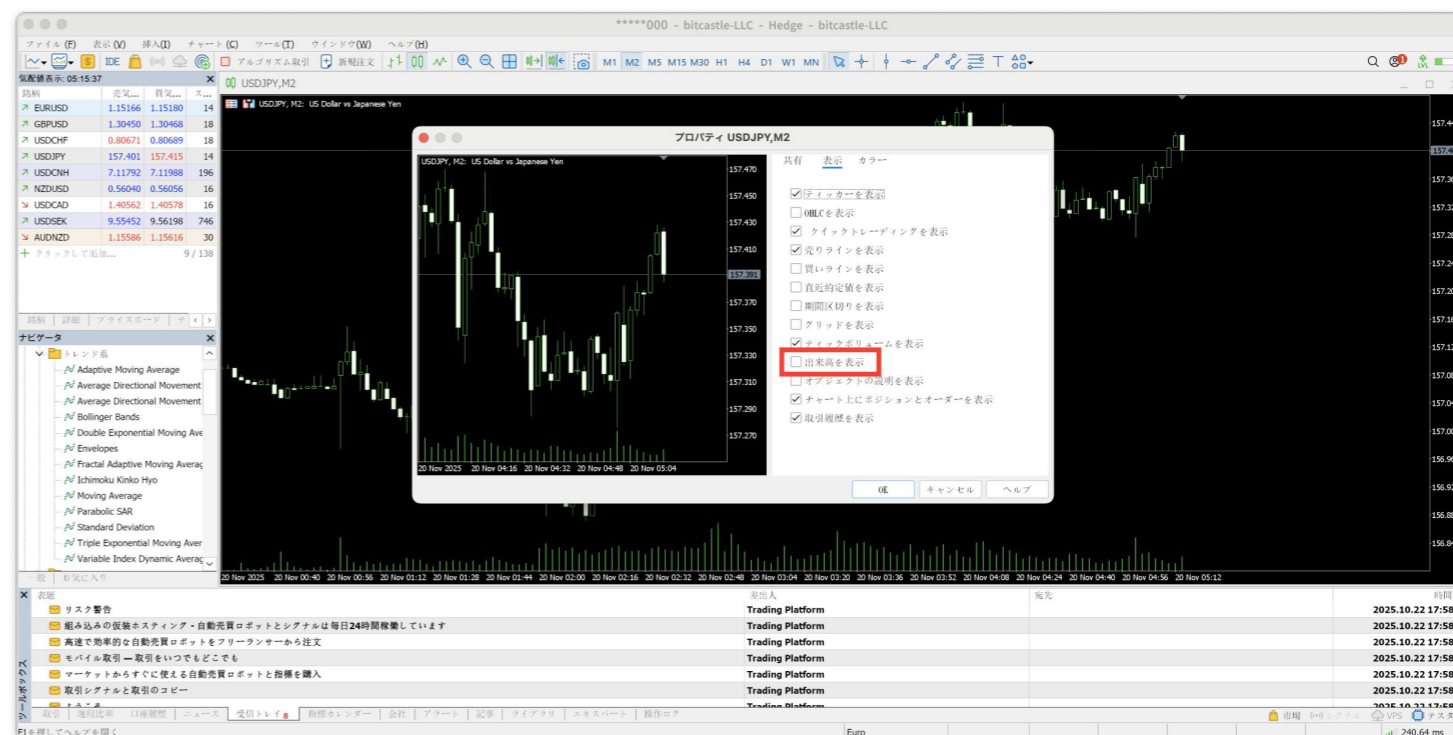
高速ナビゲーションとは、指定の日付のチャートを瞬時に表示することができる機能です。特定の日付の価格変動が見たいときに便利です。チャートウィンドウの左下をダブルクリックし「YYYY.MM.DD」の形式で日付を入力すると、指定の日付のチャートを確認することができます。



出来高表示、非表示

FXにおけるMT5上の「出来高」とは、特定期間の価格変動回数を示したものです。株式市場のような取引の総量を把握することはできませんが、価格変動の信頼性を判断したり、相場の活発さを測るときに便利です。

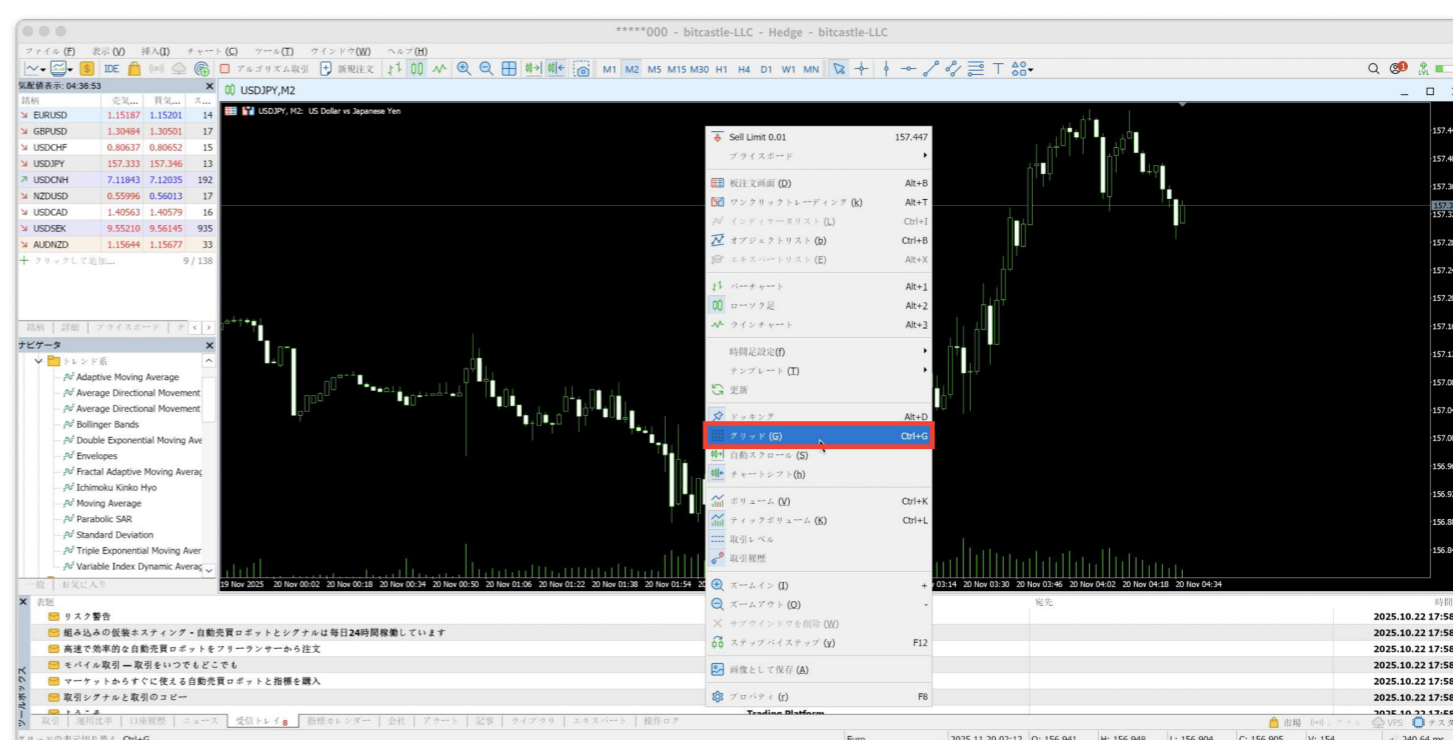
デフォルトではチャートウィンドウ下部に表示されており、非表示にしたい場合はチャートウィンドウ上で右クリック>プロパティ>表示の「出来高を表示」のチェックを外すことで非表示になります。



グリッド表示、非表示

グリッドとは、チャートウィンドウ背景に表示される網目状の線のことです。価格や時間の間隔をつかみたいときに便利です。

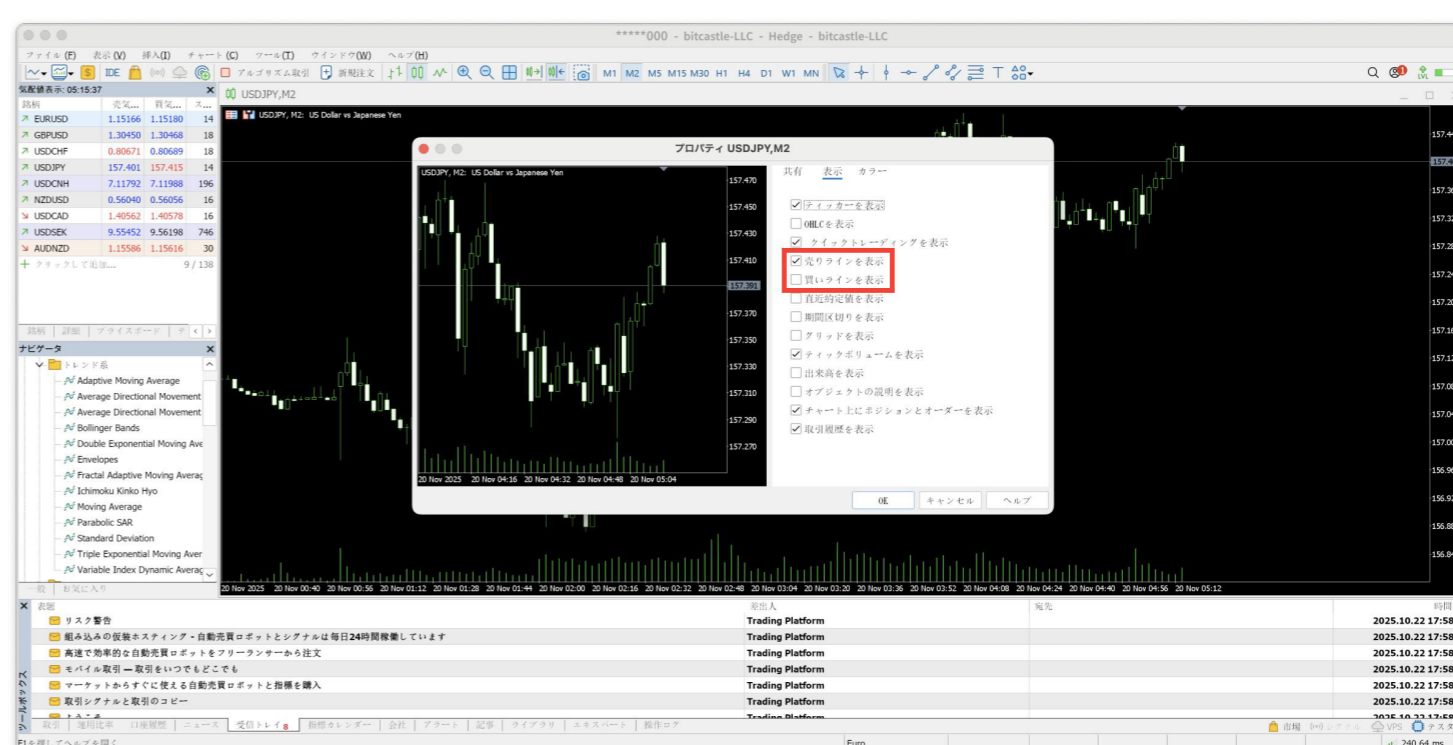
デフォルトでは表示されており、複数の線で表示が込み入ってしまうなどで非表示にしたい場合は、チャートウィンドウ上で右クリック>グリッドをクリックすることで表示、非表示が切り替わられます。



売り/買いラインの表示、非表示

売りライン、買いラインをチャート上に表示しておくことで、スプレッドの広がりを確認したいときに便利です。

チャートウィンドウ上で右クリック>プロパティ>表示>「売りラインを表示」「買いラインを表示」にチェックを入れることで表示、非表示が切り替えられます。



一 売りラインとは

売りラインとは、売りの新規注文可能価格（Bid）をチャート上に水平線で表示したものです。リアルタイムで動きます。一般的には、ローソク足が売りラインまで上がり、反発して下がる時に「売り（ショートエントリー）」で約定します。価格が下落した後に買い戻すことで利益を得ます。

一 買いラインとは

買いラインとは、買いの新規注文可能価格（Ask）をチャート上に水平線で表示したものです。リアルタイムで動きます。一般的には、ローソク足が買いラインまで下がり、反発して上がる時に「買い（ロングエントリー）」で約定します。価格が上昇した後に売ることで利益を得ます。

水平分割

同じ通貨ペアで時間軸を変えて見たいときなどに、チャートを水平分割するのが便利です。

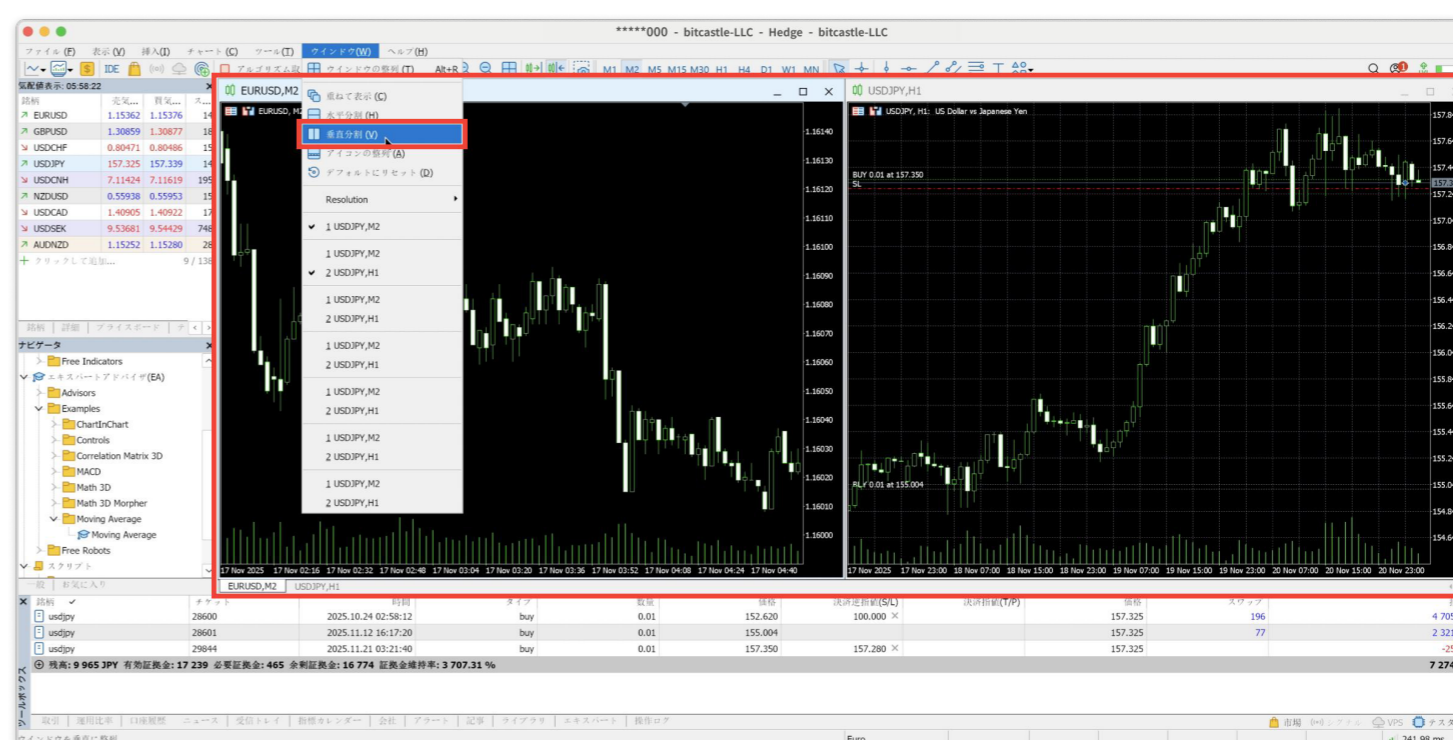
メニューバー＞ウィンドウ＞水平分割をクリックすることで、チャートを水平分割できます。



垂直分割

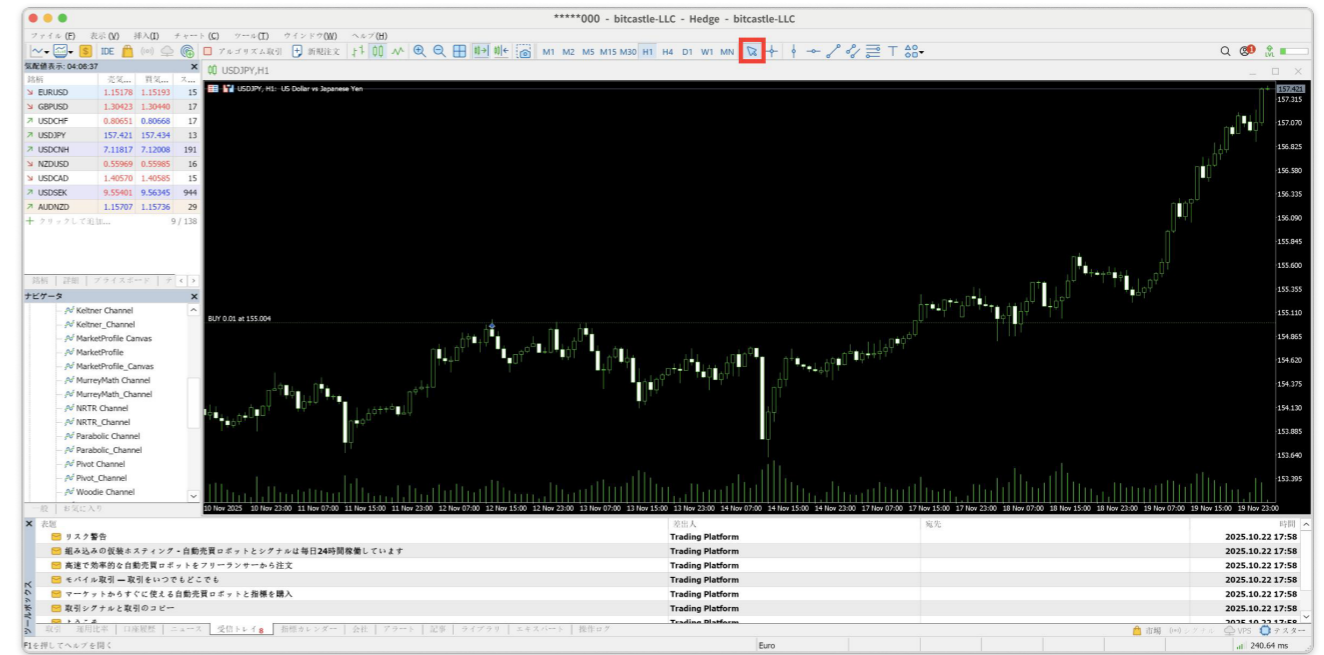
異なる通貨ペアを並べて見たいときなどに、チャートを垂直分割するのが便利です。

メニューバー＞ウィンドウ＞垂直分割をクリックすることで、チャートを垂直分割できます。



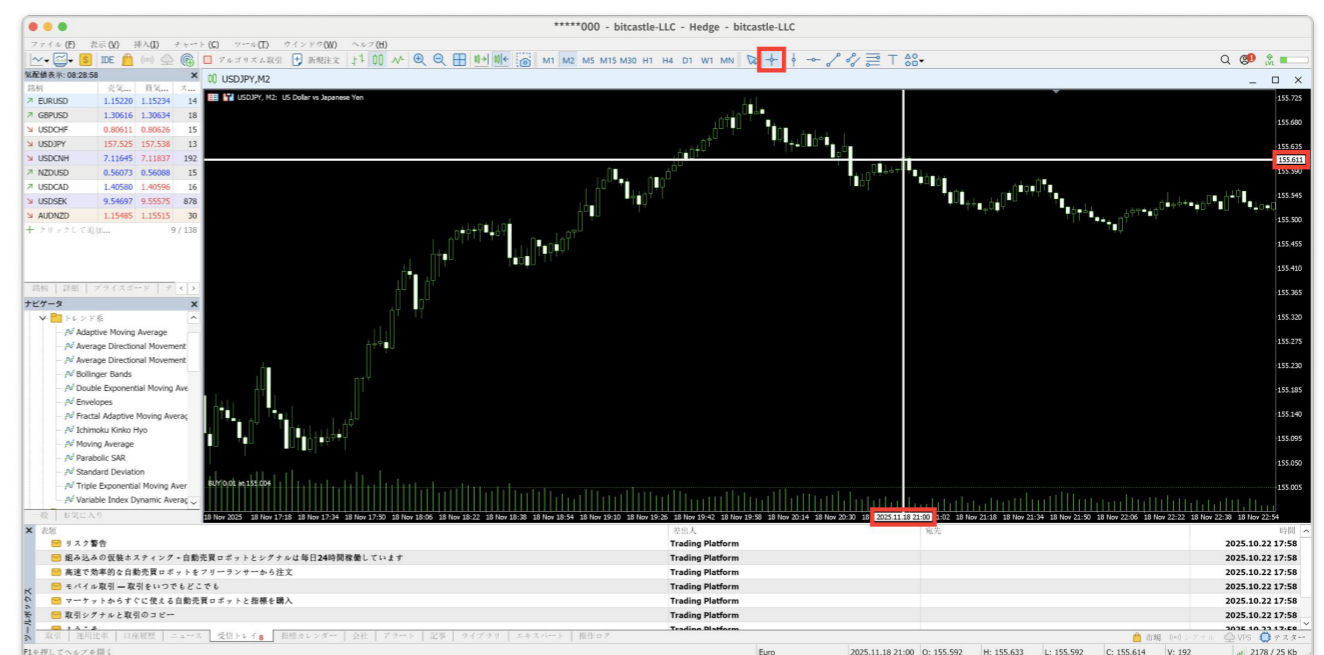
カーソル

ツールバーに表示されています。
カーソル選択時にはマウスポインタが矢印の形で表示されます。
チャート上の任意の位置を指すなどの基本操作時に使用します。



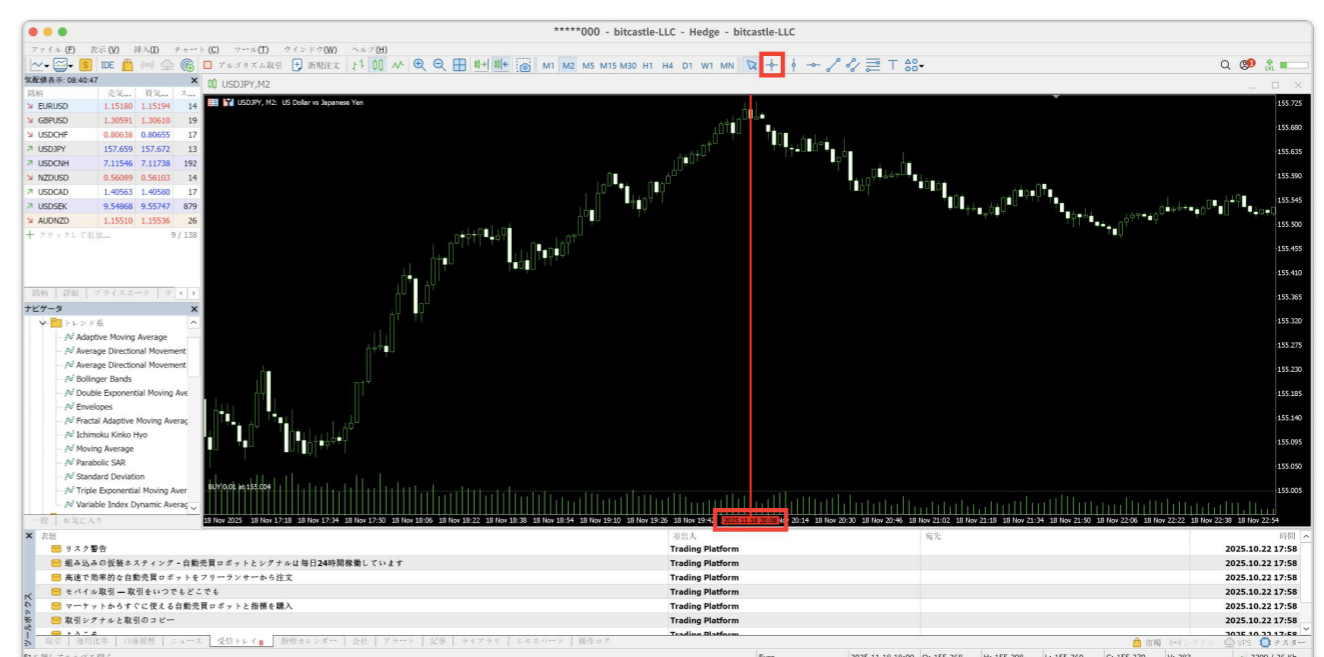
クロスヘア

ツールバーに表示されています。
クロスヘア選択時にはマウスポインタが十字の形で表示されチャート上に縦横の線が引かれるので、価格と時間を正確に知りたいときに便利です。



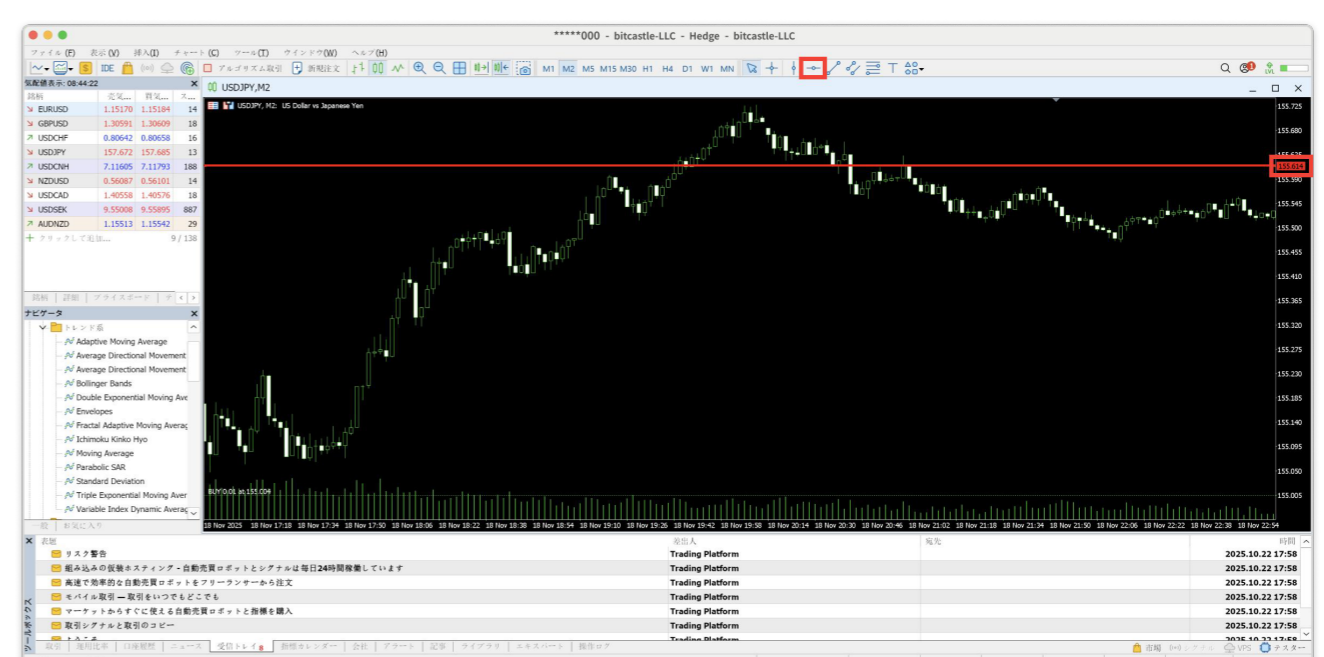
垂直線を描く

ツールバーに表示されています。
垂直線選択時にはマウスポインタが縦線の形で表示されます。
チャート上でクリックすると縦方向に線を引くので、特定の時間を知りたいときに便利です。



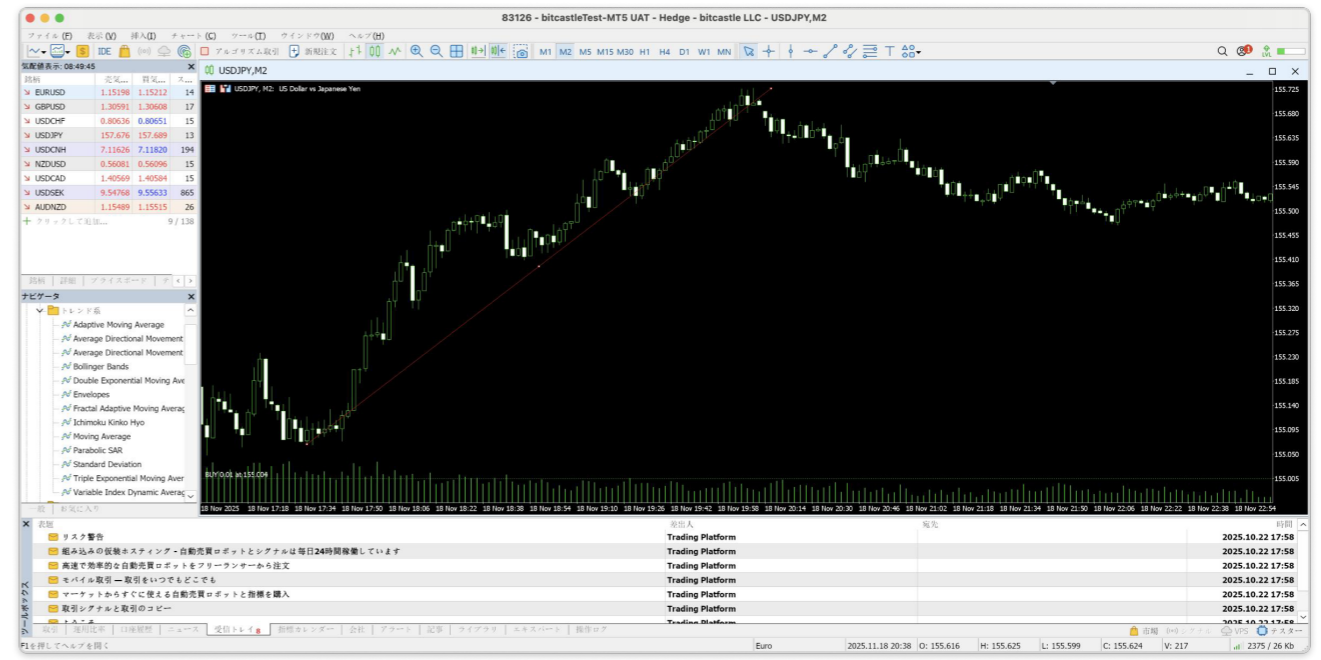
水平線を描く

ツールバーに表示されています。
水平線選択時にはマウスポインタが横線の形で表示されます。
チャート上でクリックすると横方向に線を引くので、特定の価格を知りたいときに便利です。



トレンドラインを描く

ツールバーに表示されています。
 トレンドライン選択時にはマウスポインタが斜め線の形で表示されます。
 チャート上でドラッグ&ドロップすると自由に直線を描けるので、価格の動きの傾きを知りたいときに便利です。



平行チャンネルを描く

ツールバーに表示されています。
 平行チャンネル選択時にはマウスポインタが斜め線2本の形で表示されます。
 チャート上でドラッグ&ドロップすると自由に平行線を描けるので、上昇・下降トレンドの中で価格がどの範囲で動きやすいかを知りたいときに便利です。



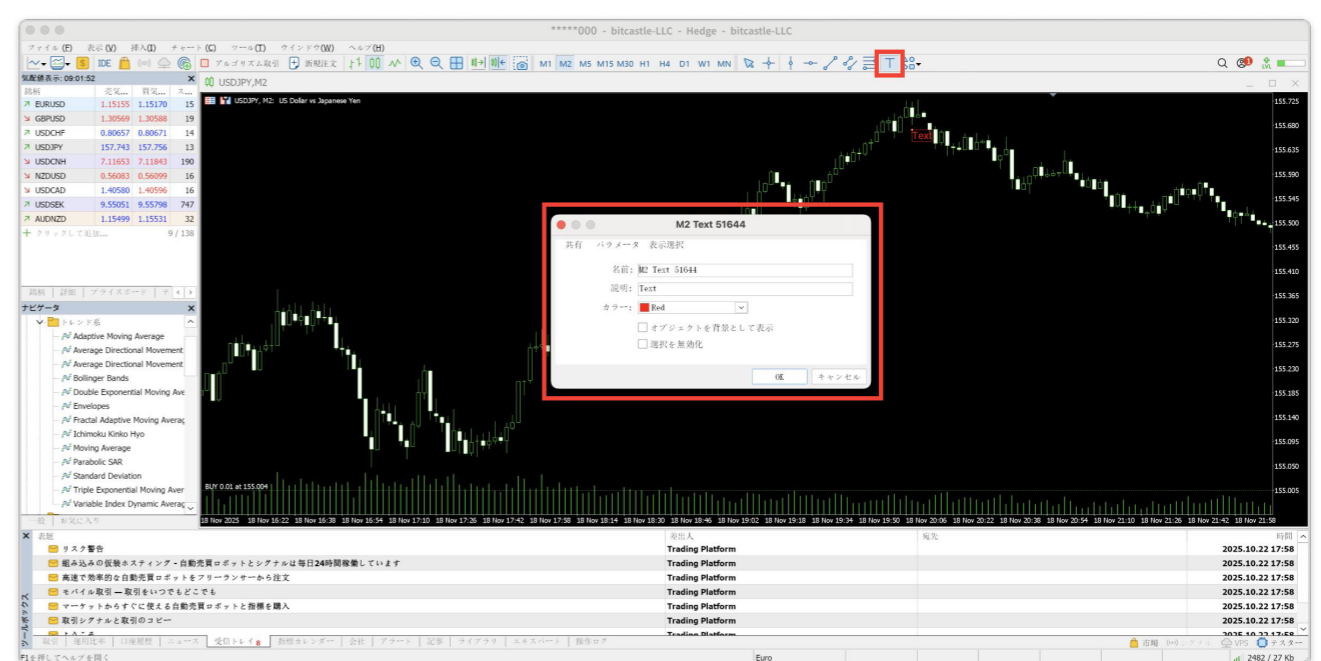
フィボナッチリトレースメントを描く

ツールバーに表示されています。
 フィボナッチリトレースメント選択時にはマウスポインタが横線4本の形で表示されます。
 チャート上でドラッグ&ドロップすると価格の押し目・戻りの可能性を比率で示すことができるので、上昇・下降トレンド中の押し目買い、戻り売りの目安を知りたいときに便利です。



テキストを描く

ツールバーに表示されています。
 テキスト選択時にはマウスポインタがabcの形で表示されます。
 チャート上でクリックするとポップアップに「名前」「説明」「カラー」などが表示され、チャート上にメモや説明文を自由に書くことができるので、自分だけの分析メモを残したいときに便利です。

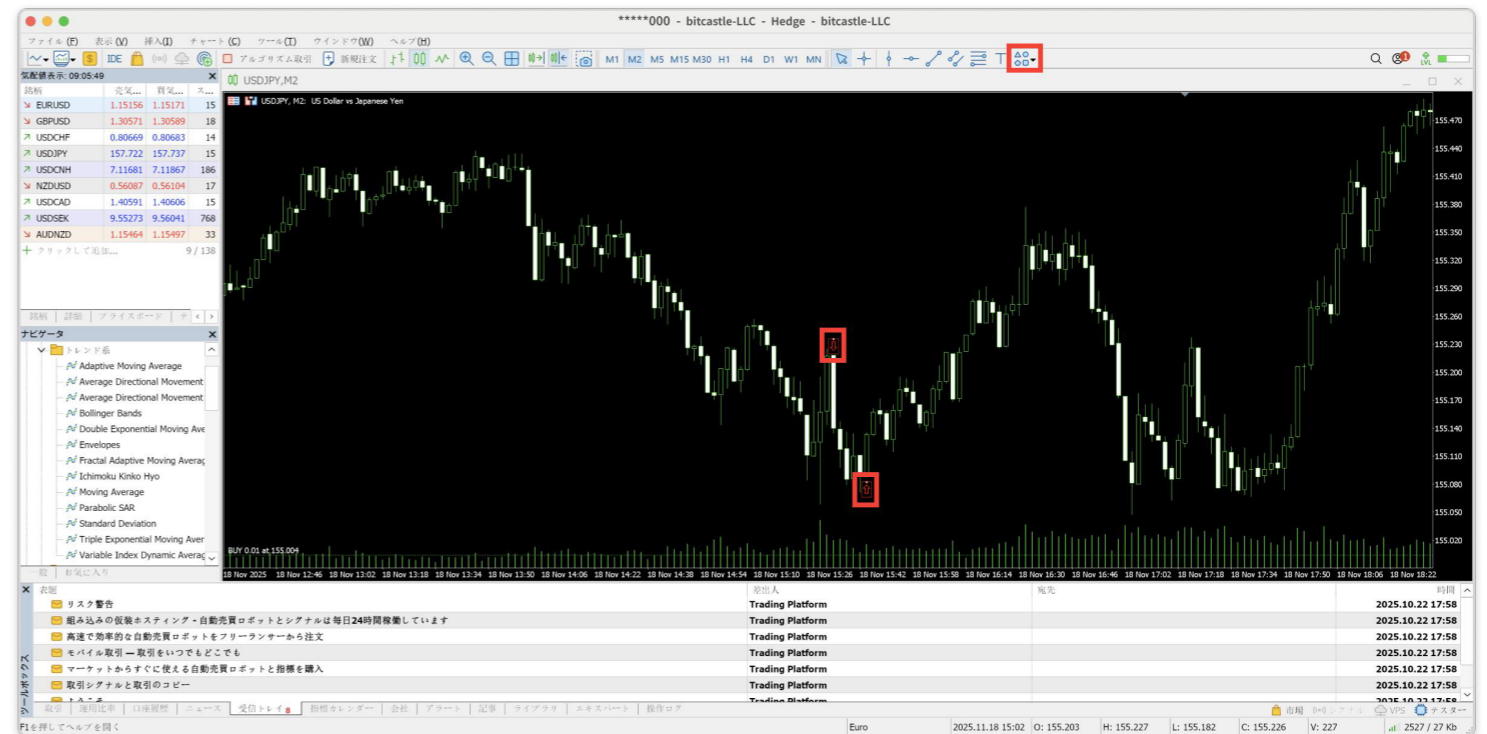


矢印を描く

ツールバーに表示されています。

「サムズアップ」「サムズダウン」「上向き矢印」「下向き矢印」など、選択したものによりマウスポインタの形が変わります。

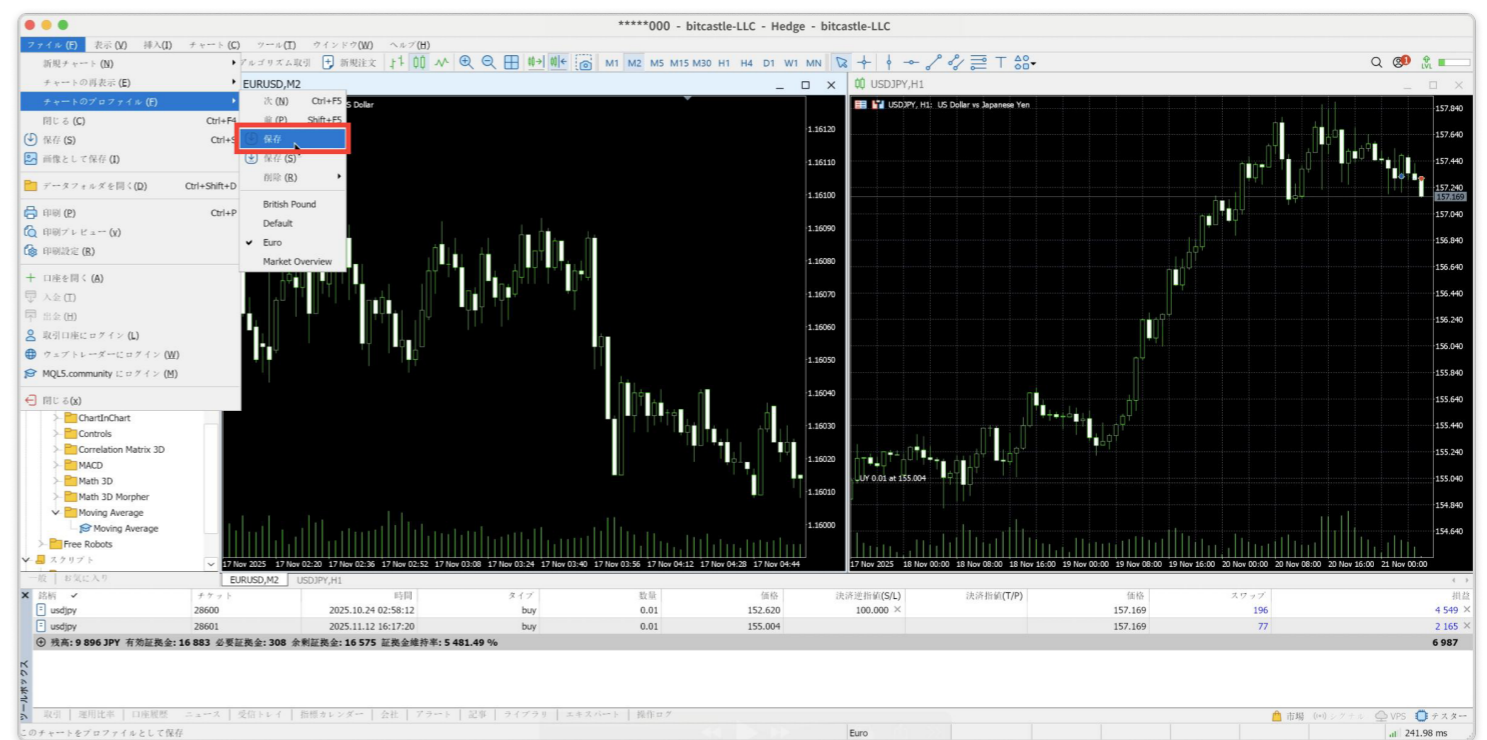
チャート上でクリックすると矢印などのマークが表示されるので、取引タイミングや重要箇所を強調、視覚化したいときに便利です。



5. チャートのプロフィール保存

チャートのプロフィールとは、**複数チャートのセットをまとめて保存・呼び出す機能**です。複数チャートを同時に管理できるので、取引スタイルごとにチャートセットを用意したいときに便利です。

メニューバー>ファイル>チャートのプロフィール>保存 からチャートのプロフィールを保存できます。



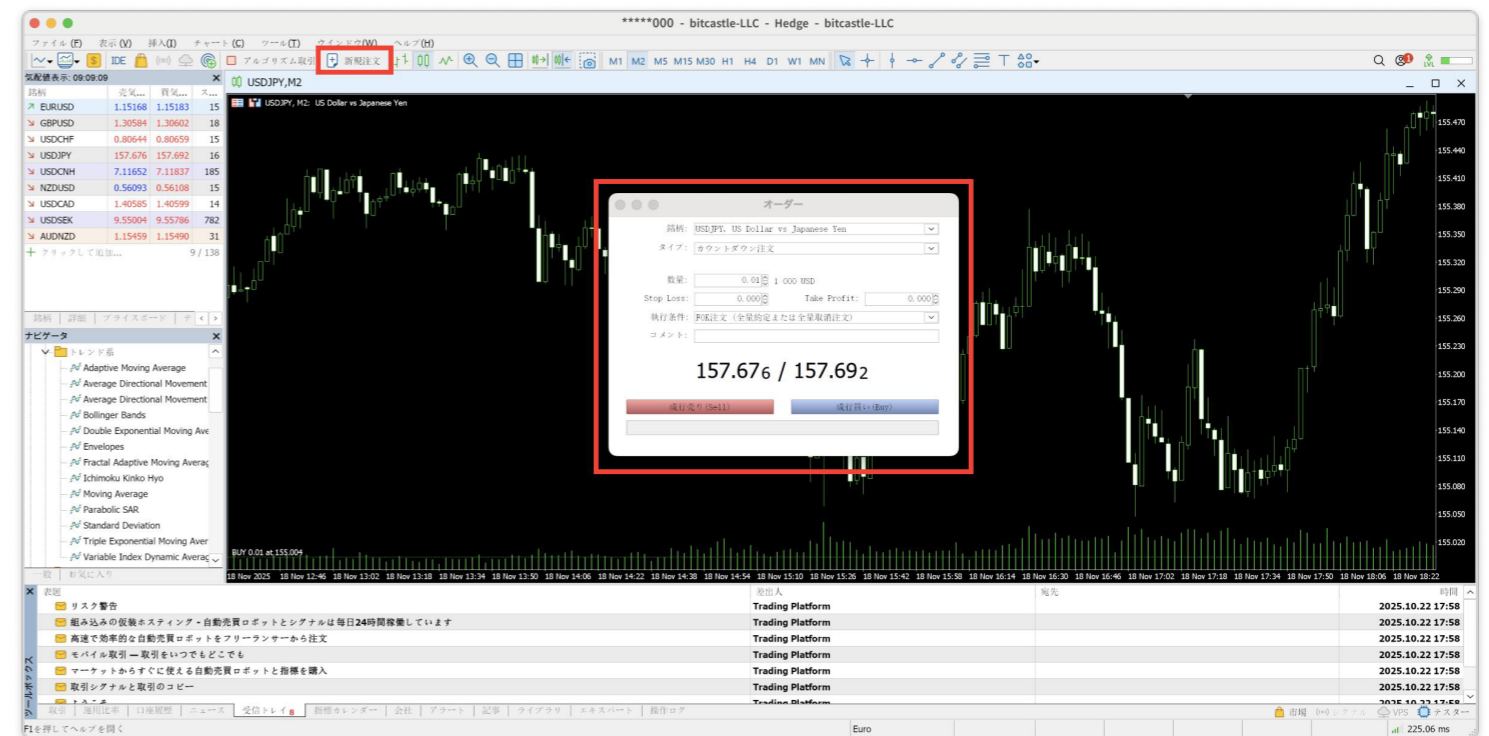
1. 新規注文方法

新規注文とは、取引を開始するための注文です。

発注画面の開き方

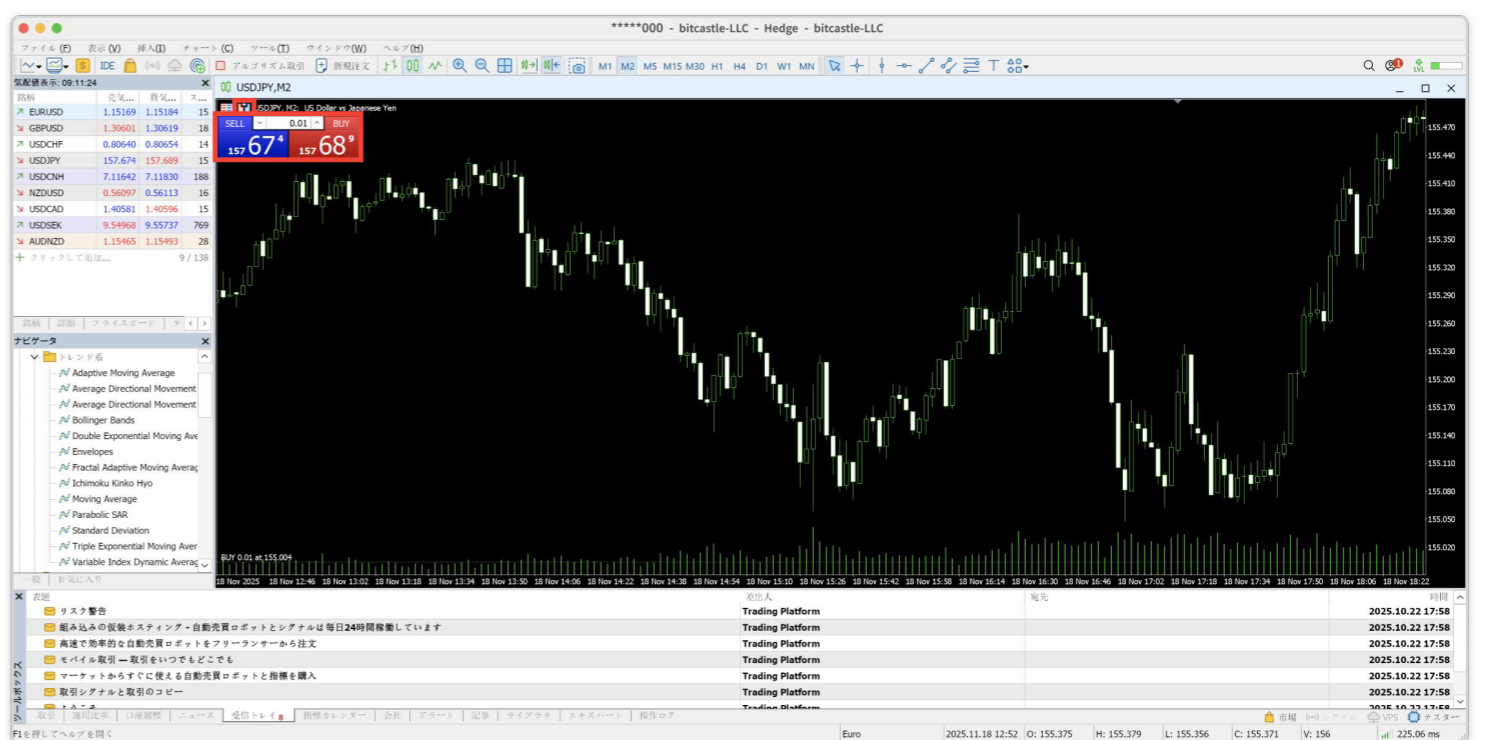
ツールバーの「新規注文」をクリックすると「オーダー」のポップアップが表示されます。

現在の価格よりも不利な方向に到達したら発注されるStop注文、現在の価格よりも有利な価格になったら発注されるLimit注文、Stop注文とLimit注文を組み合わせたStop Limit注文など、注文条件をじっくり決めたい場合はこの「オーダー」のポップアップから注文します。



多くのトレーダーが使用するのは、チャートウィンドウ上からワンクリックで即座に新規注文することができる「スピード注文」です。チャートウィンドウ左上の「取引パネルを表示」をクリックすることで表示できます。

細かい注文条件を省略して、すぐに市場に注文を出したい場合に便利です。

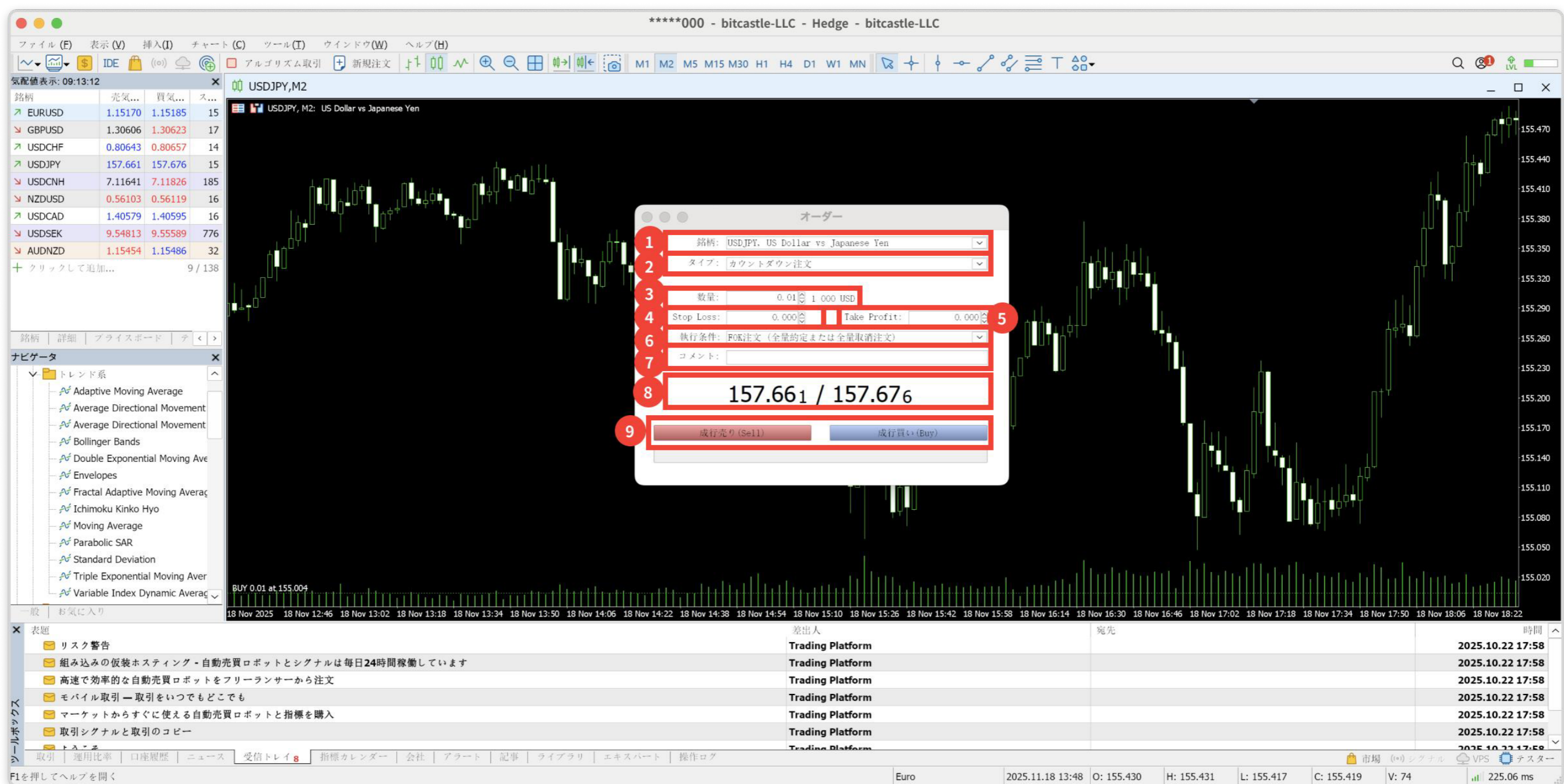


成行注文

成行注文とは、リアルタイムで相場状況を見ながら取引開始する注文です。

— 「オーダー」から注文する場合 —

ツールバーの「新規注文」をクリックして表示される「オーダー」画面から注文することができます。



1 銘柄

取引したい通貨ペアを選択する

3 数量

取引数量を入力する（例：0.10 → 0.1ロット=1万通貨）

5 Take profit

利益を確定するために設定する価格水準を指定する

7 コメント

取引理由を記載したい場合は内容を記載する

9 成行売り（Sell） / 成行買い（Buy）

全項目入力完了後にクリックする

2 タイプ

「カウントダウン注文」を選択する

4 Stop Loss

損失を限定するために設定する価格水準を指定する

6 執行条件

指定した価格で取引できなかった場合、どのように取引を成立するかを選択する

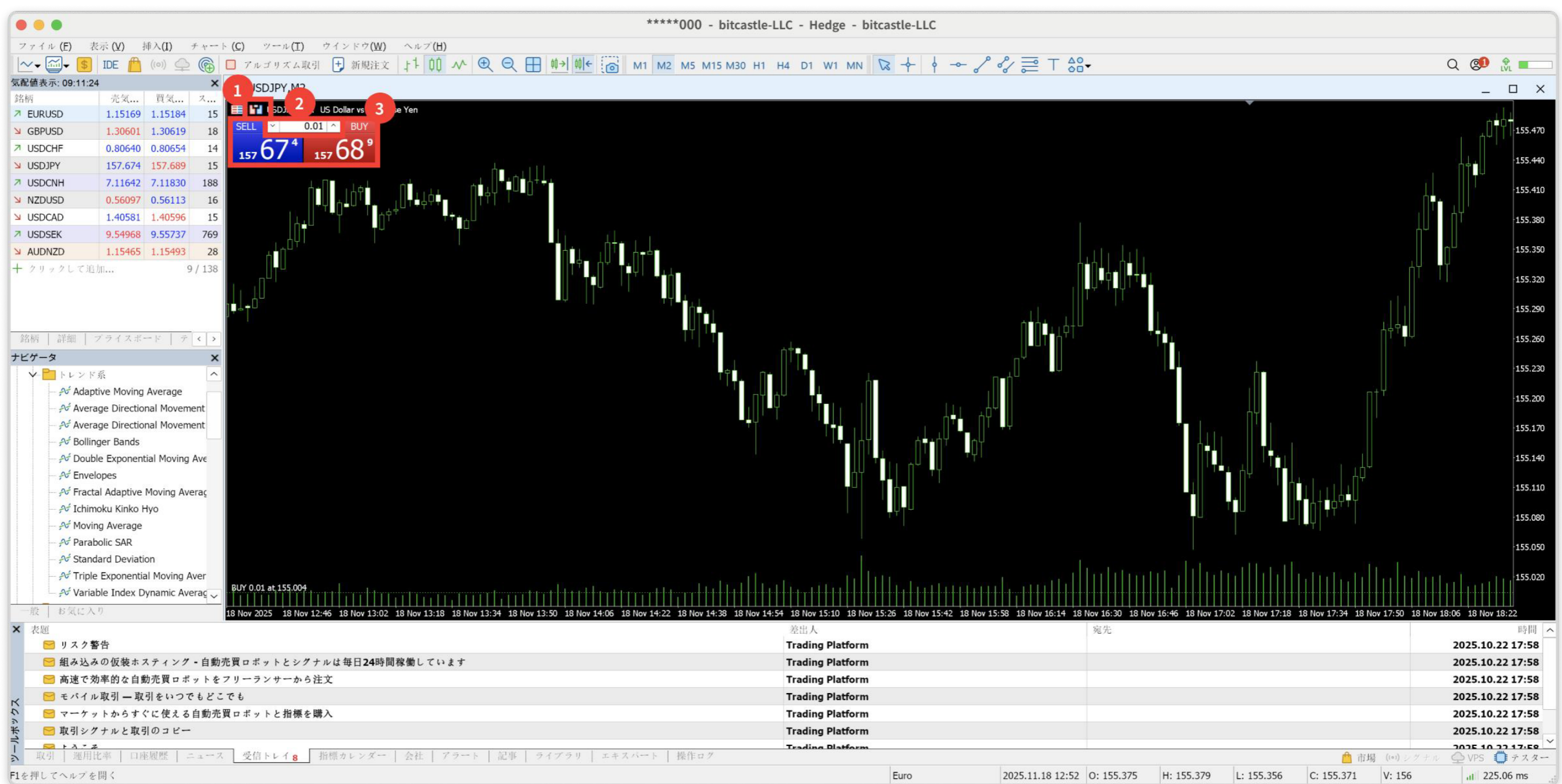
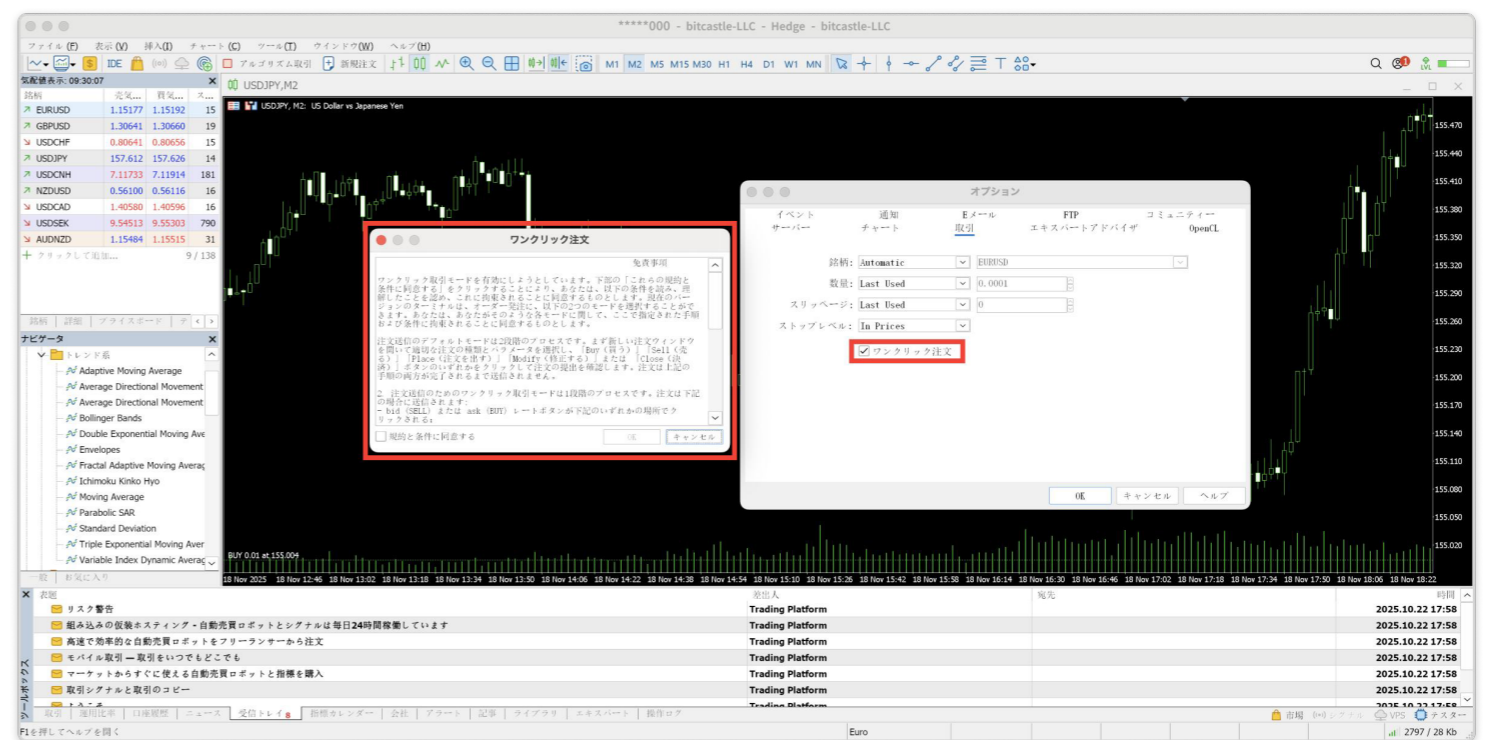
- FOK注文：全数量が売買できる場合にのみ約定する
- IOC注文：注文数量のうち取引可能な分のみ約定し、未約定分は自動キャンセル

8 売値 / 買値

現在の「売値 / 買値」を確認する

— 「ワンクリック注文」の場合 —

ワンクリック注文を行うには、事前に設定が必要です。
メニューバーからツール>オプション>取引を選択し「ワンクリック注文」にチェックを入れ、規約と条件に同意することで、ワンクリック注文が可能になります。



1 取引パネルを表示

チャートウィンドウ左上の「取引パネルを表示」をクリックする

※ 確認画面は出ません。

2 数量 (ロット)

パネル上で「数量 (ロット)」を指定

3 Sell / Buy

「Sell」または「Buy」をクリックする

指値・逆指値・Stop Limit注文

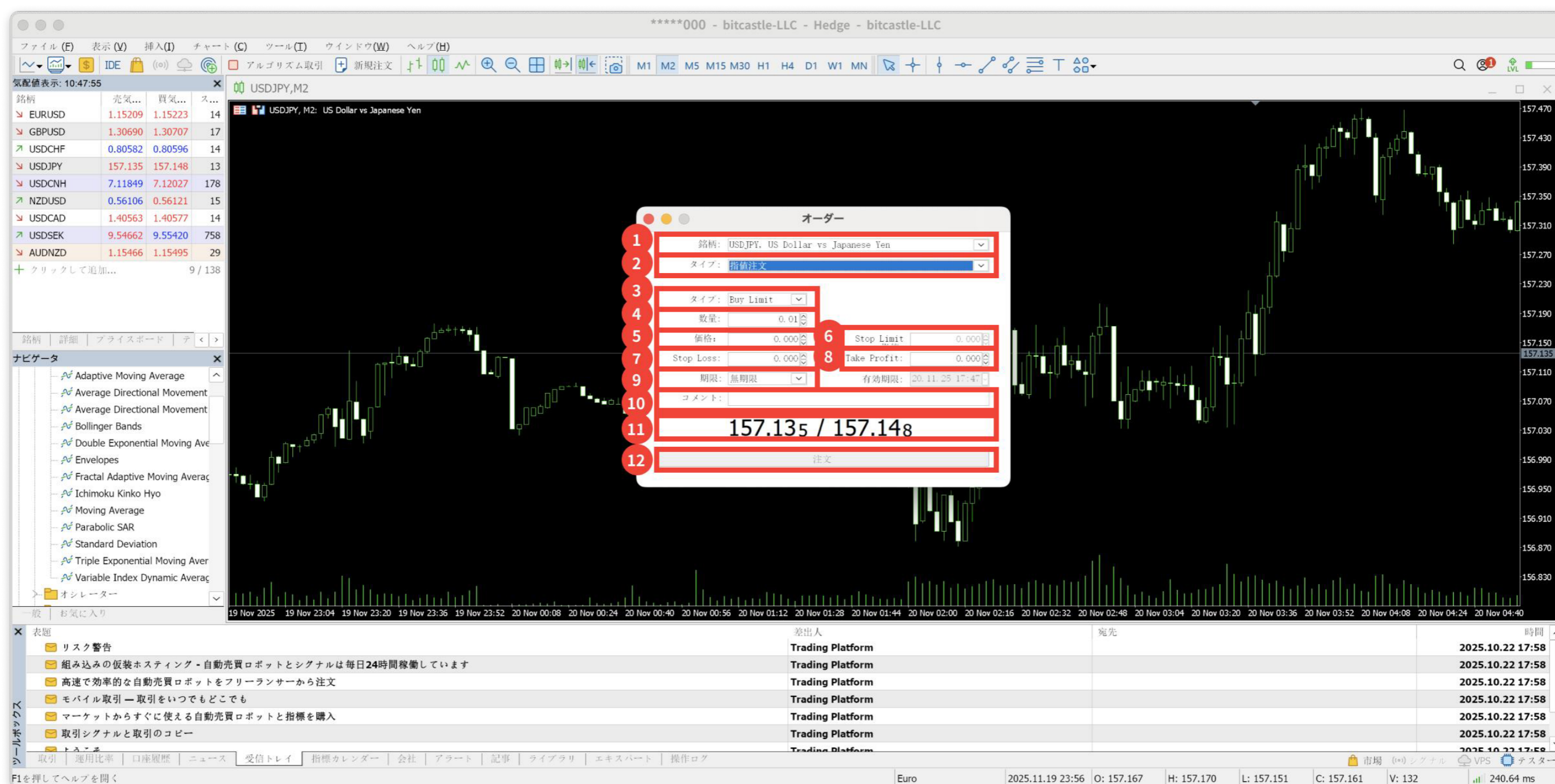
指値注文とは、現在の価格よりも有利な価格に到達したときに発注される予約注文です。

逆指値注文とは、現在の価格よりも不利な価格に到達したときに発注される予約注文です。

Stop Limit注文とは、指定したトリガー価格 (Stop価格) に到達したときに、指定した指値価格 (Limit価格) で発注される予約注文です。

— 「オーダー」から注文する場合 —

「指値注文」「逆指値注文」「Stop Limit注文」いずれも、ツールバーの「新規注文」をクリックして表示される「オーダー」のポップアップから注文することができます。



1 銘柄

取引したい通貨ペアを選択する

2 タイプ

「銘柄」下の「タイプ」から「指値注文」を選択する

3 タイプ

「数量」上の「タイプ」からどのような条件で注文するかを指定する

- Buy Limit (指値注文) : 現在よりも安い価格で買う
- Sell Limit (指値注文) : 現在よりも高い価格で売る
- Buy Stop (逆指値注文) : 現在よりも高い価格で買う
- Sell Stop (逆指値注文) : 現在よりも安い価格で売る
- Buy Stop Limit : 現在より高い価格 (トリガー価格) を指定して、トリガー価格より安い価格で買う
- Sell Stop Limit : 現在より安い価格 (トリガー価格) を指定して、トリガー価格より高い価格で売る

4 数量

取引数量を入力する (例 : 0.10 → 0.1ロット = 1万通貨)

5 価格

取引価格を入力する

6 Stop Limit

トリガー価格を指定する

7 Stop Loss

損失を限定するために設定する価格水準を指定する

8 Take profit

利益を確定するために設定する価格水準を指定する

9 期限

注文が有効な期間を指定する

10 コメント

取引理由を記載したい場合は内容を記載する

11 売値 / 買値

現在の「売値 / 買値」を確認する

12 注文

全項目入力完了後にクリックする

2. 決済注文方法

決済注文とは、新規注文で保有した未決済の注文（ポジション）を精算するための注文です。

成行決済

成行決済とは、保有しているポジションを現在の価格で即座に決済する注文です。
ツールボックスウィンドウの「取引」タブや、チャートウィンドウ上から決済することができます。

— 「取引」から決済する場合 —

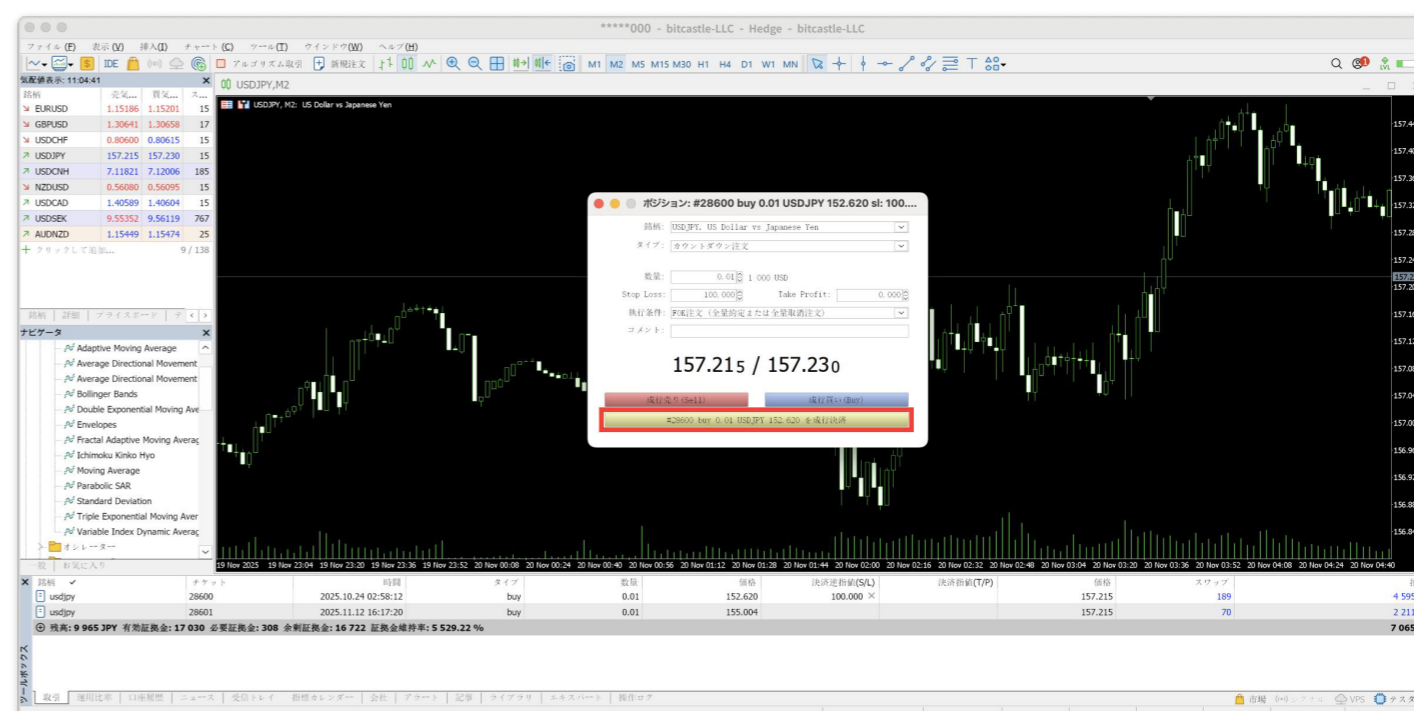
ツールボックスウィンドウの「取引」タブには、保有中のポジションが表示されます。

決済したいポジション右端の「X」をクリックすると、決済することができます。



ワンクリック注文の設定をしていない場合は、以下「ポジション」のポップアップが表示されます。

下部の黄色いボタンをクリックすると、決済することができます。



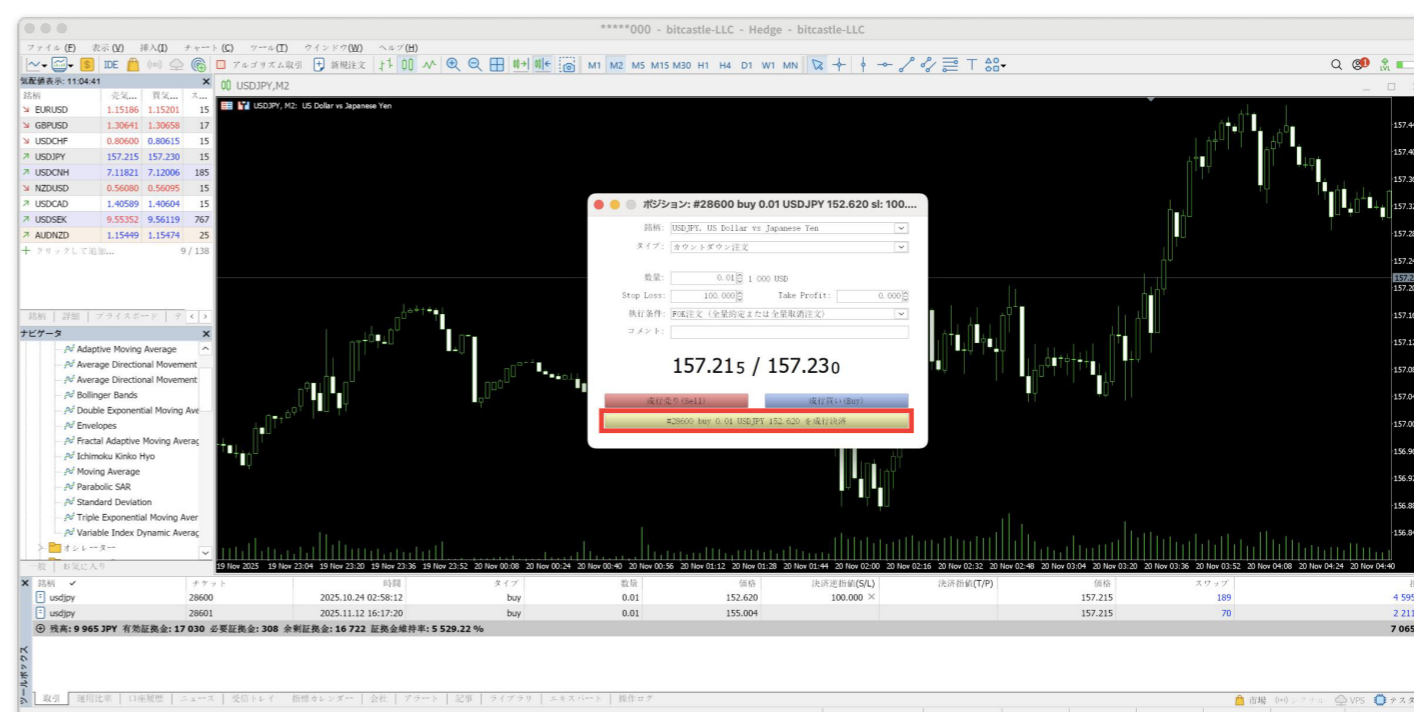
— 「チャートウィンドウ」から決済する場合 —

チャートウィンドウ上にポジションと注文を表示している場合は、ポジションの水準を示すライン（緑色の波線）上にカーソルを合わせ、右クリック>閉じるを選択すると、決済することができます。



ワンクリック注文の設定をしていない場合は、以下「ポジション」のポップアップが表示されます。

下部の黄色いボタンをクリックすると、決済することができます。



3. 注文の変更・取り消し

指値、逆指値、Stop Limitで新規注文した場合、取引が成立（約定）するまでは注文の変更や、取り消しができます。ツールボックスウィンドウの「取引」タブや、チャートウィンドウ上から注文を変更、取り消しすることができます。

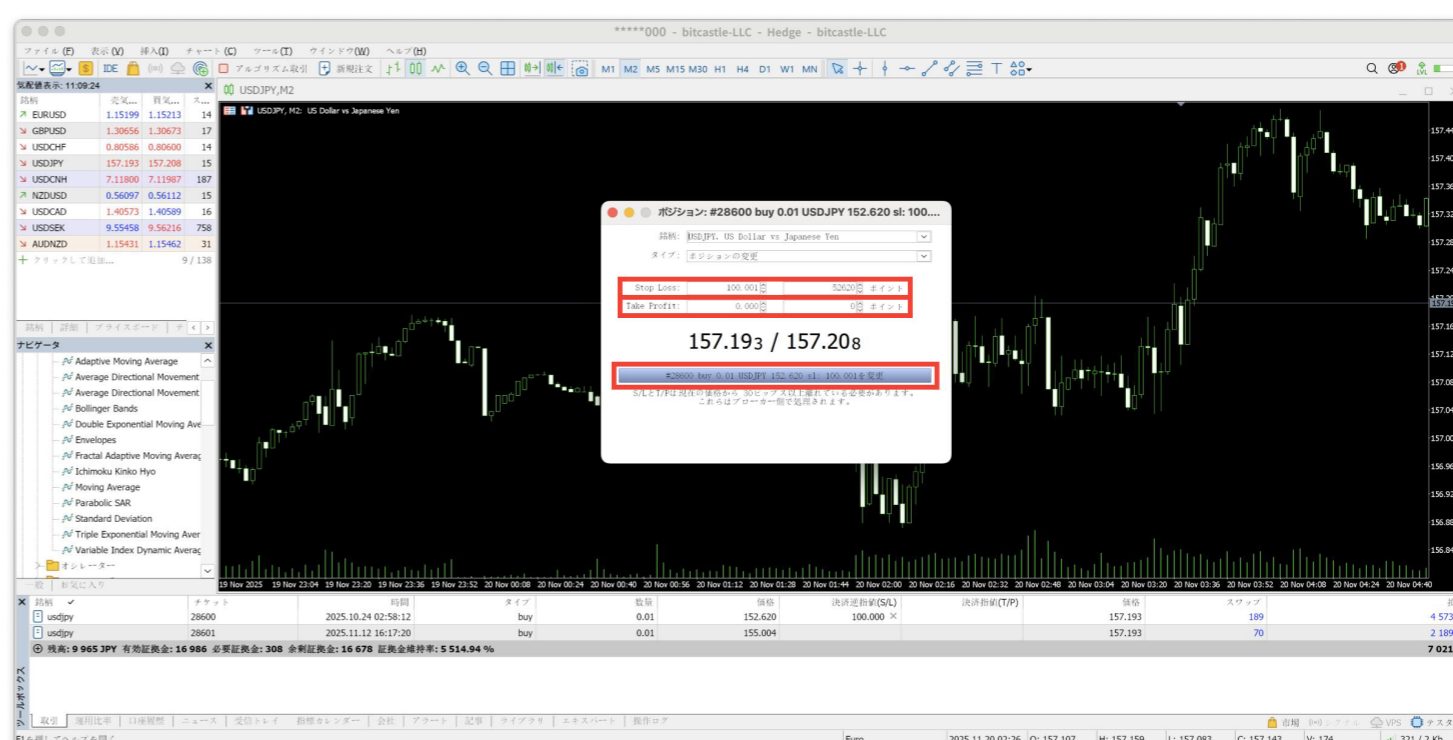
注文の変更

「取引」から決済する場合

ツールボックスウィンドウの「取引」タブには、保有中のポジションが表示されます。注文を変更する場合は、変更したいポジション上で右クリックし、「注文変更または取消」を選択します。

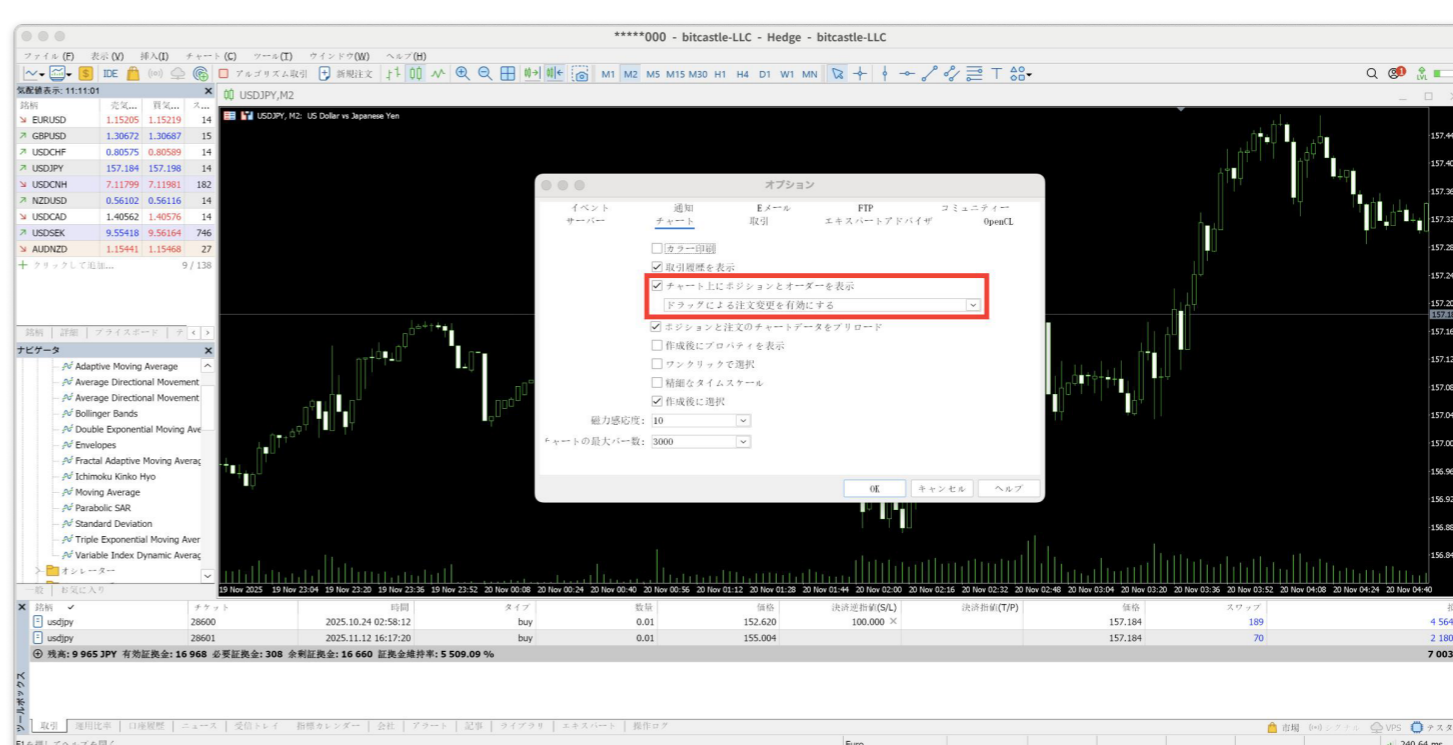


以下「ポジション」のポップアップが表示されます。Stop Loss（損失を限定するために設定する価格水準）やTake profit（利益を確定するために設定する価格水準）の値を変更し、下部の「変更」ボタンをクリックすると変更が完了します。



「チャートウィンドウ」から決済する場合

チャートウィンドウ上で注文を変更する場合は、事前に設定が必要です。メニューバーからツール>オプション>チャートを選択し「チャート上にポジションとオーダーを表示」にチェックを入れることで、チャートウィンドウ上で注文を変更することが可能になります。



チャート上から決済注文の変更を行う場合は、ポジションの水準が決済注文の水準を示すライン（赤色の波線）上で右クリックし、変更を選択します。



3. 注文の変更・取り消し

以下「ポジション」のポップアップが表示されます。
Stop Loss（損失を限定するために設定する価格水準）やTake profit（利益を確定するために設定する価格水準）の値を変更し、下部の「変更」ボタンをクリックすると変更が完了します。



「ドラッグによる注文変更を有効にする」を選択している場合は、チャート上でドラッグすることによりStop Loss注文の変更を行うことができます。
Stop Loss注文の追加をする場合は、ポジションの水準を示すライン上から注文を入れたい水準までドラッグします。
Stop Loss注文の水準を変更する場合は、各注文の水準を示すライン上から注文を入れたい水準までドラッグします。



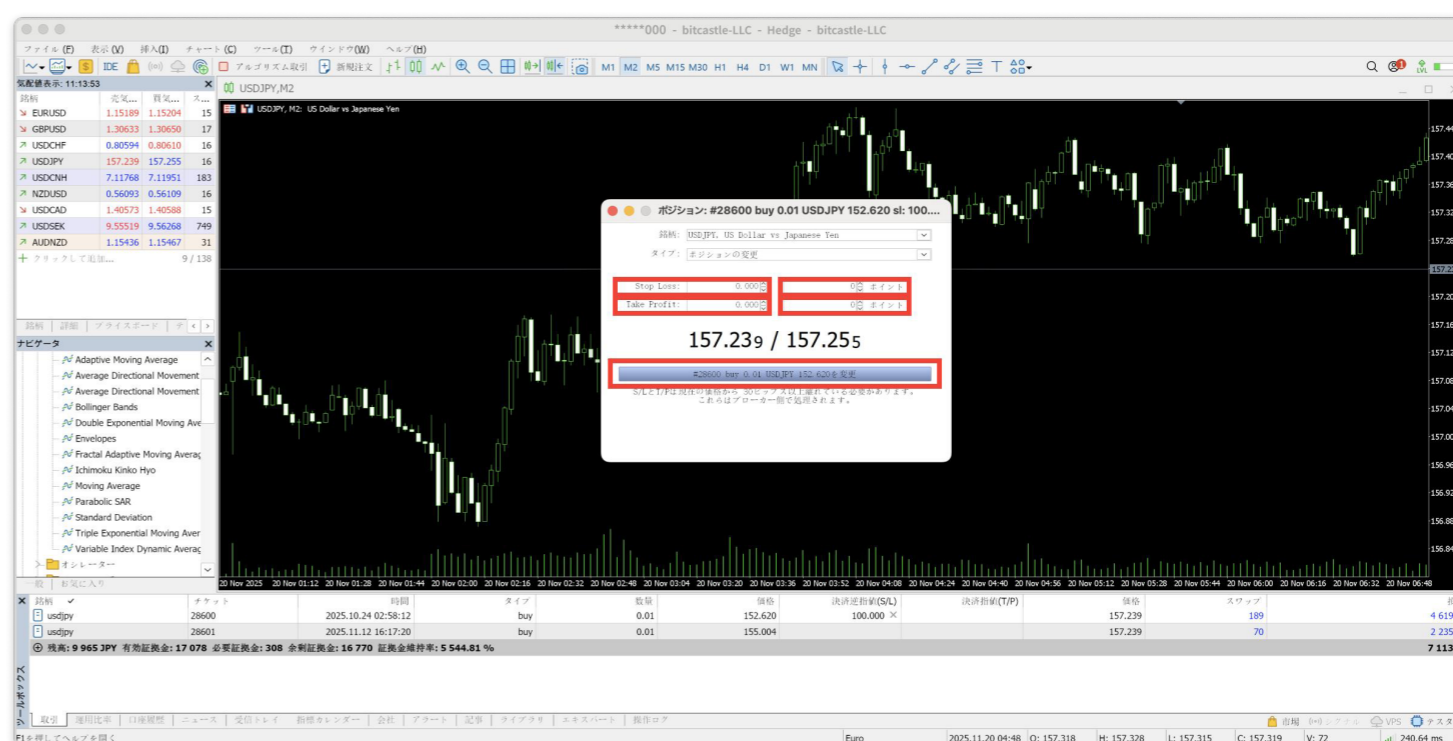
注文の取り消し

一 「取引」 から注文を取り消しする場合

ツールボックスウィンドウの「取引」タブには、保有中のポジションが表示されます。
注文を取り消す場合は、取り消したいポジションの「決済逆指値」「決済指値」右側の「×」をクリックします。



ワンクリック注文の設定をしていない場合は、以下「ポジション」のポップアップが表示されます。
Stop Loss（損失を限定するために設定する価格水準）やTake profit（利益を確定するために設定する価格水準）の値を0に変更し、下部の「変更」ボタンをクリックすると変更が完了します。



3. 注文の変更・取り消し

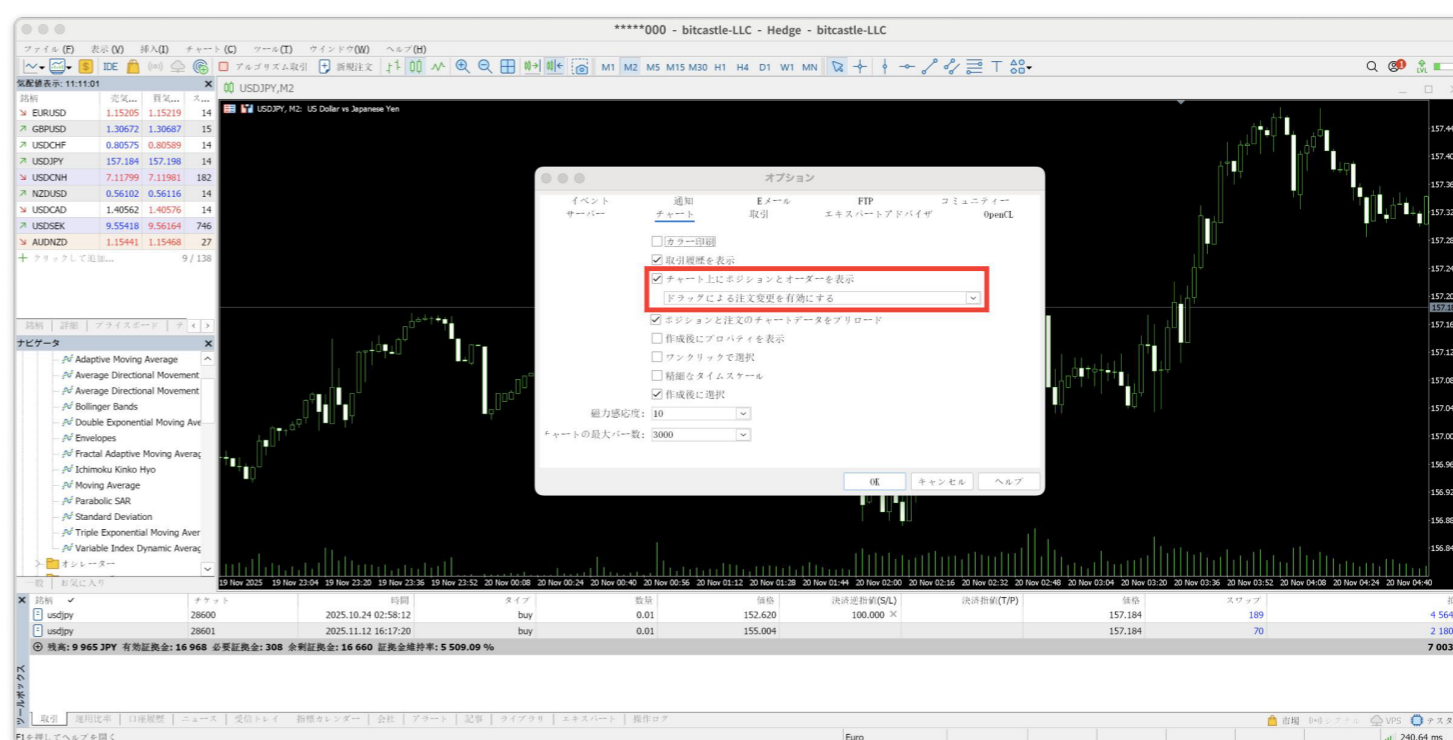
— 「チャートウィンドウ」から注文を取り消す場合—

チャートウィンドウ上で注文を取り消す場合は、事前に設定が必要です。

メニューバーからツール>オプション>チャートを選択し

「チャート上にポジションとオーダーを表示」にチェックを入れることで、チャートウィンドウ上で注文を取り消すことが可能になります。

チャート上から決済注文の取り消しを行う場合は、ポジションの水準か決済注文の水準を示すライン上で右クリックし、キャンセルを選択します。



注文やポジション、口座情報は、画面下部のツールボックス > 「取引」タブから確認できます。

行の見方



1 注文情報（未決済の注文）

未決済の注文はグレー背景の「口座情報」より上の行に表示されます。

2 口座情報

グレーの背景で、「残高」から始まる行です。

3 注文情報（未約定の注文）

未約定の注文はグレー背景の「口座情報」より下の行に表示されます。

列の見方



1 銘柄

注文した通貨ペアが表示されます。

2 チケット

注文を識別するために自動で割り当てられる番号です。

3 時間

注文日時、または約定日時が表示されます。

4 タイプ

buy (買い)、sell (売り) を表示します。

5 数量

ロット数が表示されます。

6 価格

約定価格が表示されます。

7 決済逆指値 (S/L)

損切り (損失拡大を防ぐために、指定した時点で損失を確定すること) の価格が表示されます。

8 決済指値 (T/P)

利確 (利益が出ているポジションを決済して、利益を確定すること) の価格が表示されます。

9 価格

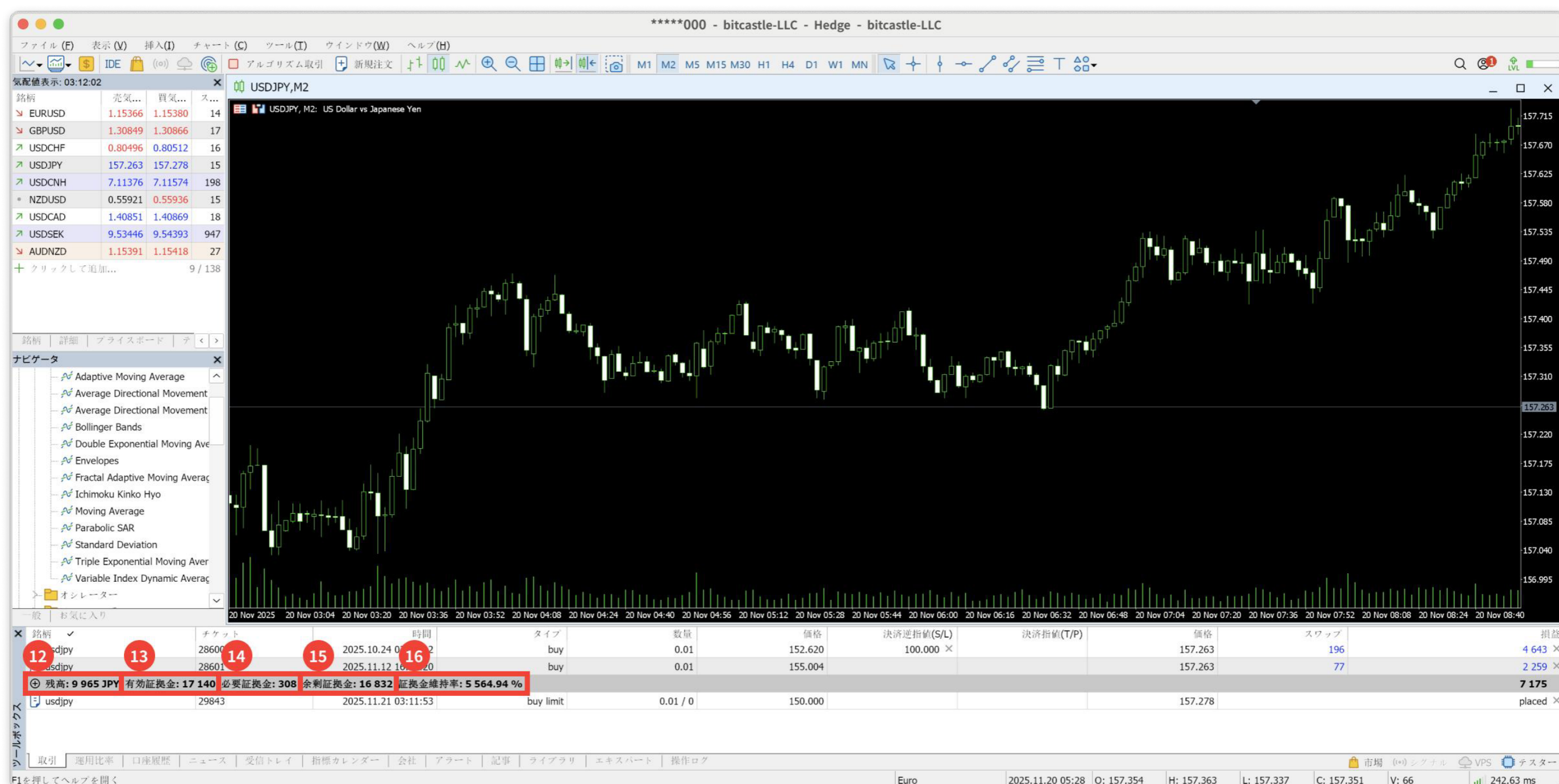
現在の価格です。売り注文では買値、買い注文では売値が表示されます。

10 スワップ

通貨間の金利差から生じる損益が表示されます。

11 損益

現在の相場価格で決済した場合の損益が表示されます。



12 残高

お客さまよりお預かりしている金額が表示されます。(残高=預入金額±実現損益)

13 有効証拠金

残高に保有するポジションの未実現損益を加減した金額が表示されます。(有効証拠金=残高±未実現損益)

14 必要証拠金

保有ポジションを維持するために使用している証拠金の金額が表示されます。

15 余剰証拠金

保有ポジションの維持と新規取引時に使用できる金額が表示されます。

16 証拠金維持率

必要証拠金に対する有効証拠金の割合を表した数値が表示されます。

(証拠金維持率=有効証拠金÷必要証拠金×100)

取引結果（口座履歴）は、画面下部のツールボックス > 「口座履歴」タブから確認できます。



1 時間

注文日時、または約定日時が表示されます。

3 チケット

注文を識別するために自動で割り当てられる番号です。

5 数量

ロット数が表示されます。

7 決済逆指値 (S/L)

損切り（損失拡大を防ぐために、指定した時点で損失を確定すること）の価格が表示されます。

9 時間

決済日時が表示されます。

11 損益

現在の相場価格で決済した場合の損益が表示されます。

2 銘柄

注文した通貨ペアが表示されます。

4 タイプ

balance（入出金）、buy（買い）、sell（売り）を表示します。

6 価格

約定価格が表示されます。

8 決済指値 (T/P)

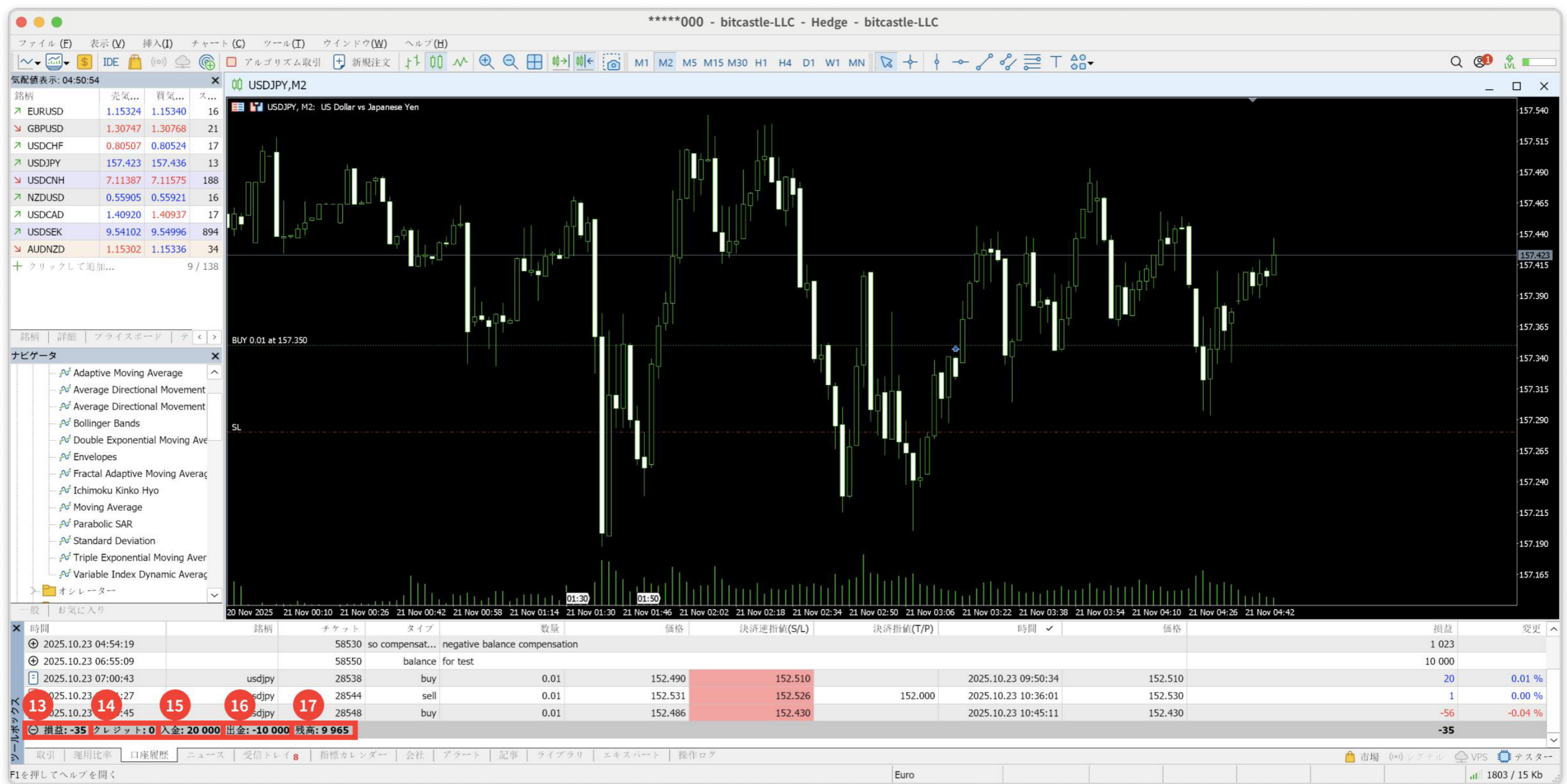
利食い（利益が出ているポジションを決済して、利益を確定すること）の価格が表示されます。

10 価格

決済時の価格です。売り注文では買値、買い注文では売値が表示されません。

12 変更

各取引や操作による残高の増減が表示されます。



13 損益

取引によって発生した利益または損失が表示されます。

14 クレジット

bitcastleFXから付与されたボーナスが表示されます。

15 入金

お客さまが取引口座に入金された金額が表示されます。

16 出金

お客さまが取引口座から出金された金額が表示されます。

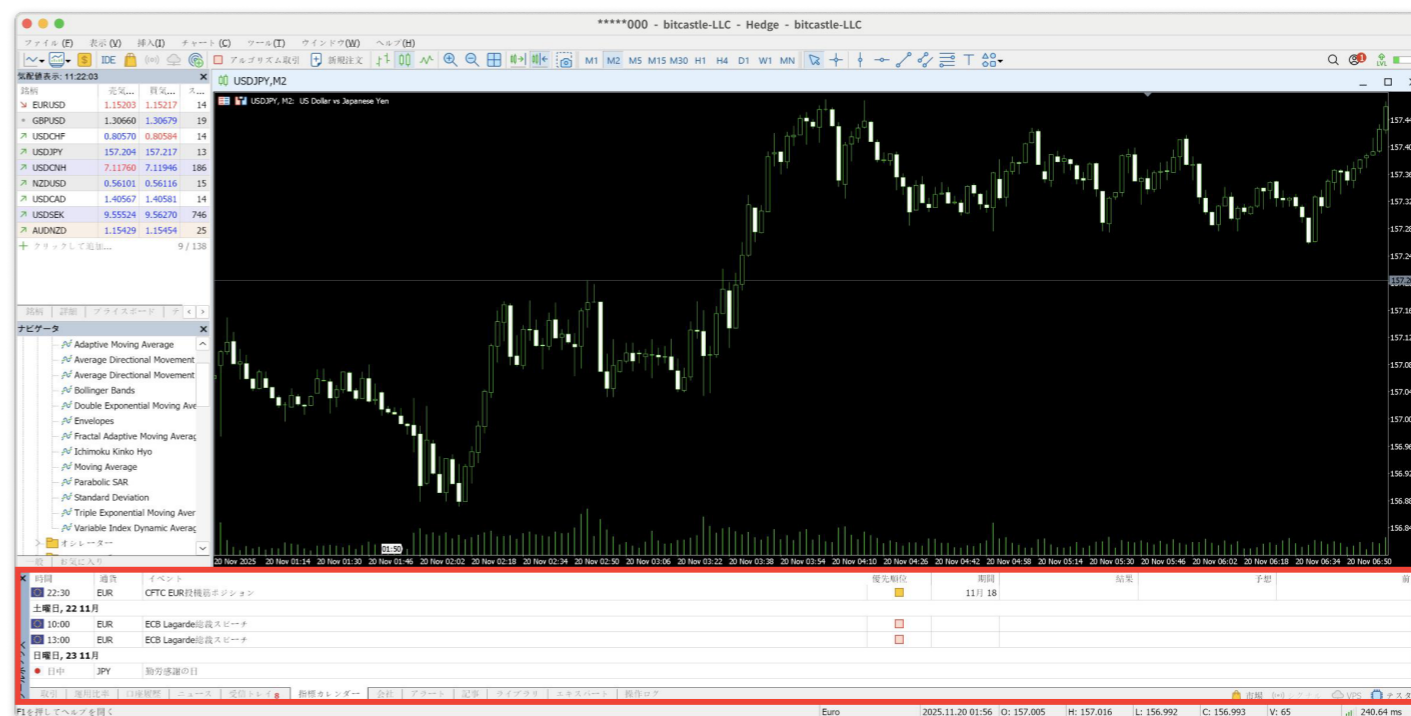
17 残高

入金、出金、損益、クレジットなどを反映した、最終的な口座残高が表示されます。

指標カレンダー

経済指標やニュースの発表日時を確認できるスケジュール機能です。

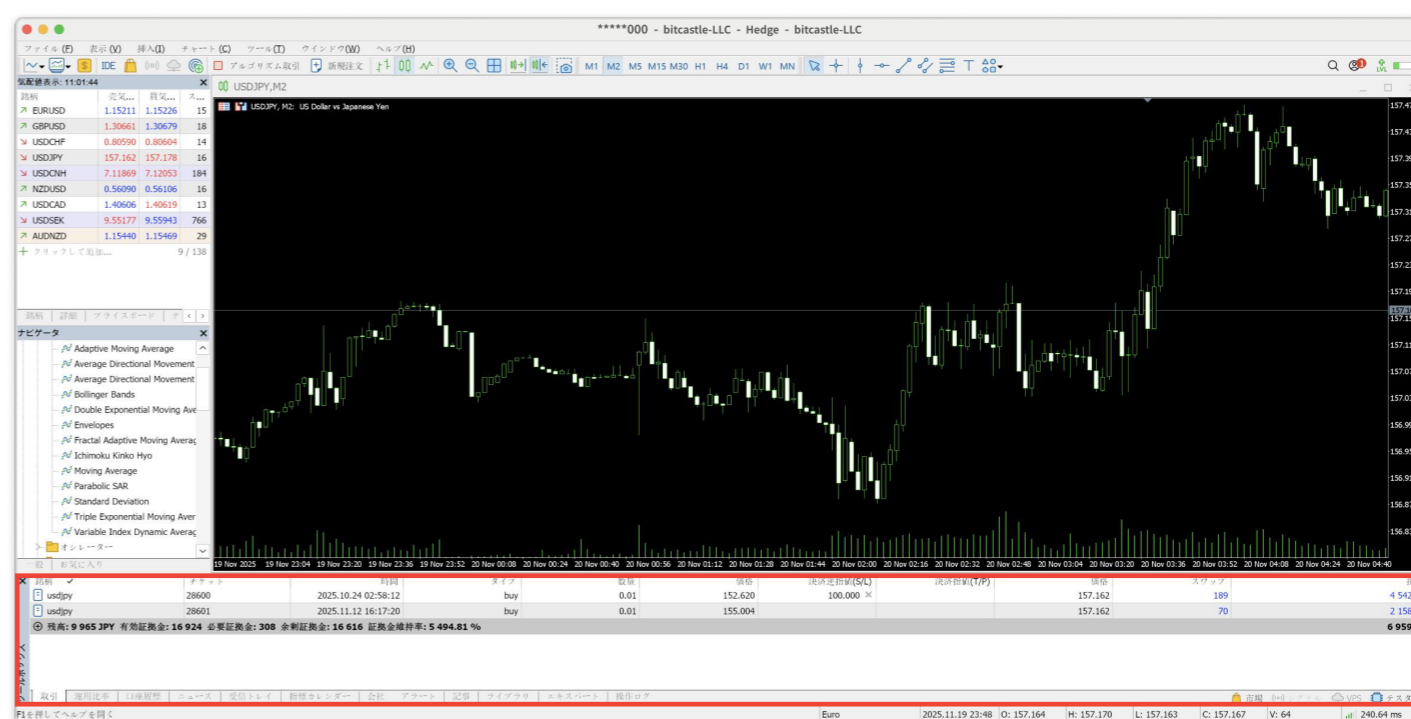
ツールボックス > 指標カレンダーから確認できます。



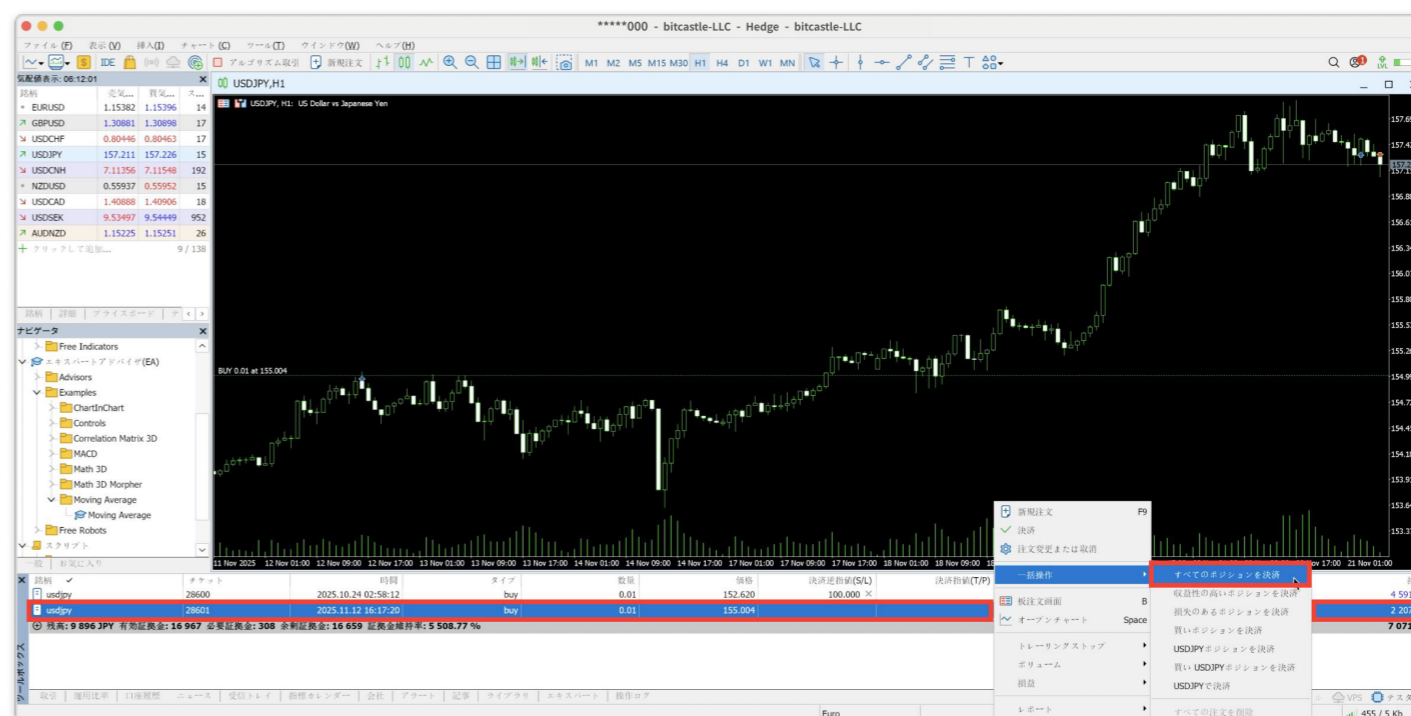
保有ポジションの一括管理

保有しているポジションを一覧でまとめて確認・操作できる一括管理機能です。

ツールボックス > 取引から管理できます。



「取引」タブ内で右クリック > 一括操作 > 「すべてのポジションを決済」を選択することで、口座全体を一括決済することができます。



操作履歴の確認方法

ツールボックス > 操作ログから、MT5上で行った操作の詳細を確認することができます。



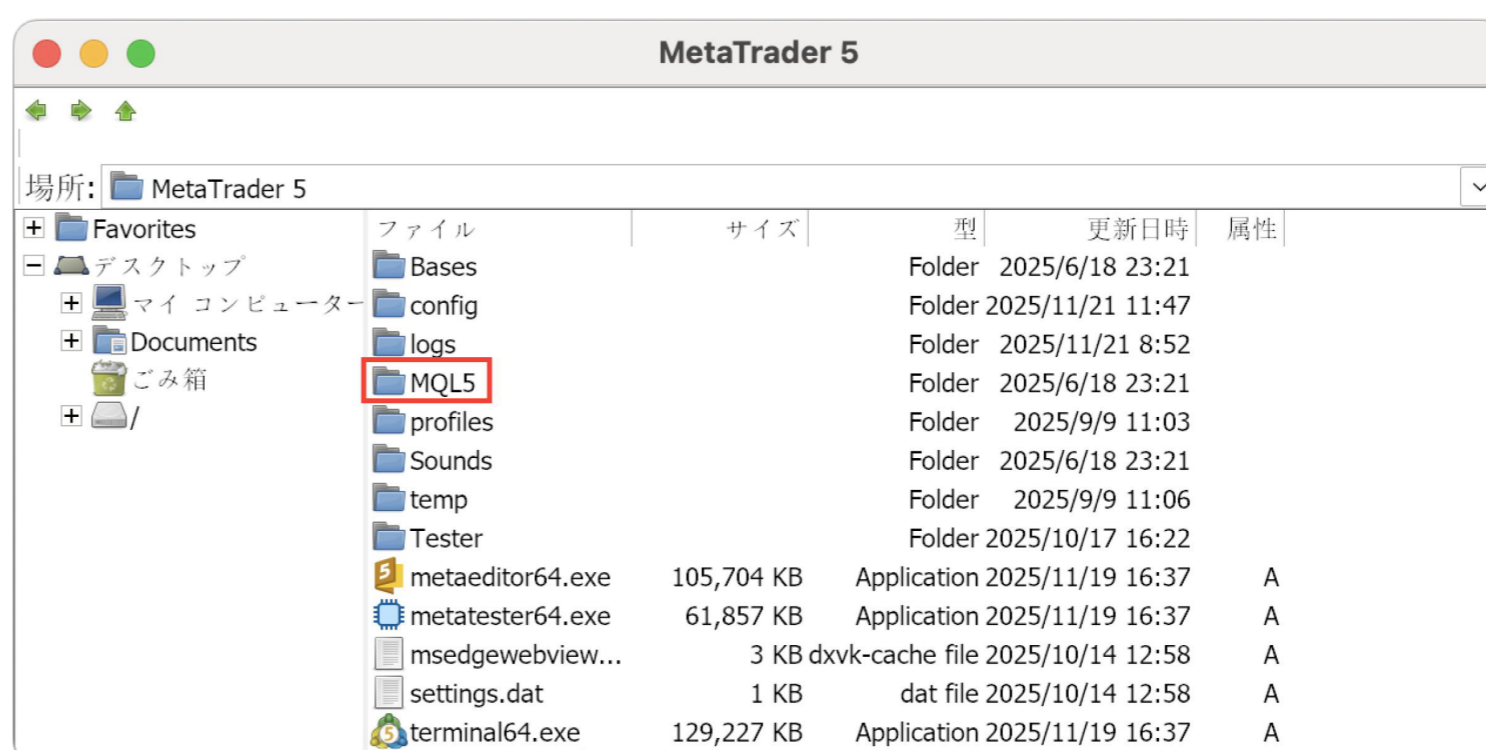
2. Expert Advisorのインストール

自動で取引したいときや、トレードの一部を自動化したいときに Expert Advisorをインストールします。

メニューバー > ファイルから「データフォルダを開く」をクリックします。

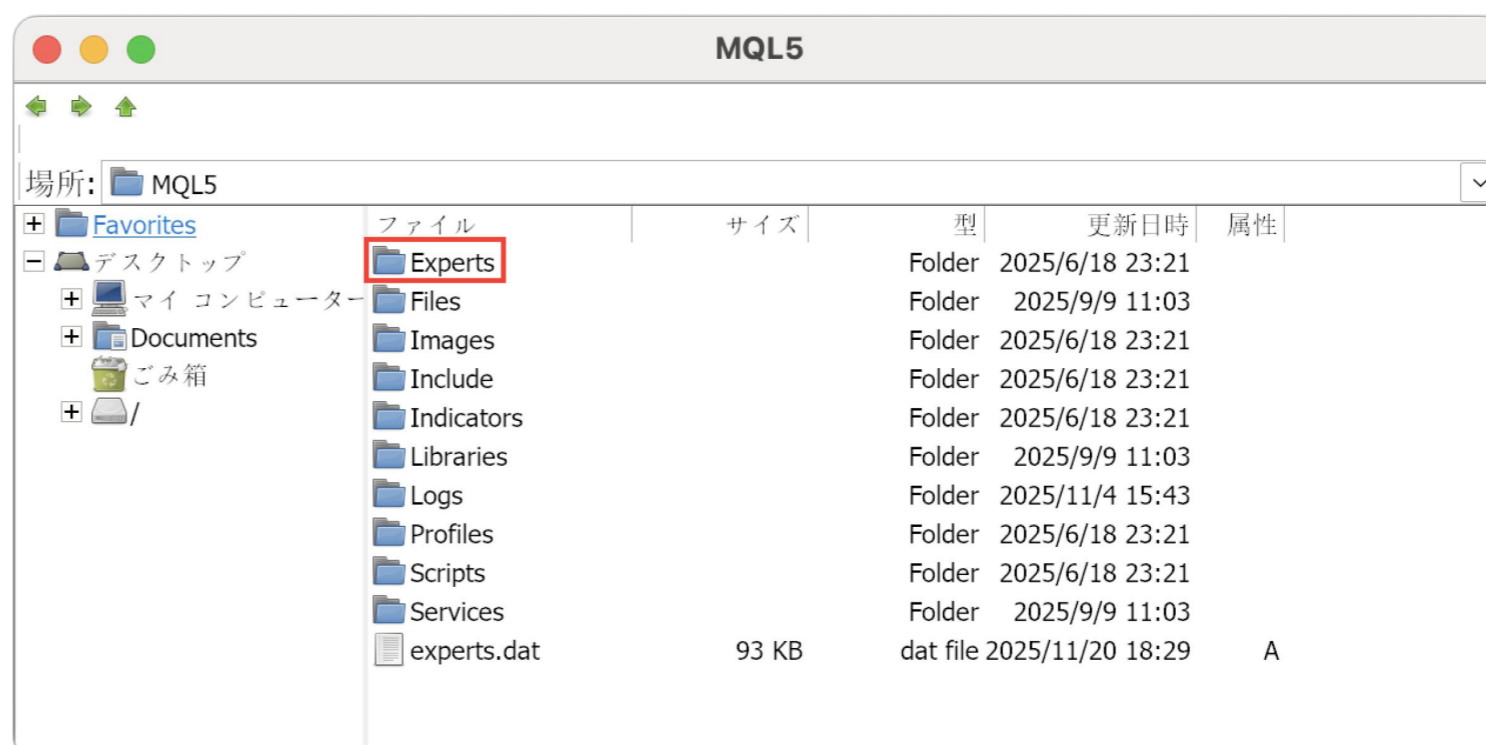


フォルダウィンドウが立ち上がるので、「MQL5」をクリックします。



「Experts」をクリックし、該当ファイルをフォルダ内にドラッグ&ドロップします。

ファイルを反映させるために、MT5を再起動してください。

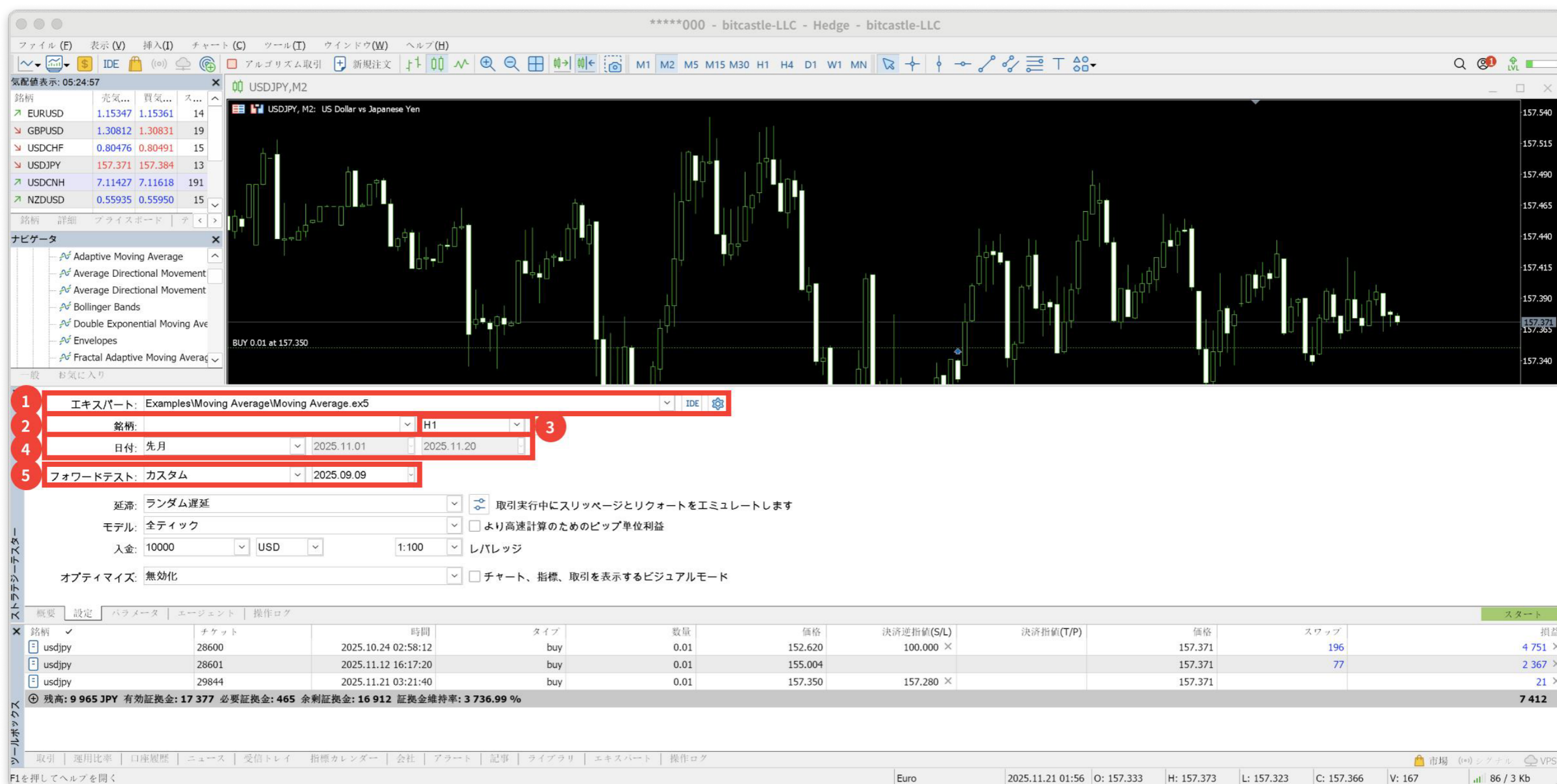


自動で取引してくれるプログラム（EA）の動作を検証するための機能です。MT5にはサンプルとして「Moving Average」などのファイルが搭載されています。「Moving Average」を例に、バックテストの方法を説明いたします。

ツールバー > 表示 > ストラテジーテスター > 「概要」タブから任意の項目を選択し、「設定」タブからバックテスト機能の設定を行えます。

※ サンプルのEAは、実際の取引において利益を保証するものではありません。バックテストで得られる情報は全て過去のデータに基づくため、本機能を利用して最適化した自動売買プログラムの有効性を保証することはできません。

バックテスト機能画面説明



1 エキスパート

「Moving Average.ex5」を選択する

2 銘柄

テストしたい通貨ペアや商品を選択する

3 時間軸

チャートの時間足を選択する

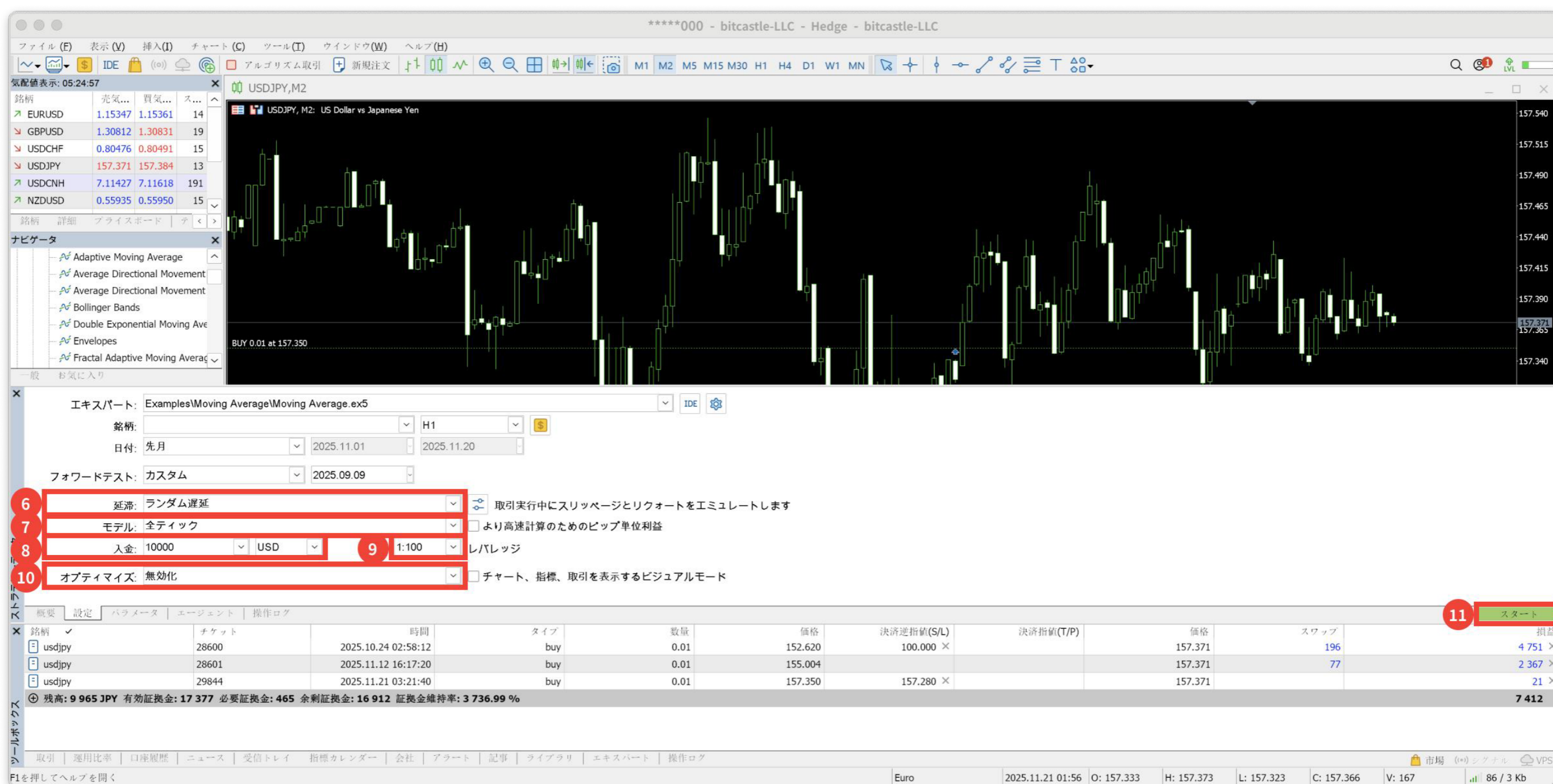
4 日付

テストする期間（過去データの範囲）を指定する

5 フォワードテスト

テスト期間を前半後半に分けて、後半の期間で将来予測の精度を確認するかどうかの実行有無を選択する

- ・キャンセル：フォワードテストを行わず、すべての期間を最適化とテストに使う
- ・1/2：テスト期間の半分をフォワードテストに使い、残り半分を最適化
- ・1/3：テスト期間の1/3をフォワードテストに使い、残り2/3は最適化
- ・1/4：テスト期間の1/4をフォワードテストに使い、残り2/3は最適化
- ・カスタム：テスト期間を好きな日付で指定



6 延滞

現実の相場では注文がすぐに約定しないことがあるため、テスト上で注文の遅延をどう扱うかを選択する

- 231ミリ秒：注文が約0.231秒遅れて約定する
- 1ミリ秒：注文が0.001秒遅れて約定する
- ランダム遅延：約定遅延がランダムで発生する
- カスタム遅延：任意のミリ秒を設定可能

8 入金

テスト開始時の資金額を選択する

10 オプティマイズ

どの設定が一番利益が出るかを自動で探す方法を選択する

- 無効化：すべてのパラメータは固定値でテスト。単純なバックテスト用
- 完全アルゴリズム（遅い）：最も正確に最適パラメータを探せるが、計算に非常に時間がかかる
- 遺伝的アルゴリズム（速い）：計算時間を大幅に短縮。ある程度の最適化精度でスピーディに結果を出す

「無効化」以外を選択すると、以下の指定ができる

- 残高最大：テスト終了時の口座残高が最も多い組み合わせ
- 最大利益率：投資資金に対しての利益率が最も高い組み合わせ
- 最大予想ペイオフ：1回の取引あたりの平均利益（勝ち負け含む）が最大
- 最小ドローダウン：資金が最大減少した割合が最小になる組み合わせ
- 最大シャープレシオ：リスク（変動）に対して利益が大きい組み合わせ
- カスタム最大：ユーザーが定義したカスタム基準に基づく
- 複雑な基準の最大値：複数の指標を組み合わせた複雑な評価基準

7 モデル

テストで使うデータの精度（どれだけ細かく値動きを再現するか）を選択する

- 全ティック：過去のすべてのティック（価格変動の最小単位）を使う
- リアルティックに基づいたすべてのティック：「全ティック」に近い精度だが、より現実の価格変動を反映
- 1分足OHLC：1分足の始値・高値・安値・終値（OHLC）を使う
- 始値のみ：1分足や時間足の始値だけで計算
- 数値計算：数学的に計算された理想的な価格でテスト

9 レバレッジ

預けた資金を担保に、証拠金に対してどのくらいの金額で取引するかを指定する

11 スタート

クリックしてバックテストを実行する

4. 自動売買の実行

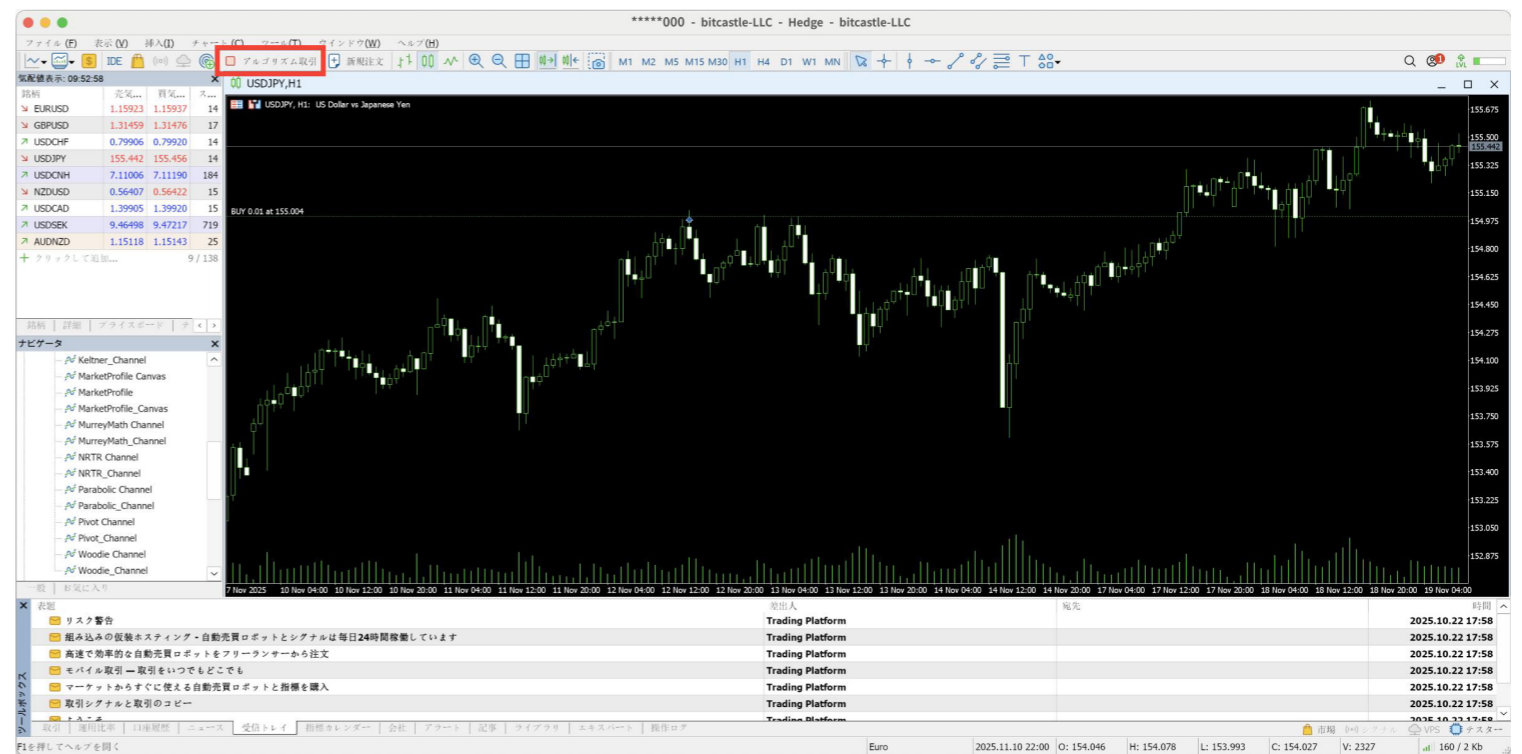
画面左のナビゲーターからエキスパートアドバイザー > Examples > Moving Average > Moving Average を選択し、チャートウィンドウ上にドラッグ&ドロップすると「Moving Average」のポップアップが表示されます。「Moving Average」のポップアップの「共有」タブから「アルゴリズム取引を許可」にチェックを入れます。



「Moving Average」のポップアップの「インプット」タブから「値」に任意の数値を入力し「OK」をクリックすると、チャートウィンドウ右上に「Moving Average」のマークが表示されます。



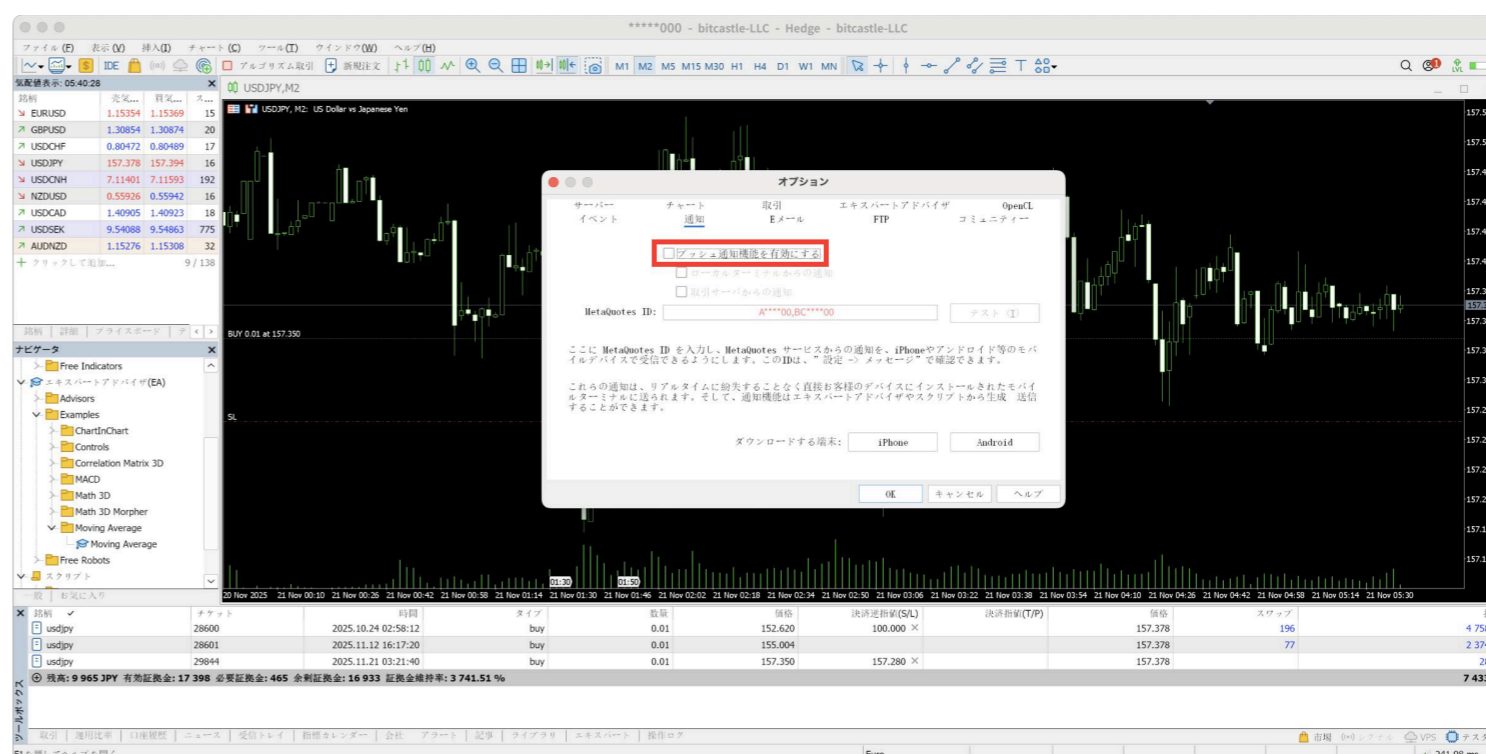
ツールバー > 「アルゴリズム取引」をクリックすると、自動売買が実行されます。自動売買を終了する場合は、再度「アルゴリズム取引」をクリックします。



5. プッシュ通知の設定

スマートフォンでプッシュ通知を受け取るには、パソコン版MT5での設定が必須になります。

ツール > オプション > 通知の「プッシュ通知機能を有効にする」にチェックを入れます。

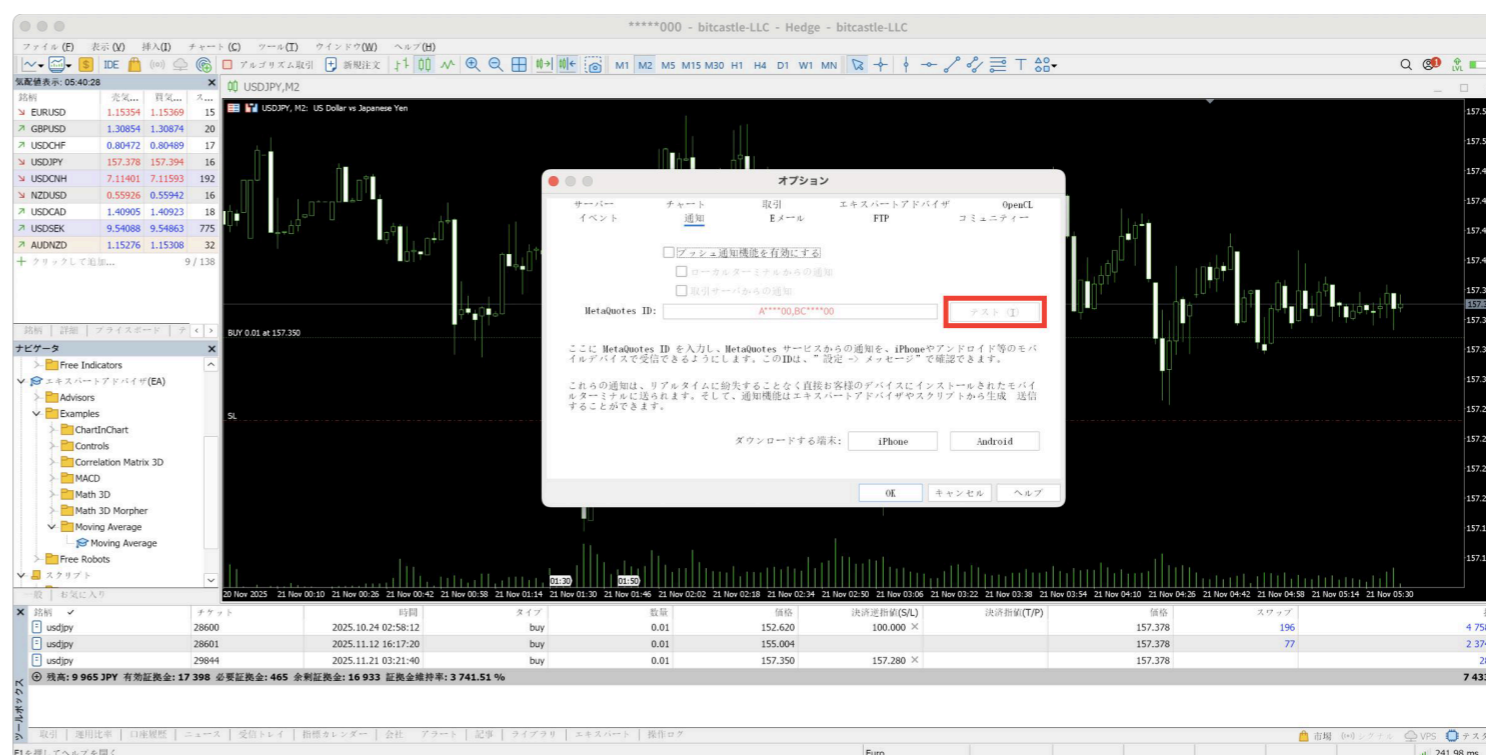


MetaQuotes IDを入力し「OK」をクリックすれば、プッシュ通知の設定は完了です。



パソコン版MT5に届いた情報を、スマートフォン版MT5へプッシュ通知を連携することも可能です。
スマートフォンでの通知の設定は、以下「[チャットとメッセージ \(iPhone版\)](#)」、「[メッセージの受け取り \(Android版\)](#)」からご確認ください。

パソコン版MT5、スマートフォン版MT5でそれぞれ設定を行い、スマートフォンにプッシュ通知が送られてくるかどうかは、「テスト」ボタンをクリックすることで確認ができます。



— チャットとメッセージ (iPhone版) —



<https://bitcastle.io/ja/fx/mt5/settings/ios/>

— メッセージの受け取り (Android版) —

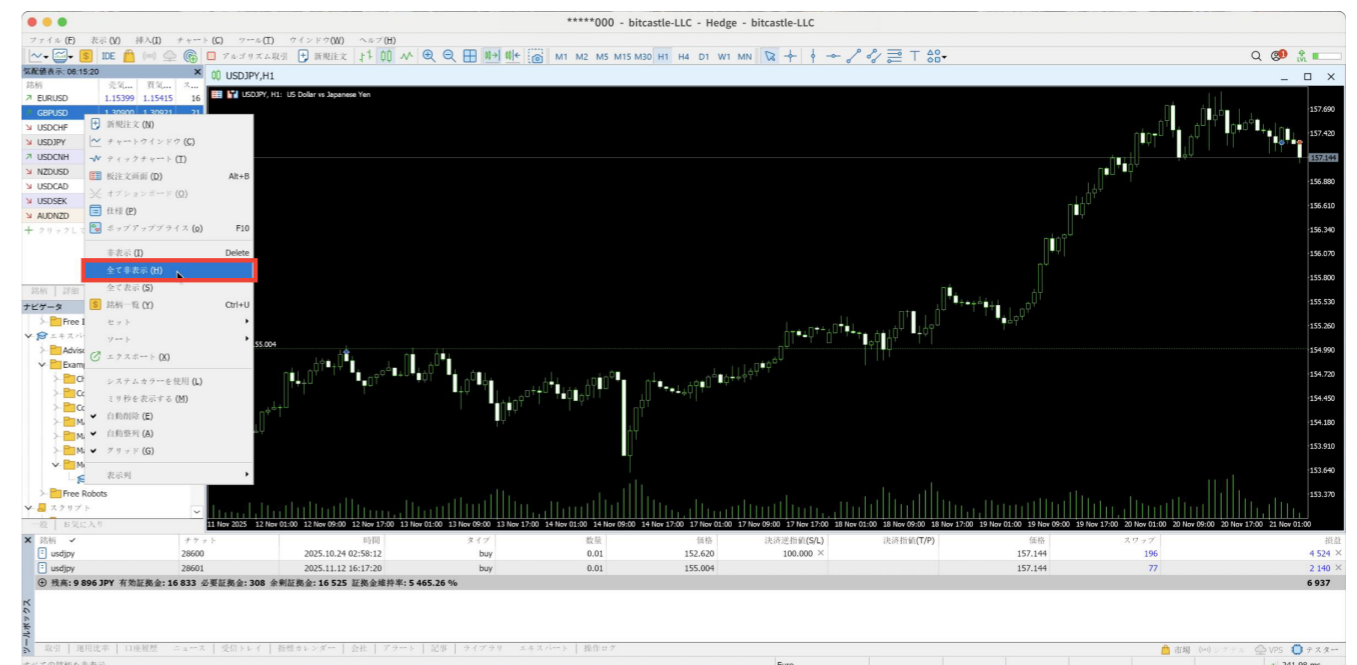


<https://bitcastle.io/ja/fx/mt5/messages/android/>

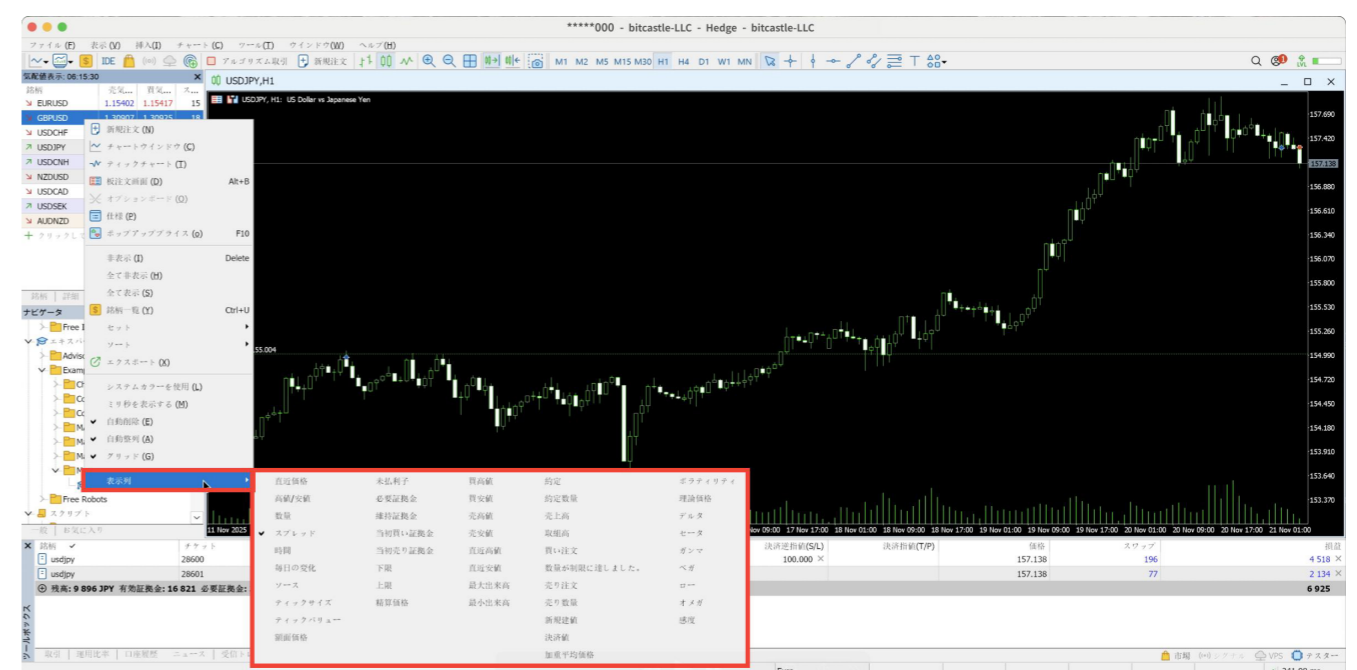
1. MT5の動作が重くなった際の対処法

不要な気配値を削除する

デフォルトでは複数の気配値が表示されています。チャートウィンドウ上に表示している気配値以外は非表示にしたい場合は、気配値表示ウィンドウ上で右クリックし、「全て非表示」をクリックします。

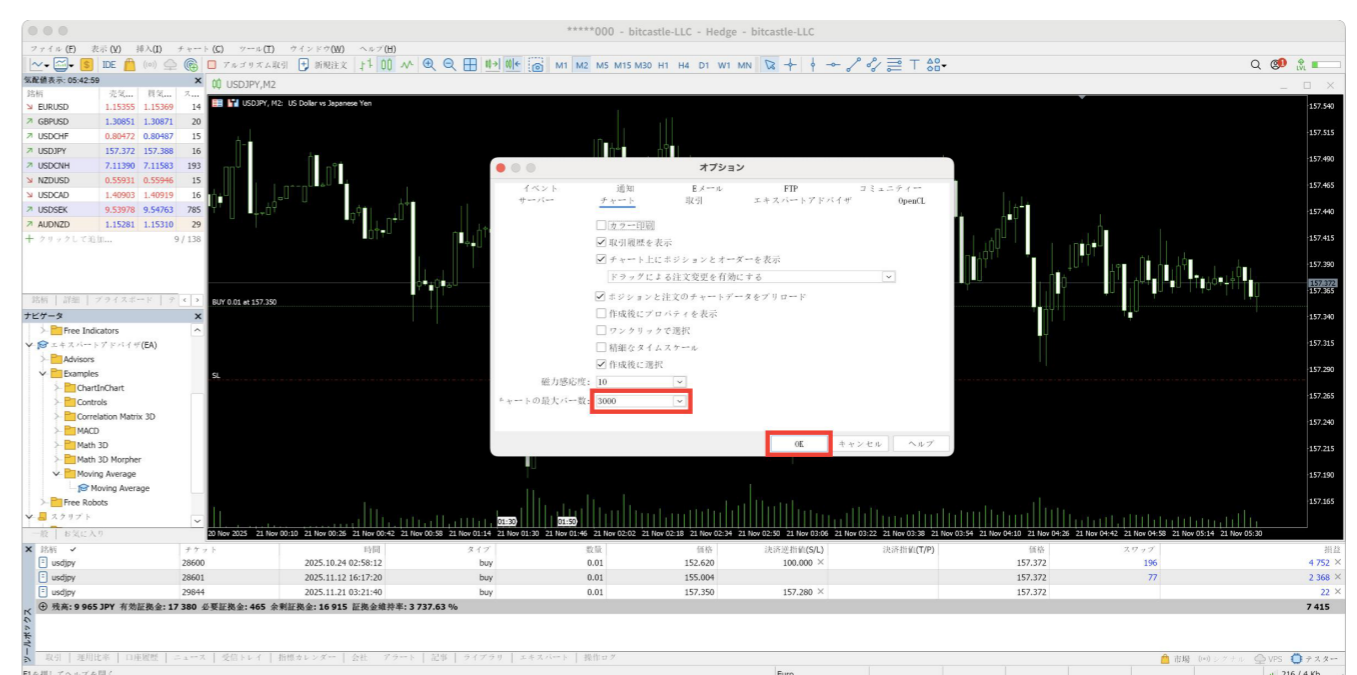


また、気配値表示ウィンドウに表示される不要な項目も削除します。気配値表示ウィンドウ上で右クリックし、「表示例」から必要な項目のみチェックをいれ、不要な項目はチェックを外します。



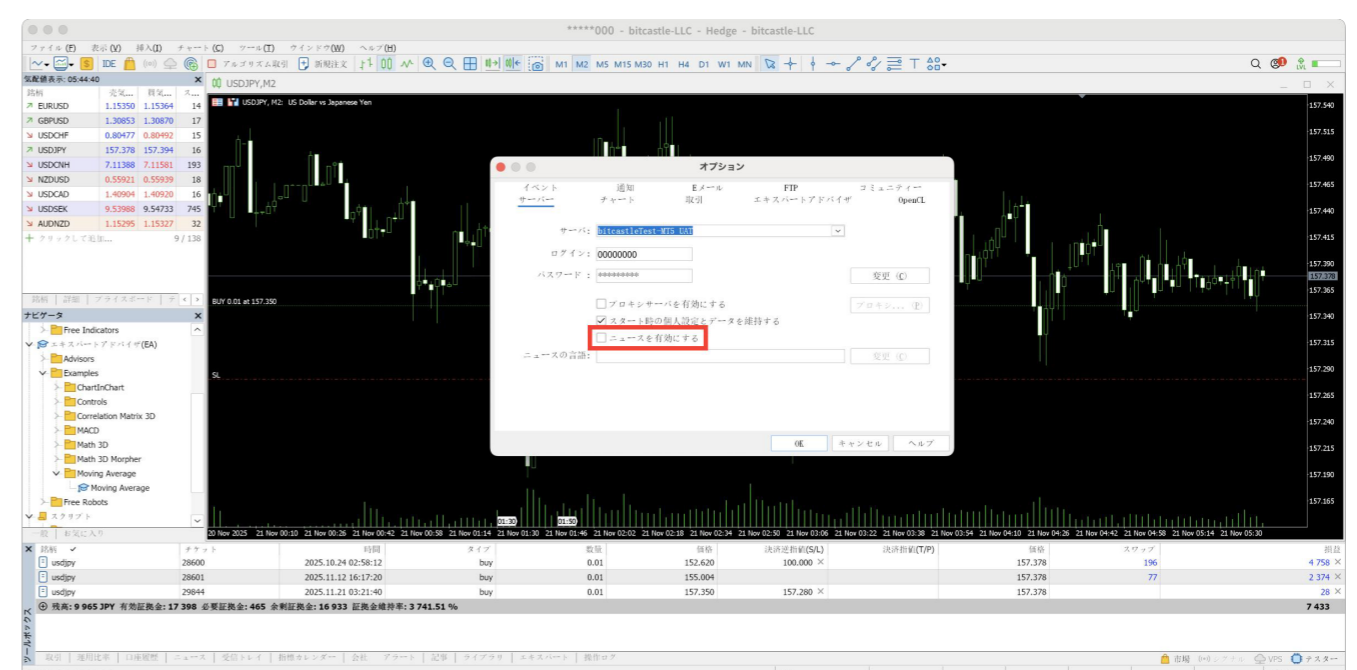
チャートの最大バー数を下げる

デフォルトではチャートの最大バー数が100,000本で設定されています。いろんなチャートを表示させたい、インディケーターを表示させたいなどがある場合、動作が重くなる原因になるため、3,000本ほどに変更することで動作が軽くなります。ツール > オプション > チャートの「チャートの最大バー数」から変更することができます。



ニュースを無効にする

FXなどの取引に関する世界経済ニュースや市場の動きを、ツールボックスの「ニュース」からリアルタイムで確認することができます。デフォルトではニュース配信を受け取る設定になっていますが、不要な場合は、ツール > オプション > サーバーの「ニュースを有効にする」のチェックを外すことで無効になります。

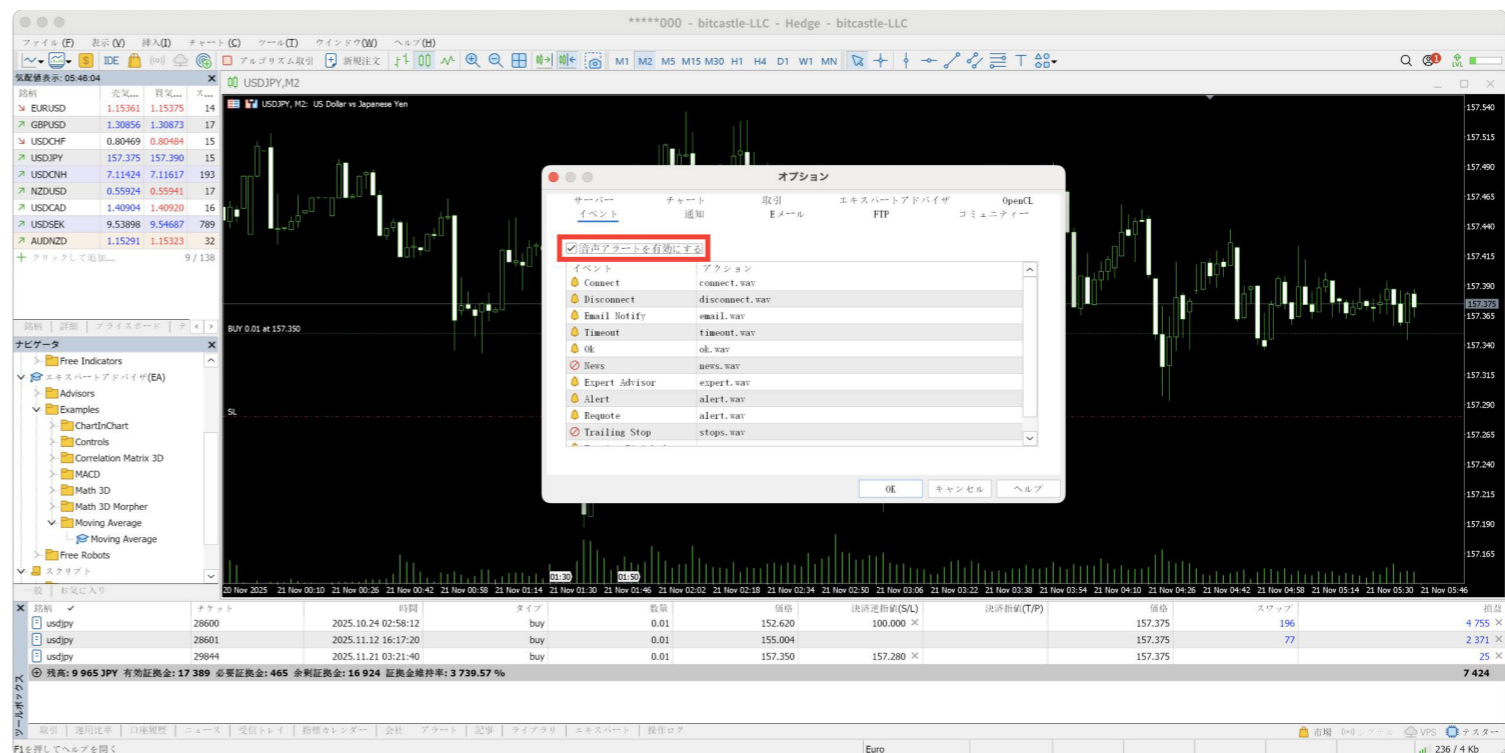


1. MT5の動作が重くなった際の対処法

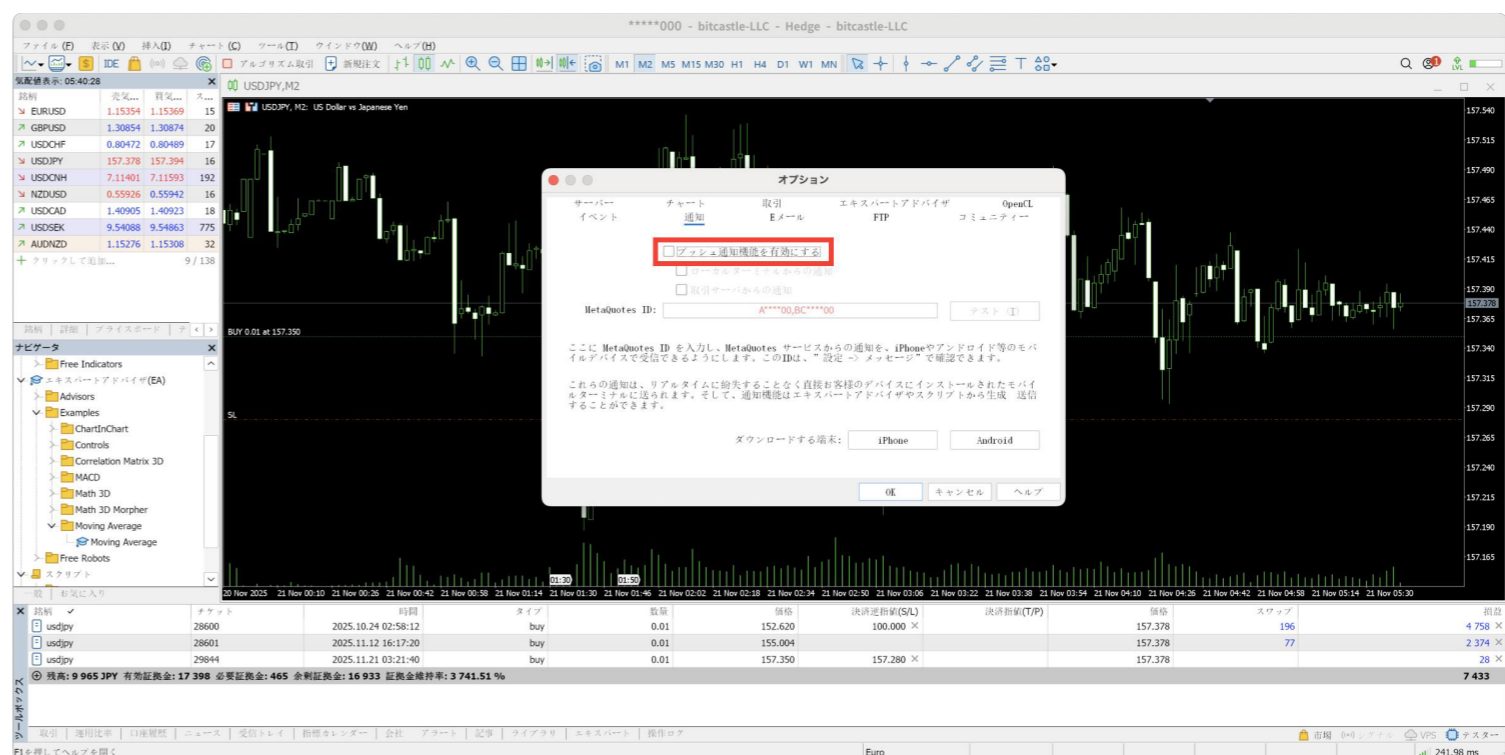
音声アラート、通知を無効にする

デフォルトでは音声アラートやプッシュ通知が有効で設定されています。

音声アラートは、ツール > オプション > イベントの「音声アラートを有効にする」のチェックを外すことで無効になります。



プッシュ通知は、ツール > オプション > 通知の「プッシュ通知機能を有効にする」のチェックを外すことで無効になります。



MT5の複数インストールはWindows版のみ対応しています。

複数の取引口座を同時に管理したい場合や、デモ口座とリアル口座を使い分けるなど、MT5を複数インストールしたい場合は以下手順で行います。

MT5をダウンロード

以下からWindows版MT5をダウンロードします。

<https://bitcastle.io/ja/fx/account/trading-guide>

MT5をインストール

1 ファイルを解凍する

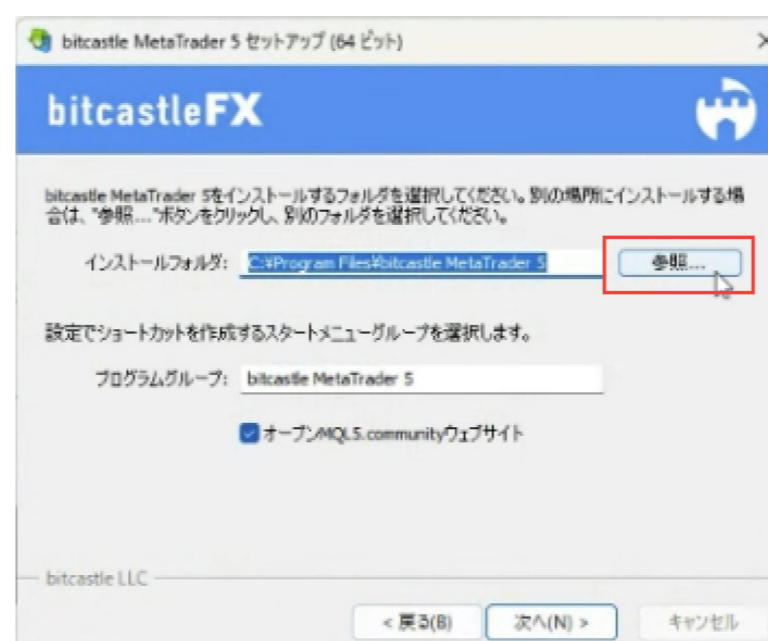
ダウンロードしたファイルを解凍すると以下画面が表示されます。

左下の「設定」ボタンをクリックします。



2 インストールフォルダを参照する

インストールフォルダの「参照」ボタンをクリックします。

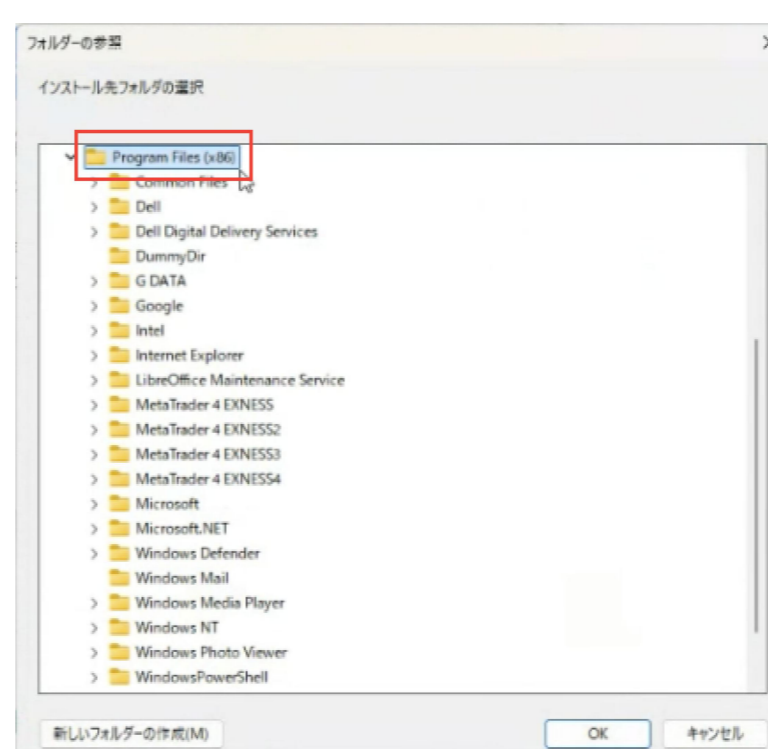


3 Program Files(×86) に新規フォルダを作成

Program Files(×86)の中に新規フォルダを作成し、既存のMT5フォルダとは別の名称にします。

(例：MT5-2 など)

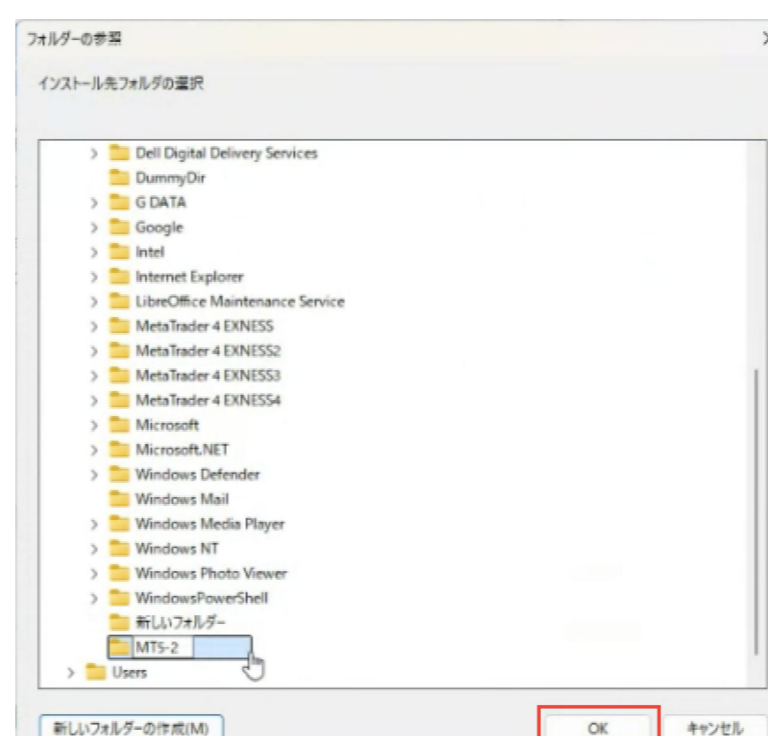
同じ名称にしてしまうとMT5のアプリが上書きされ、複数インストールすることができないためご注意ください。



5 OKをクリック

新規フォルダを作成したら、右下の「OK」をクリックします。

その後のインストール手順はこれまでと同様です。



チャート操作

チャート拡大	+
チャート縮小	-
チャート右スクロール	→
チャート左スクロール	←
チャート右スクロール (高速)	↓ + Page Down
チャート左スクロール (高速)	↑ + Page Up
チャート一番左へ移動	Home

チャート一番右へ移動	End
チャートをフルスクリーン表示	F11
チャートを1本ずつ左に表示	F12
チャートを1本ずつ右に表示	Shift + F12
チャートを閉じる	Ctrl + W / Ctrl + F4
表示中の別チャートを選択	↑ + Page Up

チャート表示切り替え

バーチャートに切替	Alt + 1
ローソク足に切替	Alt + 2
ラインチャートに切替	Alt + 3
グリッド線の表示・非表示	Ctrl + G

ボリュームの表示・非表示	Ctrl + L
チャート左上の通貨ペア、寄付、終値、高値、安値を削除	Ctrl + H
チャートのプロパティを表示	F8

補助ウィンドウ表示切り替え

気配値表示・非表示	Ctrl + M
気配値をポップアップ表示	F10
ナビゲーターの表示・非表示	Ctrl + N
ツールボックスの表示・非表示	Ctrl + T
ストラテジーテスターの表示・非表示	Ctrl + L

データウィンドウを開く	Ctrl + H
インディケータ利用時にインディケータリスト (一覧) を開く	Ctrl + I

注文・取引関連

注文発注画面を表示	F9
EA (自動売買) を開始・停止	Ctrl + E

EA (自動売買) 実行時にプロパティを表示	F7
------------------------	-----------

開発・バックテスト関連

Meta Editorを表示	F4
バックテスト機能を表示	F6

グローバル変数を表示	F3
ヒストリーセンターを表示	F2

ファイル/システム操作・ヘルプ系

Userguideを表示	F1
カーソルをクロスヘアに変更	Ctrl + F
カーソルが「?」になり、クリックでヘルプ画面表示	Shift + F1

オプション画面表示	Ctrl + O
印刷画面を表示	Ctrl + P
選択したチャートデータを保存	Ctrl + S

4. お問い合わせ

MT5の操作方法でわからないことがあればお気軽にお問い合わせください。

— よくある質問 —



<https://support-ja-fxp.bitcastle.io/hc/ja>

— お問い合わせフォーム —



<https://support-ja-fxp.bitcastle.io/hc/ja/requests/new>